

# 令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

符号	図面名称	縮尺	符号	図面名称	縮尺	符号	図面名称	縮尺	符号	図面名称	縮尺
A-00	表紙・図面リスト		<del>A-27</del>	<del>外構図1</del>	<del>1:50</del>	E-01	電気設備特記仕様書1		M-01	機械設備特記仕様書1	
A-01	建築工事特記仕様書1		<del>A-28</del>	<del>外構図2</del>	<del>1:50</del>	E-02	電気設備特記仕様書2		M-02	機械設備特記仕様書2	
A-02	建築工事特記仕様書2		<del>A-29</del>	<del>外構図3</del>	<del>1:10</del>	E-03	配置図	1:200	M-03	器具・機器リスト(衛生設備)	
A-03	建築工事特記仕様書3		<del>A-30</del>	<del>外構図4</del>	<del>1:5</del>	E-04	盤単線結線図		M-04	配置図(衛生設備)	1:200
A-04	建築工事特記仕様書4		A-31	仮設計画図(立面)	1:100	E-05	幹線動力・コンセント・非常警報・電灯設備図	1:100	M-05	平面図(衛生設備)	1:50
A-05	建築工事特記仕様書5		A-32	参考工程表		E-06	弱電設備姿図		M-06	機器リスト(空調・換気設備)	
A-06	建築工事特記仕様書6					E-07	弱電設備図	1:100	M-07	平面図(空調・換気設備)	1:100
A-07	建築工事特記仕様書7										
A-08	建築工事特記仕様書8										
A-09	設計概要・外部仕上表・内部仕上表										
A-10	附近見取図・配置図兼仮設計画図(平面)	1:250	S-01	構造特記							
A-11	平面図	1:100	S-02	構造標準図 R C関連詳細図	1:100						
A-12	立面図	1:100	S-03	構造標準図 軸組構造材標準図1	1:100						
A-13	断面図	1:100	S-04	構造標準図 軸組構造材標準図2	1:100						
A-14	屋根伏図・天井伏図	1:100	S-05	柱状改良特記仕様書							
A-15	平面詳細図	1:50	S-06	柱状改良伏図	1:100						
A-16	断面詳細図	1:30	S-07	基礎伏図・基礎詳細図	1:100, 1:30						
A-17	展開図1	1:50	S-08	床伏図・梁伏図兼小屋伏図	1:100						
A-18	展開図2	1:50	S-09	軸組図1	1:100						
A-19	展開図3	1:50	S-10	軸組図2	1:100						
A-20	展開図4	1:50	S-11	耐力壁・金物伏図	1:100						
A-21	建具位置図	1:50									
A-22	建具表	1:50									
A-23	部分詳細図	1:10, 1:30									
A-24	家具詳細図1	1:30									
A-25	家具詳細図2	1:30									
A-26	サイン詳細図	各縮尺参照									

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

設計・監理 一級建築士事務所

1:non SCALE SCALE SCALE

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

表紙・図面リスト

DW. CK. DATE 07-02 NO. A-00

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

# 建築工事特記仕様書

**【1】 工事概要**

1. 工事場所 京都市京丹波町大村口塩谷4番地19

2. 敷地面積 1,400 m<sup>2</sup>

3. 建築物概要

棟名	構造	階数	建築面積(m <sup>2</sup> )	延べ面積(m <sup>2</sup> )	備考
放課後児童クラブ	木造	平家	159.40	159.40	

4. その他

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

**【2】 適用範囲**

現場説明書(質疑回答書を含む)、本特記仕様書、図面、標準仕様書に示す範囲とする。すべての設計図書は相互に補充するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」をいう。(以下、これを「標仕」という。)

本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「標仕」の適用を受けるものとする。

**【3】 工事区分**

設計図書による。

別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

**【4】 工事仕様**

1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。

2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。

4. 項目及び特記事項に記載の( )内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

## 章 項 目 特 記 事 項

**① 適用基準等**

※ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 令和4年版 (監修: 国土交通省)

※ 建築工事標準詳細図 令和4年改定 (監修: 国土交通省)

※ 敷地調査共通仕様書 令和4年改定 (監修: 国土交通省)

※ 建築構造設計基準・同資料 令和4年改定 (監修: 国土交通省)

※ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 令和4年版 (監修: 国土交通省)

※ 公共建築木造工事標準仕様書 令和4年版 (監修: 国土交通省)

※ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和4年版 (監修: 国土交通省)

※ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和4年版 (監修: 国土交通省)

(注: 監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部を示す)

**② 建築材料等**

本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。

下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」にある材料とする。

また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとして行うことができる。(評価名簿によるもの)

床型枠用鋼製デッキプレート(フラット)、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材(アミックス形、現場調合形)、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材(防水立上部)、陶磁質瓦、既製調合モルタル(タイル工用)、既製調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材(モルタル)、アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類(シリンダ箱錠、レバーハンドル、シリンダ本締り錠)、クローザー類(ドアクローザー、ピッチャー、フロアピッチ)、自動扉機構(制御装置・駆動装置、検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置)、自閉式上吊り引戸機構(手動開き式)、重量シャッター、軽量シャッター、オートヘッドドア、ガラス(フロートガラス、型板ガラス、網入板ガラス・線入板ガラス、熱線吸収板ガラス、倍強度ガラス、熱線反射ガラス)、ガラスブロック(中空)、防水剤、現場発泡断熱材、フーヰル(300N、500N)、可動間仕切、移動間仕切(スライドドア)、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム(屋上緑化システム、屋上緑化軽量システム)、トップライト、エポキシ樹脂、タイル部分張替え用接着剤、ポリマーセメントモルタル、鉄製鉄ふた(マンホールふた・弁掛ふた)

**③ 特別な材料の工法**

**④ 風圧力及び積雪に対する性能**  
(8.4.3、8.5.3)(10.5.3)(13.2.3~13.4.3)

**⑤ 現場代理人**

**⑥ 工事工程報告**

**⑦ 工事実績情報の登録** (1.1.4)

**⑧ 設備工事との取合い**

**⑨ 施工図等の取扱い** (1.2.3)

**⑩ 工事写真** (1.2.4)

**11 電気保安技術者** (1.3.3)

**⑫ 施工条件** (1.3.5)

**⑬ 発生材の処理等** (1.3.11)

設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等  
風速(Vo) ● 3 2 ○ (平成12年5月31日建設省告示第1454号)  
地表面粗度区分 ○ I ○ II ● III ○ IV  
多雪地域の指定 ● なし ○ あり

本工事の施工にあたっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。

月報は毎月末日に、翌月5日までに提出する。  
日報は監督職員の指示による。  
週報は毎週(月)曜日に提出する。

適用する (適用事項は、現場説明書による)

施工範囲  
※ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強  
※ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強  
※ 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ  
※ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強

施工図  
設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。

工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)によるほかは監督職員の指示による。  
下記ものを監督職員に提出する。

着工前	部数(枚1枚につき)	分類・規格	原簿の大きさ(mm)
工事中	※1	※カラーサービス版	※24×36以上
完成時	屋内(4)箇所	※カラーサービス版	※24×36以上
	外観(4)箇所	※カラーサービス版	※24×36以上

※デジタル写真の撮影にあたり、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。  
完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。  
○ 完成写真撮影業者は、監督職員の承諾する撮影業者(建築写真専門業者)とする。

※ 引渡しを要するもの ( )  
○ 工事現場において再利用を図るもの、再生資源化を図るもの ( )  
● 指定副産物の搬出(詳細は現場説明書による)  
● アスファルトコンクリート塊 ○ セメントコンクリート塊 ● 建設発生木材

指定副産物の処分地(詳細は現場説明書による)  
● 指定地処分 (寺尾道路橋) ( )  
○ 自由処分 (最寄りの再生資源化施設へ搬出すること) ( )

● 指定副産物以外の搬出 ※ 構外搬出適切処理  
○ 特別管理産業廃棄物の処理 ( )

再生資源利用【促進】計画書、実施書の提出  
※ 詳細は現場説明書による。

※ 産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度により、適正な処理を行うこと。  
※ 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。

**14 発生材の処理等**  
(アスベスト成形板)

**⑪ 技能士** (1.5.2)

**16 化学物質の濃度測定** (1.5.9)

**⑬ 完成図** (1.7.2)

**⑭ 保全に関する資料** (1.7.3)

**① 足場等** (2.2.4)

処理を行う範囲 ○ 図示(仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認)  
○ 全ての室 ○ \_\_\_\_\_

施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。  
(1) アスベスト成形板使用部位の確認  
記載上の成形板及びその使用範囲以外についても監督職員と協議の上確認を行うこと。  
(2) アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認  
(3) アスベスト成形板使用数量の確認  
(4) 施工範囲等の確認

確認方法 ○ 成形板の製造年等の確認 ○ X線解析法  
処理方法 「非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従い、あらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。

(1.5.2)

工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業
仮設工事	● とび作業
鉄筋工事	● 鉄筋組立作業
コンクリート工事	● 左官作業 ● 型枠工事作業 ● コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	○ 構造物鉄工作業 ○ とび作業
ブロック及びALC工事	○ コンクリートブロック工事作業 ○ ALC工事作業
カーテンウォール工事	○ 金属製カーテンウォール施工作業 ○ ビル用サッシ施工作業 ○ ガラス工事作業
防水工事	○ アスファルト防水工事作業 ● シリンダ防水工事作業 ○ 汎用ゴム系塗膜防水工事作業 ○ 膜系防水工事作業 ○ フラッシュ系防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴム系シート防水工事作業 ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ 改質アスファルトシート防水工事作業
石工事	○ 石張り作業
タイル工事	● タイル張り作業
木工事	● 大工工事作業 ○ 家具手加工作業
屋根及びとい工事	● 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ スレート工事作業
金属工事	○ 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業
左官工事	● 左官作業
塗装工事	● 建築塗装作業
建具工事	○ ビル用サッシ工事作業 ● ガラス工事作業 ○ 自動ドア施工作業
内装工事	○ フラッシュ系床仕上げ工事作業 ● ボード仕上げ工事作業 ● カーペット系床仕上げ工事作業 ● 壁装作業
排水工事	○ 建築配管作業
舗装工事	○ 溶融バインドマーカ工事作業 ○ 加熱バインドマーカ工事作業
植栽工事	○ 造園工事作業

ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。

適用する (適用事項は、現場説明書による)

作成する (提出部数 ● 2部 ○ 部) 詳細は監督職員の指示による。  
完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。

※作成する (提出部数 ● 2部 ○ 部)

- 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要
- 建物の主要な構造部及び外構についての説明
- 建物を使用する上での注意事項
- 建物に設置されている家具、機器等及び各部毎の仕上げの概要説明
- 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点
- 建物等の清掃の要点
- 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表

建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」建築保全「業務共通仕様書」を参考として作成すること。

**② 監督職員事務所**  
(2.3.1)

**③ 工事用水**

**④ 工事用電力**

**⑤ 仮囲い等**

**⑥ 設計G L**

**① 埋め戻し及び盛土** (3.2.3)

**② 建設発生土の処理** (3.2.5)

**③ 山留めの撤去** (3.3.3)

**④ ① 基礎種別** (4.2.2) ~ (4.5.8)

**② 地盤の載荷試験** (4.2.4)

**3 既製コンクリート杭地業** (4.3.1) (4.3.4) (4.3.5)

**4 鋼杭地業** (4.4.3)

**5 場所打ちコンクリート杭地業** (4.5.1) (4.5.5) (4.5.6)

規模 ※ 10m程度 ○ 20m程度 ○ 35m程度 ○ 65m程度 ○ 100m程度

仕上 床 ○ 合板張り素地 ※ ビニル床シート敷き ○ パンチベイト敷き  
内壁、天井 ※ 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エポキシ樹脂塗  
屋根 ※ 塗装溶融重鉛めっき鋼板張り ○ 鉄板張り鋼合板塗り  
休憩室 ※ 設けなし ○ 設ける(畳敷き) ○ \_\_\_\_\_

備品 ※ 机 ※ いす ※ 保護帽 ※ ゴム長靴 雨がっぱ ○ 衣類ロッカー (上記6品、\_\_\_\_人分程度)  
※ 書棚 ○ 黒板 ○ 製図板 ※ 掛時計 ※ 温度計  
※ 消火器 ※ 掃除機 ○ 懐中電灯 ○ 湯沸し器 ○ 加入電話機  
※ 冷暖房機器 ※ コピー機 ※ ネット回線 ※ 流し台 ○ \_\_\_\_\_  
※ 標仕(令和4年版) ※ 建築工事監理指針(令和4年版)  
※ 建築工事施工チェックシート ○ 建築工事標準詳細図(令和4年改定)  
○ 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)

構内既存の施設 ○ 利用できない ● 利用できる (●有償 ○無償)

構内既存の施設 ○ 利用できない ● 利用できる (●有償 ○無償)

○ 図示による ※ 必要に応じて設置する

● 図示による ○ 設計G L = 現状G L

○ A種 砂質土(山砂の類)を水締め又は機器による締固め (表3.2.1)  
● B種 根切り土中の良質土を機器による締固め  
○ C種 他現場の建設発生土中の良質土を機器による締固め  
○ D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め  
○ その他(材料 \_\_\_\_\_ 工法 \_\_\_\_\_)  
○ 建設発生土(盛土材)の外部からの受入土量( \_\_\_\_\_ m<sup>3</sup>)  
発生場所 ( \_\_\_\_\_ )

※ 下記に定めるほかは、現場説明書による

● 構外指示の受入場所に処分  
受入場所 ● 寺尾道路橋 ○ \_\_\_\_\_  
土壌調査 ● 行う(受入場所指定の検査) ○ \_\_\_\_\_  
○ 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例  
施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法

仮置場所 ○ \_\_\_\_\_

○ 構内指示の場所に敷き均し  
○ 構内指示の場所にたい積

※ 鋼矢板等の抜き跡の処理 ○ 図示による  
○ 撤去する  
○ 存置する

杭の種類、本数等 構造図による  
工法 構造図による  
試験杭 ○ 行う(構造図による)  
支持層の位置及び土質 構造図による  
杭の支持地盤への掘削深さ 構造図による  
杭継手 ○ \_\_\_\_\_ ○ アーク溶接 ○ 無溶接継手(工法 \_\_\_\_\_)  
杭の水平方向位置ずれ精度 構造図による  
杭の載荷試験 ○ 行う(構造図による)  
継杭溶接部試験 ○ 行う(浸透探傷試験 \_\_\_\_\_本)  
載荷試験 ● 行う(下記以外は構造図による)

※ 平板載荷試験 試験箇所数 1 箇所 (試験位置図示)  
設計地耐力 5 t/m<sup>2</sup>

○ セメントミルク工法 (4.3.1)  
根固め液及び杭周固定液の管理試験  
※ 標仕 4.3.4 (6)(a)から(g)による ○ \_\_\_\_\_

○ 特定埋込杭工法

鋼杭の材料 ○ 図示による ○ \_\_\_\_\_

工法  
○ アースドリル工法 ○ リバース工法 ○ オールケーシング工法  
超音波測定器による孔壁の確認 ○ 行う ○ 行わない  
○ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ○ 拡底杭

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
4	地業工事	④ 砂利及び砂地業 (4.6.2) (4.6.3)	⑥ コンクリート工事	① コンクリートの種類 (6.2.1)	種類 ※普通コンクリート ○ _____ (表6.2.1)	⑥ コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5)	※フレッシュコンクリートの試験 ○省略する	7	鉄骨工事	10 工作図 (7.3.2)	高力ボルト、普通ボルトのゲージ、ピッチ、刈あき等 ※ 図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)
		⑦ 捨てコンクリート地業 (4.6.4)		② コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1)	設計基準強度 (F <sub>c</sub> )					11 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3)	常時土又は水に直接接する部分の使用 ○可 ○不可
		⑧ 床下防湿層 (4.6.5)		③ セメントの類別 (6.3.1)	種類 ※Ⅰ類 ○Ⅱ類					12 寒中コンクリート (6.11.1)	種類 ○1種 ○2種
		⑨ 土間断熱材		④ 骨材 (6.3.1)	設計基準強度 (F <sub>c</sub> )					13 暑中コンクリート (6.12.2)	施工箇所
5	鉄筋工事	⑩ 地盤改良	⑤ 混和材料 (6.3.1)	細骨材 ※砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) ○高炉スラグ ○電気炉酸化スラグ ○再生骨材H	※ 暑中における構造体強度補正值 (S)	14 マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2)	※ 暑中における構造体強度補正值 (S)	15 耐火被覆 (7.9.2) ~ (7.9.7)	12 溶接作業における技能資格者 (7.6.3)	溶接作業者の技量付加試験 ※行わない ○行う 試験の要領 ○図示による ( ) ○ _____	
		① 鉄筋の種類等 (5.2.1)	⑥ 構造体強度補正值 (6.3.2)	粗骨材 ※砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) ○高炉スラグ ○電気炉酸化スラグ ○再生骨材H	※ 暑中における構造体強度補正值 (S)	15 無筋コンクリート (6.14.1)	※ 暑中における構造体強度補正值 (S)		14 溶接部の試験 (7.6.12)	完全溶込溶接部の超音波探傷試験 ※行う ○行わない	
		② 溶接金網 (5.2.2)	⑦ 打継ぎ (6.6.4)	細骨材 ※砂 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) ○高炉スラグ ○電気炉酸化スラグ ○鋼スラグ ○フクロケルマスラグ ○再生骨材H	※ 暑中における構造体強度補正值 (S)	⑩ コンクリート車の過積載防止対策等	16 アンカーボルト (7.2.2) (7.2.4) (7.10.3)		※ 暑中における構造体強度補正值 (S)	13 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)	開先形状 ○図示による
		③ 鉄筋の継手及び定着 (5.3.4) (5.3.3) (5.6.3)	⑧ 型枠 (せき板) (6.2.5) (6.8.1) (6.8.2)	アルカリシリカ反応性による区分 ※A (無害) ○ _____	※ 暑中における構造体強度補正值 (S)	1 鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑩ アンカーボルト (7.2.2) (7.2.4) (7.10.3)		※ 暑中における構造体強度補正值 (S)	14 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)	鋼製エンドタブの切断 ○有 ○無
		④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)	⑨ スリーブ (6.8.2)	※ AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤のⅠ種 (JIS A 6204) 防錆剤 ※鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025) ※混和材 ※フライアッシュ (JIS A 6201) Ⅰ種、Ⅱ種若しくはⅣ種 ○コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) ○コンクリート用シリカフェューム (JIS A 6207) ○コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)	※ 暑中における構造体強度補正值 (S)	2 施工管理技術者 (7.1.4)	⑩ アンカーボルト (7.2.2) (7.2.4) (7.10.3)		※ 暑中における構造体強度補正值 (S)	14 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)	適用箇所 ※図示による ○ _____
5	ガス圧接継手 (5.4.10)	⑤ ガス圧接継手 (5.4.10)	⑤ 混和材料 (6.3.1)	位置 ※構造図による ○標仕 6.6.4(1) による 目地の寸法 ※図示による ○ _____	3 鋼材 (7.2.1)	⑤ ガス圧接継手 (5.4.10)	⑤ 混和材料 (6.3.1)	⑤ ガス圧接継手 (5.4.10)	⑤ ガス圧接継手 (5.4.10)	⑤ ガス圧接継手 (5.4.10)	

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1:non		SCALE		SCALE	
DW.		CK.		DATE 07-02	
NO.		A-02		NO.	
建築特記仕様書 2				野中建築設計事務所	
1級建築士第147931号 野中健一				〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-2-0	
TEL 0771-62-0298 FAX 0771-62-0408					



章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																												
⑫ ①揮発性有機化合物対策 (12.2.1) (12.2.2) (12.2.3)	材料(集成材、合板等)のホルムアルデヒド放散量 表示がある場合 ※F☆☆☆☆ ○ 表示がない場合 ※非ホルムアルデヒド系接着剤使用(塗装していないもの) ※非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用(塗装したもの) ※非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用(化粧加工したもの) ○  接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○	⑫ ⑤集成材 (12.2.1)	「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 ※造作用集成材 使用箇所 品名 樹種 見付材面数 寸法 見付材面の品質 ※1等 ○2等 ○化粧ばり造作用集成材 使用箇所 品名 樹種 寸法 化粧板厚 見付材面数 見付材面の品質 ※1等 ○2等  「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 ※造作用集成材 使用箇所 樹種 寸法 見付材面の品質 含水率 ※15%以下 ○ ○化粧ばり造作用集成材 使用箇所 化粧樹種名 芯材樹種名 寸法 化粧板厚 見付材面の品質 含水率 ※15%以下 ○  「JAS0701(単板積層材)」による造作用単板積層材 ○造作用単板積層材 使用箇所 品名 寸法 表面の品質 防虫処理 ○表面化粧加工なし ○適用する ○1等 ○2等 ○3等 ○適用しない ○表面化粧加工あり ○天然木化粧加工 ○塗装加工  「JAS0701(単板積層材)」以外の造作用単板積層材 ○造作用単板積層材 使用箇所 寸法 表面の品質 含水率 防虫処理 ○表面化粧加工なし ※14%以下 ○適用する ○表面化粧加工あり ○適用しない ○天然木化粧加工 ○塗装加工  JAS3079(直交集成板) 使用箇所 品名 曲げ強度 種別 接着性能 樹種 寸法  ※「合板の日本農林規格」による普通合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 その他処理 ※押入れ、物入れ ※5.5mm ○ ※1類 ○2類 広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上 ○  ※「合板の日本農林規格」による構造用合板 使用箇所 品名 等級 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 保存処理 その他処理 ※畳床下地材、フローリング材、下地材 ※2級以上 ※12mm ○ ※1類 ○特類 ※C-D以上 ○ ○防虫処理 ○強度等級  「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 その他処理 ○1類 ○防虫処理 ○特類  「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 使用箇所 厚さ 樹種名 接着程度 その他処理 ○1類 ○2類 ○防虫処理  「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 使用箇所 品目 厚さ 樹種名 接着程度 化粧加工の方法 その他処理 ○1類 ○オーバーレイ ○防虫処理 ○2類 ○プリント ○塗装 ○  パーティクルボード 使用箇所 厚さ 各種区分 ※15mm ○ ※13PTタイプ又は13Mタイプ ○  JAS0360に基づく構造用パネル 使用箇所 等級 厚さ	⑫ ②接合具等 (12.2.2)	MDF 使用箇所 厚さ 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分  造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ○釘頭埋め木 ○つぶし頭釘 ○釘頭現し 諸金物の形状、寸法及び材質 ※かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表12.2.3から表12.2.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表14.2.2[鉄鋼の垂鉛めっきの種別]のF種程度の垂鉛めっきを施したものの ○  防虫・防蟻処理 ○薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理 適用部位 保存処理性能区分 ○K2 ○K3 ○K4 ○K2 ○K3 ○K4  ※薬剤の塗布による防虫・防蟻処理 適用部位 処理の方法 薬剤の種類 ※薬剤の製造所の仕様に よる ○ ※JIS K 1571に適合又は同等品 ○ ○ ○  ○薬剤の接着剤への混入による防虫・防蟻処理 適用部位 ○合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 防虫処理 ※行う(範囲:ラワン材等 ※製材の日本農林規格による保存処理の性能区分K1) ○行わない	⑫ ③製材 (12.2.1)	「JAS1083(製材)」による製材 ※下地用製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 ○1級 ※2級  ※造作用製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 柀、顔縁 敷底、かまこ 小節 ○並  ※広葉樹製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 ○特等 ※1等 ※10%以下 ○2等 ○  ※「JAS1083(製材)」以外の製材 (表12.2.2) 使用箇所 樹種 寸法 材面の品質 防虫処理 含水率 ※A種 ○B種	⑫ ④樹種 (12.2.1)	●使用木材のうち杉、ひのきについては京丹波町産木材とする。 (構造特記 8 木工事 木材一覧表参照)  ●工事完成までに、ウッドマイレージ002京都の木認証書(京都府産木材証明書及びウッドマイレージCO2計算書)(注1)を提出することを原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書(京都府産木材証明書)(注2)を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 一般社団法人京都府木材組合連合会 TEL:075-802-2991 注1) 認証書は製材所、流通業者の全てが取扱事業者でなければ発行されない。 注2) 証明書は製材所、流通業者の全てが取扱事業者又は認証機関登録事業者でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。  ●工事完成までに、京丹波町内産木材の産地証明書を提出すること。  ●京都木材規格(KTS)材を使用する場合は、京都木材規格(KTS)材証明書(発行機関:(一社)京都府木材組合連合会)を提出すること。	⑬ ①性能 (13.2.1)	※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 (表13.2.1)  ⑬ ②長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3) 屋根葺形式 材料の種類等 厚さ(mm) 下葺材料 ※心木なし 瓦葺 ※JIS G 3322の屋根用(着色○有) ※0.4 ※アスファルト-フロン'940 ○立平葺 ○改質アスファルト-フロン'下葺材 ○蟻掛葺 ○一般タイプ ○横葺 ○複層基材タイプ ○粘着層付タイプ  専門工事業者 ※製造所の指定業者とする ○ ※建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した工法を品質計画により定める。 積雪きの場合のけらば納め ○つみ込み納め ○けらば納め 雪止め ○設置する ○設置しない  3 折板葺 (13.3.2) (13.3.3) 形式による区分 ※重ね形 ○はげ鉢形 ○嵌合形 山高(mm) 耐力 山ピッチ(mm) 板厚(mm) ※0.6 ○0.8 材料による区分 ※JIS G3322の屋根用(着色○有) (表13.2.1) ○ 軒先面戸板 ※有り(軒先面戸・換気面戸) ○無し けらば変形防止材 ○鉄鋼製(上塗り)折板色 ○ ○スチルスチール 断熱材張り ○行う 種別( ) 厚さ( ) 防火性能(30分) ※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。 耐雪性能に対応した工法の適用 ○適用する ○適用しない 雪どめ ○適用する ○適用しない 種類、大きさ、産地等 ※J型 53A ○  4 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3) 役物瓦の種類 雪止め瓦の使用 ○有 ○無 凍害試験 ○行う ○行わない 棟補強用心材の材質、寸法 ※杉幅40mm×高さ30mm以上(防蟻処理を施したもの) ○ 棟補強等に使用する金物等 材種 材質 形状 寸法 留付け方法 ○ステンレス製 ○鋼製(溶融亜鉛めっき処理)  檜木の留付け工法 棟の工法 ○7寸丸伏せ棟 ○F形用冠瓦伏せ棟 ○のし積み棟 ※建築基準法に基づき定まる風圧力・地震力に対応した工法を品質計画により定める。 面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合 ○モルタル ○瓦葺き用しっくい といの材種 ○配管用鋼管 ※硬質ポリ塩化ビニル管 ○ルーフレイン (表13.5.1) ○表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類 ○) (屋内といにV.P管は使用しない) ○  とい受け金物及び足金物 材種 ※ステンレス製 ※表13.5.2(溶融亜鉛めっきを行ったもの) 形状 ○ ※表13.5.2 取付け間隔 ※1,200mm ※表13.5.2 ○0.5m以下(多雪地域の場合) 鋼管製といの防露 ※行う (施工箇所 ※表13.5.3による ○) 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○ 掃除口 ※設ける (開放性のある自転車置場のといを除く) ※受注者、屋根施工業者、屋根材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限:工事事務物引渡しより10年間以上とする。)	⑬ ③折板葺 (13.3.2) (13.3.3)	⑬ ④土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3)	⑬ ⑤とい(雨水) (13.5.2) (13.5.3)	⑬ ⑥保証書	⑭ ①一般事項 (14.1.3)	あと施工アンカーの引張試験 ※行う( 箇所以上、 N/箇所 ) ○行わない (表14.2.1)	⑭ ②アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)	種別 施工箇所(手すり、成形板、笠木、建具以外)  陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ○三次電解着色 ○ 色合等 (表14.2.2)	⑭ ③鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)	表面処理方法 種別 試験 施工箇所 ○溶融亜鉛めっき ○A種 ○B種 ○C種 ○行う ○電気亜鉛めっき ○D種 ○E種 ○F種 ○行う	⑭ ④軽量鉄骨天井下地 (14.4.2) (14.4.4)	野縁等の種類 屋内 ※19型 ○25型 (表14.4.1) 屋外 ○19型 ※25型 屋外の野縁受け・吊りボルト・インサートの間隔 _____mm 屋外の周辺部の端からの寸法 _____mm 屋外の野縁の間隔 _____mm 屋外のはずれ留め補強 ※有り ○無し 開口補強 吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示による ○ 天井のふとこの補強(1.5m以上3m以下) ※行う (3mを超える) ※行う(図示による)	⑭ ⑤軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)	スタッド、ランナー等の種類 (表14.5.1) ※表14.5.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ○ スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示による ○	⑭ ⑥金属成形板張り (14.6.2) (14.6.3)	形状 製法 材種 寸法(mm) 表面処理(種別) ○スパンドレル形 ○押出し ※7mm製 板厚 _____ ○ロール ○ 板幅 _____ ○パネル形 ※プレス  伸縮調整継手 ○設けない ○設ける (施工箇所は図示)	⑭ ⑦アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3)	種類 板厚(mm) 表面処理(種別) 備考 ○250形 1.6 ○ ユーナー部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。 ○300形 1.8 ○350形 2.0 ○	⑭ ⑧天井点検口	※アルミニウム製既製品(450×450) 4 箇所 ○アルミニウム製既製品(600×600) _____ 箇所	⑭ ⑨床点検口	※アルミニウム製既製品(600×600) 1 箇所 ○ステンレス製既製品(600×600) _____ 箇所 ○鋼鉄製マンホール蓋 _____ 型 _____ φ _____ 箇所	⑭ ⑩屋上点検口	寸法(mm) ○φ600 ○500角 断熱材 ○有り ○無し

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20

TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

1:non	SCALE	SCALE	SCALE
建築特記仕様書4			
DW.	CK.	DATE 07-02	NO. A-04

⑬ 左官工事	1 ラス系下地 (15.2.4)	<p>下地の種類</p> <p>○二層下地通気構法 ○単層下地通気構法 換気口部の措置 (※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3(2)(ウ)) ○直張りラスモルタル下地 ○直張りラスシートモルタル下地</p> <p>ラスの材料</p> <p>種類及び記号 ( ) 単位面積当たりの質量 ( )</p> <p>ラスシートの材料</p> <p>ラス目による区分 (※M O ) 山高、山ピッチ、質量及び溶接区間による区分 (OLS4 (建築基準法に基づく耐力壁) O ) ステーブルの形状及び寸法 ( ) 直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシート施工 ( )</p>	⑮ 左官工事																																																																																
	②モルタル塗り (15.3.2) ~ (15.3.5)	<p>材料 ○現場調査材料 ○既調査材料</p> <p>既製目地材 ○適用する (形状 )</p> <p>床塗り 目地の設置 ※有り (種類 ※押目地 O ) (目地割 ※2m程度 最大目地間隔 3m O ) ○無し</p> <p>屋外のタイル張り下地及び屋内の吹き抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ※浮きの確認 ※全面打診による確認を行う ※接着力試験 ※行う ○行わない</p>																																																																																	
	③石こうボードその他のボード下地	<p>せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ 種類 (※GB-R OGB-L O )厚さ ( 12.5 mm)</p> <p>木質系セメント板の種類及び厚さ 種類 ( )厚さ ( mm)</p>																																																																																	
	4 こまい下地	建築基準法に基づく耐力壁の指定 (○あり ○なし)																																																																																	
	5 木ずり下地	木ずり用小幅板の種類 (※すぎ (心去り材) O )																																																																																	
	6 仕上塗材仕上げ (15.6.2)	内装塗材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ O																																																																																	
		薄付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.6.1)																																																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕 上 げ</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○外装薄塗材Si</td> <td>○砂壁状 ○ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○可とう形外装薄塗材Si</td> <td>○ゆず肌状 ○さざ波状</td> <td>ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○外装薄塗材E</td> <td>○砂壁状 ○ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ゆず肌状 ○さざ波状</td> <td>ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○可とう形外装薄塗材E</td> <td>○砂壁状 ○ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ゆず肌状 ○さざ波状</td> <td>ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○防水形外装薄塗材E (○増塗材)</td> <td>○凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○外装薄塗材S</td> <td>砂壁状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○内装薄塗材C</td> <td>○凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td>○調湿形</td> </tr> <tr> <td>○内装薄塗材L</td> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ゆず肌状 ○さざ波状</td> <td>ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○内装薄塗材Si</td> <td>○砂壁状じゅらく ○ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○内装薄塗材E</td> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ゆず肌状 ○さざ波状</td> <td>ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○内装薄塗材W</td> <td>○京壁状じゅらく ○ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td>○調湿形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○耐アルカリ性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○かび抵抗性</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		種類(呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考	○外装薄塗材Si	○砂壁状 ○ゆず肌状	吹付け		○可とう形外装薄塗材Si	○ゆず肌状 ○さざ波状	ローラー		○外装薄塗材E	○砂壁状 ○ゆず肌状	吹付け			○平たん状 ○凹凸状	こて塗			○ゆず肌状 ○さざ波状	ローラー		○可とう形外装薄塗材E	○砂壁状 ○ゆず肌状	吹付け			○平たん状 ○凹凸状	こて塗			○ゆず肌状 ○さざ波状	ローラー		○防水形外装薄塗材E (○増塗材)	○凹凸状	吹付け		○外装薄塗材S	砂壁状	吹付け		○内装薄塗材C	○凹凸状	吹付け	○調湿形	○内装薄塗材L	○平たん状 ○凹凸状	こて塗			○ゆず肌状 ○さざ波状	ローラー		○内装薄塗材Si	○砂壁状じゅらく ○ゆず肌状	吹付け		○内装薄塗材E	○平たん状 ○凹凸状	こて塗			○ゆず肌状 ○さざ波状	ローラー		○内装薄塗材W	○京壁状じゅらく ○ゆず肌状	吹付け	○調湿形		○耐アルカリ性				○かび抵抗性		
	種類(呼び名)	仕 上 げ		工 法	備 考																																																																														
	○外装薄塗材Si	○砂壁状 ○ゆず肌状		吹付け																																																																															
○可とう形外装薄塗材Si	○ゆず肌状 ○さざ波状	ローラー																																																																																	
○外装薄塗材E	○砂壁状 ○ゆず肌状	吹付け																																																																																	
	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																	
	○ゆず肌状 ○さざ波状	ローラー																																																																																	
○可とう形外装薄塗材E	○砂壁状 ○ゆず肌状	吹付け																																																																																	
	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																	
	○ゆず肌状 ○さざ波状	ローラー																																																																																	
○防水形外装薄塗材E (○増塗材)	○凹凸状	吹付け																																																																																	
○外装薄塗材S	砂壁状	吹付け																																																																																	
○内装薄塗材C	○凹凸状	吹付け	○調湿形																																																																																
○内装薄塗材L	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																	
	○ゆず肌状 ○さざ波状	ローラー																																																																																	
○内装薄塗材Si	○砂壁状じゅらく ○ゆず肌状	吹付け																																																																																	
○内装薄塗材E	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																	
	○ゆず肌状 ○さざ波状	ローラー																																																																																	
○内装薄塗材W	○京壁状じゅらく ○ゆず肌状	吹付け	○調湿形																																																																																
	○耐アルカリ性																																																																																		
	○かび抵抗性																																																																																		
	厚付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.6.1)																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕 上 げ</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○外装厚塗材C</td> <td>○吹放し ○凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(○上塗材)</td> <td>○ひき起し ○かき落とし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○外装厚塗材Si</td> <td>○吹放し ○凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○外装厚塗材E</td> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>○こて塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(○上塗材)</td> <td>○ひき起し</td> <td>○ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○内装厚塗材C</td> <td>○吹放し ○凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td>○調湿形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ひき起し ○かき落とし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○内装厚塗材L</td> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ひき起し ○かき落とし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○内装厚塗材G</td> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ひき起し ○かき落とし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○内装厚塗材Si</td> <td>○吹放し ○凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○内装厚塗材E</td> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>○こて塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ひき起し</td> <td>○ローラー</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類(呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考	○外装厚塗材C	○吹放し ○凸部処理	吹付け			○平たん状 ○凹凸状	こて塗		(○上塗材)	○ひき起し ○かき落とし			○外装厚塗材Si	○吹放し ○凸部処理	吹付け		○外装厚塗材E	○平たん状 ○凹凸状	○こて塗		(○上塗材)	○ひき起し	○ローラー		○内装厚塗材C	○吹放し ○凸部処理	吹付け	○調湿形		○平たん状 ○凹凸状	こて塗			○ひき起し ○かき落とし			○内装厚塗材L	○平たん状 ○凹凸状	こて塗			○ひき起し ○かき落とし			○内装厚塗材G	○平たん状 ○凹凸状	こて塗			○ひき起し ○かき落とし			○内装厚塗材Si	○吹放し ○凸部処理	吹付け		○内装厚塗材E	○平たん状 ○凹凸状	○こて塗			○ひき起し	○ローラー															
種類(呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考																																																																																
○外装厚塗材C	○吹放し ○凸部処理	吹付け																																																																																	
	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																	
(○上塗材)	○ひき起し ○かき落とし																																																																																		
○外装厚塗材Si	○吹放し ○凸部処理	吹付け																																																																																	
○外装厚塗材E	○平たん状 ○凹凸状	○こて塗																																																																																	
(○上塗材)	○ひき起し	○ローラー																																																																																	
○内装厚塗材C	○吹放し ○凸部処理	吹付け	○調湿形																																																																																
	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																	
	○ひき起し ○かき落とし																																																																																		
○内装厚塗材L	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																	
	○ひき起し ○かき落とし																																																																																		
○内装厚塗材G	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																	
	○ひき起し ○かき落とし																																																																																		
○内装厚塗材Si	○吹放し ○凸部処理	吹付け																																																																																	
○内装厚塗材E	○平たん状 ○凹凸状	○こて塗																																																																																	
	○ひき起し	○ローラー																																																																																	

	7 マスチック塗材塗り (15.7.2)	
	8 しっくい塗り (15.10.1) ~ (15.10.3)	
	9 こまい壁塗り (15.11.2) ~ (15.11.8)	
	10 ロックウール吹付け (15.12.2) (15.12.3)	

⑯ 建具工事	①性能	※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。																																																					
	2 防火戸 (16.1.3)	※図示による O																																																					
	3 見本の製作等 (16.1.4)	建具見本の製作 ○行う (建具番号 ) 特殊な建具の仮組 ○行う (建具番号 )																																																					
	4 防犯建物部品 (16.1.6)	開口部の進入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ドア 適用箇所 ( ) ・サッシ 適用箇所 ( ) ・シャッター 適用箇所 ( )																																																					
	⑤アルミニウム製建具 (16.2.2) ~ (16.2.5)	<p>外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (コリト系下地、鉄骨下地) (表16.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性能等級</th> <th>○A種</th> <th>○B種</th> <th>○C種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>※S-4 O</td> <td>※S-5 O</td> <td>※S-6 O</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>※A-3 O</td> <td></td> <td>※A-4 O</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>※W-4 O</td> <td></td> <td>※W-5 O</td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td>※図示 ○70</td> <td>○100</td> <td>※図示 ○</td> </tr> </tbody> </table> <p>●外部に面するアルミニウム製建具の性能等級(木下地)(表16.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性能等級</th> <th>※D種</th> <th>※E種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>※S-2 O</td> <td>※S-3 O</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>※A-3 O</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>※W-3 O</td> <td></td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>●表面処理 (表14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>色</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※屋外</td> <td>○BB-1種 ○標準 ○特注</td> <td>※図示による ○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※BB-2種 ※標準 ○特注</td> <td>※図示による ○</td> </tr> <tr> <td>※屋内</td> <td>○BC-1種 ○標準 ○特注</td> <td>※図示による ○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※BC-2種 ※標準 ○特注</td> <td>※図示による ○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ○標準 ○特注</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 ) ○断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 ) ○耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級 )</p> <p>結露水の処理方法 ※図示による O 水切り、ぜん板等 ※図示による O ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL O 木下地の場合の外部に面する内付建具の止水処理 ○行う</p> <p>※防虫網 材 質 ※合成樹脂製 ○ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス製 (SUS316) 形 式 ※外部可動式 ○固定式 線径、網目 ※0.25mm以上、16~18メッシュ O 防鳥網 ○設置する</p>	性能等級	○A種	○B種	○C種	耐風圧性	※S-4 O	※S-5 O	※S-6 O	気密性	※A-3 O		※A-4 O	水密性	※W-4 O		※W-5 O	枠見込み(mm)	※図示 ○70	○100	※図示 ○	性能等級	※D種	※E種	耐風圧性	※S-2 O	※S-3 O	気密性	※A-3 O		水密性	※W-3 O		枠見込み(mm)			種 別	色	施 工 箇 所	※屋外	○BB-1種 ○標準 ○特注	※図示による ○		※BB-2種 ※標準 ○特注	※図示による ○	※屋内	○BC-1種 ○標準 ○特注	※図示による ○		※BC-2種 ※標準 ○特注	※図示による ○		○ ○標準 ○特注	
	性能等級	○A種	○B種	○C種																																																			
	耐風圧性	※S-4 O	※S-5 O	※S-6 O																																																			
	気密性	※A-3 O		※A-4 O																																																			
	水密性	※W-4 O		※W-5 O																																																			
	枠見込み(mm)	※図示 ○70	○100	※図示 ○																																																			
性能等級	※D種	※E種																																																					
耐風圧性	※S-2 O	※S-3 O																																																					
気密性	※A-3 O																																																						
水密性	※W-3 O																																																						
枠見込み(mm)																																																							
種 別	色	施 工 箇 所																																																					
※屋外	○BB-1種 ○標準 ○特注	※図示による ○																																																					
	※BB-2種 ※標準 ○特注	※図示による ○																																																					
※屋内	○BC-1種 ○標準 ○特注	※図示による ○																																																					
	※BC-2種 ※標準 ○特注	※図示による ○																																																					
	○ ○標準 ○特注																																																						
⑥網戸等 (16.2.3) (16.3.3)																																																							
7 樹脂製建具 (16.3.2) ~ (16.3.4)	<p>外部に面する樹脂製建具の性能等級 (コリト系下地、鉄骨下地) (表16.3.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性能等級</th> <th>○A種</th> <th>○B種</th> <th>○C種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>※S-4 O</td> <td>※S-5 O</td> <td>※S-6 O</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td></td> <td>※A-4 O</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>※W-4 O</td> <td></td> <td>※W-5 O</td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td>※図示</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>外部に面する樹脂製建具の性能等級(木下地) (表16.3.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性能等級</th> <th>○D種</th> <th>○E種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>※S-2 O</td> <td>※S-3 O</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>※A-4 O</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>※W-3 O</td> <td></td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 ○T-1 ○T-2 O ) ○断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 ○H-4 ○H-5 ○H-6 ○H-7 ○H-8 O )</p> <p>外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ○ ガラス ※複層ガラス ○単板ガラス ○三重ガラス ○ 表面色 ○標準色 ○特注色 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL O 水切り、ぜん板等 ※図示による O 木下地の場合の外部に面する内付建具の止水処理 ○行う</p>	性能等級	○A種	○B種	○C種	耐風圧性	※S-4 O	※S-5 O	※S-6 O	気密性		※A-4 O		水密性	※W-4 O		※W-5 O	枠見込み(mm)	※図示			性能等級	○D種	○E種	耐風圧性	※S-2 O	※S-3 O	気密性	※A-4 O		水密性	※W-3 O		枠見込み(mm)	※図示																				
性能等級	○A種	○B種	○C種																																																				
耐風圧性	※S-4 O	※S-5 O	※S-6 O																																																				
気密性		※A-4 O																																																					
水密性	※W-4 O		※W-5 O																																																				
枠見込み(mm)	※図示																																																						
性能等級	○D種	○E種																																																					
耐風圧性	※S-2 O	※S-3 O																																																					
気密性	※A-4 O																																																						
水密性	※W-3 O																																																						
枠見込み(mm)	※図示																																																						
	複層仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.6.1)																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕 上 げ</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○複層塗材CE</td> <td>○凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○複層塗材RE</td> <td>○凹凸状</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○複層塗材Si</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○複層塗材E</td> <td>○ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○可とう形複層塗材CE</td> <td>○凸部処理 ○凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○防水形複層塗材CE</td> <td>○凸部処理</td> <td>吹付け (○増塗材)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○防水形複層塗材E</td> <td>○凹凸状</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○防水形複層塗材RE</td> <td>○ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>複層仕上塗材の耐候性 ○耐候形1種 ○耐候形2種 ○耐候形3種 複層仕上塗材の上塗材 溶媒 ○水系 ○弱溶剤系 ○溶剤系 樹脂 ○アクリル系 ○ 外観 ○つや有 ○つやなし ○メタリック</p> <p>軽量骨材仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.6.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕 上 げ</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○吹付け軽量塗材</td> <td>砂壁状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○こて塗用軽量塗材</td> <td>平たん状</td> <td>こて塗</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>種別 ○A種 ○B種 (表15.7.1)</p> <p>下地 ○せっこうボード ○せっこうラスボード ○砂壁塗り ○木ずり ○こまい ○下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに使用する場合 ○</p> <p>材料 ○現場調査材料 ○既調査材料 色しっくい ○適用する ○適用しない</p> <p>既調査しっくいの調査 ○せっこうボード下地 ※ (表15.10.1) O ○モルタル塗り下地 ※ (表15.10.2) O ○せっこうラスボード下地 ※ (表15.8.2) O</p> <p>現場調査しっくいの調査及び各層の塗厚 ○木ずり下地 ※ (表15.10.3) O ○せっこうプラスター下地、こまい下地 ※ (表15.10.4) O</p> <p>既調査しっくいの上塗り仕上げ工法 ○なで切り仕上げ ○パターン</p> <p>土壁用のり ※つものた ○ふのり ○ぎんなんそう ○粉末海藻 ○ 砂壁用のり ※ふのり ○つものた ○こんにゃくのり ○にかわ ○合成樹脂系混和剤 ○</p> <p>色土の種類 ○土物仕上げ ○大津仕上げ 色砂の種類 ○天然砂と岩石の砕砂 ○人工的に着色・製造したもの</p> <p>下塗りの調査 ※表15.11.2 O 塗厚 ※表15.11.8 O ○耐力壁の指定がある場合 ( mm )</p> <p>工程 ※A種 ○B種</p> <p>○土物 仕上げ 種類 ○土もの仕上げ工法 ○水ごね土物1工法 ○水ごね土物2工法 ○のりさし土物工法 ○のりごね土物工法 ○砂壁仕上げ工法 ○切返し仕上げ工法</p> <p>ちりじゃくり ○大津 仕上げ 種類 ○普通大津仕上げ工法 ○大津みがき仕上げ工法 ちりじゃくり</p> <p>吹付け厚さ (mm) 施 工 箇 所 ※仕上げ表による</p> <p>ワカールのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ O 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ O</p>	種類(呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考	○複層塗材CE	○凸部処理	吹付け		○複層塗材RE	○凹凸状			○複層塗材Si				○複層塗材E	○ゆず肌状	ローラー		○可とう形複層塗材CE	○凸部処理 ○凹凸状	吹付け			○ゆず肌状	ローラー		○防水形複層塗材CE	○凸部処理	吹付け (○増塗材)		○防水形複層塗材E	○凹凸状			○防水形複層塗材RE	○ゆず肌状	ローラー		種類(呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考	○吹付け軽量塗材	砂壁状	吹付け		○こて塗用軽量塗材	平たん状	こて塗			
種類(呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考																																																				
○複層塗材CE	○凸部処理	吹付け																																																					
○複層塗材RE	○凹凸状																																																						
○複層塗材Si																																																							
○複層塗材E	○ゆず肌状	ローラー																																																					
○可とう形複層塗材CE	○凸部処理 ○凹凸状	吹付け																																																					
	○ゆず肌状	ローラー																																																					
○防水形複層塗材CE	○凸部処理	吹付け (○増塗材)																																																					
○防水形複層塗材E	○凹凸状																																																						
○防水形複層塗材RE	○ゆず肌状	ローラー																																																					
種類(呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考																																																				
○吹付け軽量塗材	砂壁状	吹付け																																																					
○こて塗用軽量塗材	平たん状	こて塗																																																					

⑰ 建具工事	8 鋼製建具 (16.4.2) ~ (16.4.4)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4 ○S-5 ○S-6 (表16.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 ※適用する ○適用しない (表16.4.1) ○防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) ○断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) ○耐震ドアの適用 (面内変形追従性の等級 ) ○点検口の類のくつずりの材料 ○ ○標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※図示による ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL O JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は標仕による) ※製造所標準製作規定寸法許容差による</p> <p>鋼板類の厚さ ※表16.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) O mm</p>												
	9 鋼製軽量建具 (16.5.2) ~ (16.5.4)	<p>簡易気密型ドアセットの気密性 ※適用する (A-3) ○適用しない ○防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) ○断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) ○耐震ドアの適用 (面内変形追従性の等級 ) 鋼板 ○表面処理亜鉛めっき鋼板 ○ビニル被覆鋼板 ○カラー鋼板 ○ステンレス鋼板 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL O 鋼板類の厚さ ※表16.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) O mm 召合せ、縦小口包み板等 ※鋼板 ○ステンレス鋼板 ○アルミニウム合金の押出形材</p>												
	10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~ (16.6.4)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4 ○S-5 ○S-6 (表16.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 ※適用する ○適用しない (表16.4.1) ○防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) ○断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) ○耐震ドアの適用 (面内変形追従性の等級 ) ステンレス鋼板 ※JIS G 4305 種類 ○SUS304 ○SUS430J1L ○SUS443J1 ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL O JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は標仕による) ※製造所標準製作規定寸法許容差による</p> <p>表面仕上げ ※HL ○鏡面 曲げ加工 ※普通曲げ ○角出し曲げ</p>												
	⑱木製建具 (16.7.2) (16.7.3)	<p>建具材の含水率の種別 ○A種 ※B種 ○C種</p> <p>※フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※標仕16.7.2(2)(イ)(a)による 表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規 格 等</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○普通合板</td> <td>表面の樹脂 ○ 板面の品質 (※広葉樹1種 O ) 接着の程度 (○1種 ○2種 )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○天然木化粧合板</td> <td>樹種名 ( ) 接着の程度 (○1種 ○2種 )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 ※プリント ○ポリエステル化粧合板 ○メラミン化粧合板 ○ 接着の程度 (○1種 ○2種 )</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>●MDF オレフィンシート張り</p> <p>表面材の合板の種類及び品質等 ○ 表面板の厚さ ※図示による ○ 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ○適用する ○適用しない かまち戸 かまち及び鏡板の樹種 ※図示による ○ 見込み寸法 ※36mm ○ ふすま 材料の種別 ○I型 ○II型 上張りの種類 ※図示による ○ 見込み寸法 ※19.5mm ○ 戸ふすま 上張りの種類 ※図示による ○ 見込み寸法 ※30mm ○ 紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ○ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ O 枠及びくつずりの材料 ※図示による</p>	合板の種類	規 格 等	備 考	○普通合板	表面の樹脂 ○ 板面の品質 (※広葉樹1種 O ) 接着の程度 (○1種 ○2種 )		○天然木化粧合板	樹種名 ( ) 接着の程度 (○1種 ○2種 )		○特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ※プリント ○ポリエステル化粧合板 ○メラミン化粧合板 ○ 接着の程度 (○1種 ○2種 )	
	合板の種類	規 格 等	備 考											
	○普通合板	表面の樹脂 ○ 板面の品質 (※広葉樹1種 O ) 接着の程度 (○1種 ○2種 )												
	○天然木化粧合板	樹種名 ( ) 接着の程度 (○1種 ○2種 )												
	○特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ※プリント ○ポリエステル化粧合板 ○メラミン化粧合板 ○ 接着の程度 (○1種 ○2種 )												

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

1:non	SCALE	SCALE	SCALE
建築特記仕様書5			
DW.	CK.	DATE 07-02	NO. A-05

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
16 ⑬ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※作成する (グループ、各グループ 個) ○作成しない ○在来マスターキーに合わせる 鍵の製作本数 ※各室3本 1組 ○ 開き戸 (表16.8.1)	13 自動7開閉装置 (16.9.2) ~ (16.9.3)	駆動装置及び検出装置の性能 ○引き戸用駆動装置性能値 ※標仕 表16.9.1による (○SSLD-1 ○SSLD-2 ○DSL-1 ○DSL-2) ○種類・開閉方式 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源 ○車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置性能値 ※標仕 表16.9.2による ○耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源 ○引き戸用検出装置性能値 ※標仕 表16.9.3による ○放射無線周波数 耐電圧 防錆 防滴 電源 電磁界耐性 戸の開閉方式 ※建具による ○ 引き戸検出装置の種類 ○表16.9.4 ( ) による ※建具による タッチスイッチの種類 ○無線式タッチスイッチ ○光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 ○大型押しボタンスイッチ ○非接触スイッチ 凍結防止措置 ○行う
	金物の種類 見え掛り部の材質 その他 ○シリンダー錠 ○握り玉: ステンレス ○取付位置 ( ) ○レバーハンドル: 7%ニッケル合金、(○ステンレス、○黄銅) 実用性能項目 シリンダー錠: ステンレス ※グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○		性能値等の区分 (表16.10.1)
	○本締り錠 シリンダー錠: ステンレス 実用性能項目 ※グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○		適用戸の総質量(kg) ○40以下 ○40を越えるもの 手動開き力(N) ※15以下 ○ ※20以下 ○ 手動閉じ力(N) ※15以下 ○ ※20以下 ○
	○空錠 ○握り玉: ステンレス ○取付位置 ( ) ○レバーハンドル: 7%ニッケル合金、(○ステンレス、○黄銅)		性能等 品質・規格
	○グレモン錠 レバーハンドル: 亜鉛合金、(○ステンレス) ○取付位置 ( )		種類 ○管理用シャッター (シャッターケース設ける) 耐風圧強度 ○外壁用防火シャッター(シャッターケース設ける) 耐風圧強度 ○屋内用防火シャッター(シャッターケース設ける) ○屋内用防煙シャッター(シャッターケース設ける)
	○ケースハンドル錠 ステンレス		開閉方式 ※電動式(手動併用) ○手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 ※図示による ○
	○点検口錠 亜鉛合金程度、(○ステンレス)		管理用シャッターのシャッターケース ○設ける ○設けない スラット及びシャッターケース用銅板
	○丁番 ステンレス、(○黄銅)		材 質 めっきの付着量 ○ JIS G 3302 ○ Z12又はF12を満足するもの ○ ○ JIS G 3312 ○ Z12又はF12を満足するもの ○
	○ピボットヒンジ かがり部: ステンレス、(○亜鉛合金) 亜鉛合金は木製建具用のみ		開閉方式 ○電動式(手動併用) ※手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 ※図示による ○
	○点検口軸吊りヒンジ 建具製作所の仕様による ○自閉装置付き		耐風圧強度
○フロアヒンジ かがり部: ステンレス、(本体は鋼)	スラット		
○ヒンジ加ザ(丁番型) 鋼(焼付け塗装)	材 質 めっきの付着量 形 状 ○ JIS G 3312 ○ Z06又はF06を満足するもの ○ ○ JIS G 3322 ○ AZ90を満足するもの ○		
○ヒンジ加ザ(ベネタイプ) かがり部: ステンレス、(本体は鋼)	セクション材 ※ステンレス ○7%ニッケル合金 ○7%ニッケル合金		
○ドアクローザー 本体: 7%ニッケル合金 7%ニッケル合金 鋼(焼付け塗装)	開閉方式 ※バランス式 ○チェーン式 ○電動式 電動式には保護装置を設ける 設置箇所 ※図示による ○		
○閉鎖順位調整器 ステンレス、(○鋼)	収納形式 ○スタンダード型 ○ローヘッド型 ○ハイリフト型 ○パーチカル型		
○押棒・押板 (○ステンレス、○黄銅、○合成樹脂) ○取付位置 ( )	ガイドレール等 ※溶融亜鉛めっき銅板 ○ステンレス銅板		
○上げ落し (フランス落し) 亜鉛合金程度、(○ステンレス)	材料		
○7%ニッケル合金	種 別 種 類 等 種 別 種 類 等 ●7%ニッケル合金 ○強化ガラス ○熱線吸収板ガラス ●型板ガラス ○熱線吸収板ガラス ○網入板ガラス ○複層ガラス ○線入板ガラス ○熱線反射ガラス ○合わせガラス ○倍強度ガラス ○		
○戸当り 亜鉛合金程度、(○ステンレス、○黄銅) ○おとり止め付き	ガラスの留め材及び溝の大きさ		
※引き戸 (表16.8.1)	建具の種類 ガラス留め材の種類 ガラス溝の大きさ(mm) ※アルミニウム製建具 ●シーリング材 ※建具製造所の仕様による 木製建具の場合 シリンダー錠等はステンレス ○グレイジングチャンネル ○図示による ○取付位置 ( ) ○シーリング材 ※建具製造所の仕様による 木製建具の場合: ステンレス ○図示による (○黄銅) ○ステンレス製建具 ○図示による 戸車 (上吊りの場合を除く) ○樹脂製建具 ○グレイジングガスケット ※建具製造所の仕様による レール (上吊りの場合を除く) (○7%ニッケル合金 ○黄銅) 黄銅は木製建具のみ ○図示による		
金属製建具用丁番 ※表16.8.2による ○ 樹脂製建具用丁番 ※表16.8.3による ○ 木製建具用丁番 ※表16.8.4による ○ 戸車及びレール ※表16.8.5による ○	※防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 ※防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。		

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
16 ⑭ 建具工事	13 自動7開閉装置 (16.9.2) ~ (16.9.3)	17 カートンウォール工事	19 ガラスブロック (16.14.5)
	① 自閉式上吊り引戸装置(16.10.3)		1性能 (17.1.3)
	15 重量シャッター (16.11.2) ~ (16.11.4)		2メタルカーテンウォール (17.2.2) ~ (17.2.3) (17.2.5)
	16 軽量シャッター (16.12.2) ~ (16.12.4)		3PCカーテンウォール (17.3.2) ~ (17.3.5)
	17 オーバーヘッドドア (16.13.2) ~ (16.13.4)		4シーリング材及びガラス取付材料 (17.2.2)(17.3.2)
	① ガラス (16.14.2) (9.7.1~5)		5構造用ガスケット (17.2.2)(17.3.2)

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
16 ⑮ 建具工事	19 ガラスブロック (16.14.5)	17 カートンウォール工事	19 塗装材料 (18.1.3)
	① 自閉式上吊り引戸装置(16.10.3)		② 素地ごしらえ (18.2.2) ~ (18.2.7)
	15 重量シャッター (16.11.2) ~ (16.11.4)		3 錆止め塗料塗り (18.3.2) (18.3.3)
	16 軽量シャッター (16.12.2) ~ (16.12.4)		③ 塗装工程 (18.4.1) ~ (18.4.2)
	17 オーバーヘッドドア (16.13.2) ~ (16.13.4)		
	① ガラス (16.14.2) (9.7.1~5)		

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
16 ⑯ 建具工事	19 ガラスブロック (16.14.5)	17 カートンウォール工事	19 塗装材料 (18.1.3)
	① 自閉式上吊り引戸装置(16.10.3)		② 素地ごしらえ (18.2.2) ~ (18.2.7)
	15 重量シャッター (16.11.2) ~ (16.11.4)		3 錆止め塗料塗り (18.3.2) (18.3.3)
	16 軽量シャッター (16.12.2) ~ (16.12.4)		③ 塗装工程 (18.4.1) ~ (18.4.2)
	17 オーバーヘッドドア (16.13.2) ~ (16.13.4)		
	① ガラス (16.14.2) (9.7.1~5)		

Chapter 19: Interior Work. Items include: 4 帯電防止床シート、床タイル (19.2.2), 5 視覚障害者用床タイル (19.2.2), 6 耐動荷重性床シート (19.2.2), 7 防滑性床シート、床タイル (19.2.2), 8 ビニル幅木 (19.2.2), 9 ゴム床タイル張り (19.2.2), 10 カーベットの敷き (19.3.2), 11 合成樹脂塗床 (19.4.2), 12 フローリング張り (19.5.2) ~ (19.5.6).

Chapter 20: Units and other work. Items include: 13 緑甲板張り (19.5.1), 14 畳敷き (19.6.2), 15 せっこうボード、その他ボード及び合板張り (19.7.2), 16 壁紙張り (19.8.2), 17 天井廻り縁 (19.9.2), 18 断熱・防露 (19.9.3).

Chapter 21: Units and other work. Items include: 19 家具、ユニット等の揮発性有機化合物対策, 20 フリーアクセスフロア (20.2.2), 21 可動間仕切 (20.2.3), 22 移動間仕切 (20.2.4), 23 トイレブース (20.2.5), 24 てすり (20.2.6), 25 階段滑り止め (20.2.7), 26 黒板及びホワイトボード (20.2.9), 27 鏡 (20.2.10), 28 表示・標識 (20.2.11).

Chapter 22: Units and other work. Items include: 29 タラップ (20.2.12), 30 煙突ライニング (20.2.13), 31 ブラインド (20.2.14), 32 ロールスクリーン (20.2.15), 33 カーテン (20.2.16), 34 カーテンレール (20.2.16), 35 ブラインドボックスカーテンボックス (20.2.17), 36 くつふきマット (20.2.18), 37 鋼製書架及び棚 (20.2.19), 38 収納家具(木製) (20.2.20), 39 掲示板 (20.2.21), 40 カウンター (20.2.22), 41 洗面カウンター (20.2.23), 42 流し台ユニット (20.2.24), 43 非常用救助袋等 (20.2.25), 44 鍵箱 (20.2.26), 45 定礎 (20.2.27), 46 旗竿受金物 (20.2.28).

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																				
20	29 旗ポール	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>地上高さ (m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム合金</td> <td>※テーパー型</td> <td>○ 6 ○ 10</td> <td>※ハンドル式</td> <td>○埋込式</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○同一断面型</td> <td>○ 8 ○</td> <td>○ロープ式</td> <td>○ベース式</td> </tr> <tr> <td colspan="5">品質・規格</td> </tr> </table>	材質	形式	地上高さ (m)	操作方法	固定方法	※アルミニウム合金	※テーパー型	○ 6 ○ 10	※ハンドル式	○埋込式	○	○同一断面型	○ 8 ○	○ロープ式	○ベース式	品質・規格					22	21 舗装工事	1 路床 (22.2.2) 路床の構成 ○凍上抑制層 厚さ ○ 図示による ○ ○凍上抑制層に用いる材料 ○砂 (○砂の粒度試験) ○ ○透水性舗装 フィルター層の厚さ 車道部 ○ 図示による ○ 150mm ○ 歩道部 ○ 図示による ○ 50mm ○ 盛土に用いる材料 ○ A種 ※ B種 ○ C種 ○ D種 (表3.2.1) 路床安定処理 ○ 行う ○ 行わない 路床安定処理用材料 ※ 添加材料による安定処理 (表22.2.2) 種類 ○ 地盤改良材 ( ) ○ 高炉もみB種 ○ 普通ポルトランドセメント ○ 生石灰 特号 ○ 生石灰 1号 ○ フライアッシュセメントB種 ○ 消石灰 特号 ○ 消石灰 1号 添加量 kg/m3 (CBR ○3以上 ○) 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ○ 行う (※ 乱した土 ○ 乱さない土) 路床締固め度の試験 ※ 行う (埋戻し部、盛土部) ○ 行わない	22	7 ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)	○ コンクリート平板舗装 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地</th> </tr> <tr> <td>※ 普通平板 (N)</td> <td>○ カラー平板 (C)</td> <td>○ 300角</td> <td>※ 60</td> </tr> <tr> <td>○ 洗出平板 (W)</td> <td>○ 擬石 (S)</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 透水性平板 (P)</td> <td>○ 保水性平板 (M)</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> 品質・規格 クッション材 ※ 砂 ○ 空練りモルタル ○ インターロッキングブロック舗装 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>色彩及び表面加工等</th> </tr> <tr> <td>※ 普通ブロック (N)</td> <td>車路</td> <td></td> <td>※ 80</td> <td>※ 5.0</td> <td>※ 標準品</td> </tr> <tr> <td>○ 透水性ブロック (P)</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 保水性ブロック (M)</td> <td>歩行者用通路</td> <td></td> <td>※ 60</td> <td>※ 3.0</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 植生ブロック</td> <td>-</td> <td></td> <td>○ 80</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 80</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 100</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 品質・規格 クッション材 ※ 砂 ○ 舗石舗装 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>基層</th> <th>基層の厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○ 花崗岩</td> <td></td> <td>○ 80~100</td> <td>○ うろこ張り</td> <td>○ コンクリート版</td> <td>※ 70</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 7777t 混合物</td> <td>○ 50</td> </tr> </table> 品質・規格 クッション材 ※ 砂 ○ 空練りモルタル 通路 ※ A種 ○ B種 建物周囲その他 ○ A種 ※ B種 ※ 下敷きの使用材料は再生クラッシュランとする	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地	※ 普通平板 (N)	○ カラー平板 (C)	○ 300角	※ 60	○ 洗出平板 (W)	○ 擬石 (S)	○	○	○ 透水性平板 (P)	○ 保水性平板 (M)	○	○	種類	部位	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	色彩及び表面加工等	※ 普通ブロック (N)	車路		※ 80	※ 5.0	※ 標準品	○ 透水性ブロック (P)			○	○	○	○ 保水性ブロック (M)	歩行者用通路		※ 60	※ 3.0	○	○ 植生ブロック	-		○ 80	○	○				※ 80						○ 100			種類	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	工法	基層	基層の厚さ (mm)	○ 花崗岩		○ 80~100	○ うろこ張り	○ コンクリート版	※ 70	○	○	○	○	○ 7777t 混合物	○ 50	23	植栽及び屋上緑化工事	1 植栽基盤整備 (23.2.2) (23.2.3) ※ 行う <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>12m以上</td> <td>※ 100 ○ 120 ○ 150</td> <td>※ A種</td> <td>※ 植込み部分</td> </tr> <tr> <td>7~12m未満</td> <td>※ 80 ○ 100</td> <td>○ B種</td> <td>○ 葉張りの範囲</td> </tr> <tr> <td>3~7m未満</td> <td>※ 60 ○ 80</td> <td>○ C種</td> <td>(樹高7m以上)</td> </tr> <tr> <td>3m未満</td> <td>※ 50 ○ 60</td> <td>○ D種</td> <td>○ 図示</td> </tr> </table> 芝、地被類 ※ 20 ※ B種 ○ ※ 植栽範囲 ○ ※ 工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。 植込み用土 ※ 現場発生土の良質土 ○ 客土 (○ 畑土 ○ 黒土) 土壌改良材 ○ 行う (○ パーク堆肥 ○ 下水汚泥コンポスト) 施工箇所 ※ 植込み部分 ○ 図示による 使用量 植栽基盤 1㎡あたり ○ 植栽基盤に浸透した雨水の排水 ○ 暗きよ ○ 開きよ ○ 排水層 ○ 堅穴排水 ○	樹木の樹高	有効土層の厚さ (cm)	工法	整備範囲	12m以上	※ 100 ○ 120 ○ 150	※ A種	※ 植込み部分	7~12m未満	※ 80 ○ 100	○ B種	○ 葉張りの範囲	3~7m未満	※ 60 ○ 80	○ C種	(樹高7m以上)	3m未満	※ 50 ○ 60	○ D種	○ 図示
	材質	形式	地上高さ (m)	操作方法	固定方法																																																																																																																										
	※アルミニウム合金	※テーパー型	○ 6 ○ 10	※ハンドル式	○埋込式																																																																																																																										
	○	○同一断面型	○ 8 ○	○ロープ式	○ベース式																																																																																																																										
品質・規格																																																																																																																															
種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地																																																																																																																												
※ 普通平板 (N)	○ カラー平板 (C)	○ 300角	※ 60																																																																																																																												
○ 洗出平板 (W)	○ 擬石 (S)	○	○																																																																																																																												
○ 透水性平板 (P)	○ 保水性平板 (M)	○	○																																																																																																																												
種類	部位	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	色彩及び表面加工等																																																																																																																										
※ 普通ブロック (N)	車路		※ 80	※ 5.0	※ 標準品																																																																																																																										
○ 透水性ブロック (P)			○	○	○																																																																																																																										
○ 保水性ブロック (M)	歩行者用通路		※ 60	※ 3.0	○																																																																																																																										
○ 植生ブロック	-		○ 80	○	○																																																																																																																										
			※ 80																																																																																																																												
			○ 100																																																																																																																												
種類	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	工法	基層	基層の厚さ (mm)																																																																																																																										
○ 花崗岩		○ 80~100	○ うろこ張り	○ コンクリート版	※ 70																																																																																																																										
○	○	○	○	○ 7777t 混合物	○ 50																																																																																																																										
樹木の樹高	有効土層の厚さ (cm)	工法	整備範囲																																																																																																																												
12m以上	※ 100 ○ 120 ○ 150	※ A種	※ 植込み部分																																																																																																																												
7~12m未満	※ 80 ○ 100	○ B種	○ 葉張りの範囲																																																																																																																												
3~7m未満	※ 60 ○ 80	○ C種	(樹高7m以上)																																																																																																																												
3m未満	※ 50 ○ 60	○ D種	○ 図示																																																																																																																												
30 プレキャストコンクリート (20.3.2)	補強鉄線 ○ JIS G 3532 の普通鉄線 ○ JIS G 3551 の溶接金網 径 (mm) 網目寸法 × コンクリートの設計基準強度 ※ 水セメント比 55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m3 を満足する調合強度 ○ 配筋 ※ 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する ○ 取付け方法 ※ 図示による ○	2 路盤 (22.3.2) (22.3.3) (22.3.5)	路盤の厚さ mm 材料 ○ 再生クラッシュラン (RC-40, 30, 20) ○ クラッシュラン (C-40, 30, 20) ○ クラッシュラン鉄鋼スラグ (CS-40) 路盤締固め度の試験 ※ 行う	8 砂利敷き (22.9.2)	2 樹木の種類等 (23.3.2) 樹木の種類、寸法、数量等 ※ 図示による ○ 下表による <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	寸法	数量	備考																																																																																																																						
種類	寸法	数量	備考																																																																																																																												
31 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2) (20.4.3)	間知石の材種 ○ 花こう岩 ○ コンクリート間知ブロック 面の形状 ○ 長方形 ○ 正方形 ○ 六角形 ○ H型 質量区分 ○ ブロックA ○ ブロックB 地業の材料 ※ 再生クラッシュラン ○ 練り込みの工法 ※ 谷積み ○ 布積み (目塗り ○ 行う) 伸縮目地の材種、厚さ	3 アスファルト舗装 (22.4.2) ~ (22.4.6)	<table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>表層 (mm)</th> <th>基層 (mm)</th> <th>カラー舗装の種類</th> </tr> <tr> <td>※ アスファルト舗装</td> <td></td> <td></td> <td>※ 顔料混入加熱アスファルト混合物</td> </tr> </table> アスファルト ○ 再生アスファルト (○ 60~80 ○ 80~100) ○ ストレートアスファルト 再生加熱アスファルト混合物の種類 <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>一般地域</th> <th>寒冷地域</th> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>○ 密粒度アスファルト混合物 (13)</td> <td>※ 密粒度アスファルト混合物 (13F)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 細粒度アスファルト混合物 (13)</td> <td></td> </tr> </table> 施工 アスファルト混合物の抽出試験 ○ 行う ※ 行わない アスファルト締固め度、厚さの試験 ※ 行う ○ 行わない	舗装の種類	表層 (mm)	基層 (mm)	カラー舗装の種類	※ アスファルト舗装			※ 顔料混入加熱アスファルト混合物	区分	一般地域	寒冷地域	表層	○ 密粒度アスファルト混合物 (13)	※ 密粒度アスファルト混合物 (13F)		○ 細粒度アスファルト混合物 (13)		9 白線引き	3 支柱材、幹巻き用材料 (23.3.2) 支柱材 ※ 杉(焼き丸太) ○ 竹 ○ ひのき ○ から松(皮はぎ) 形式 ※ 図示による ○ 防腐処理方法 ※ 加圧式防腐処理丸太 ○ 幹巻き用材料 ※ 幹巻き用テープ ○ わら ○ こも																																																																																																									
舗装の種類	表層 (mm)	基層 (mm)	カラー舗装の種類																																																																																																																												
※ アスファルト舗装			※ 顔料混入加熱アスファルト混合物																																																																																																																												
区分	一般地域	寒冷地域																																																																																																																													
表層	○ 密粒度アスファルト混合物 (13)	※ 密粒度アスファルト混合物 (13F)																																																																																																																													
	○ 細粒度アスファルト混合物 (13)																																																																																																																														
32 敷地境界石標	種別 ○ 花こう石類 (文字記号入り) ※ コンクリートブロック製 (市販品)	4 コンクリート舗装 (22.5.2) ~ (22.5.6)	構成 <table border="1"> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>設計基準強度 (N/m<sup>2</sup>)</th> <th>スランブ (cm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 早強セメント ※ 使用しない ○ 使用する 目地 注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ○ 高弾性タイプ 種類 ○ 突合せ目地 ○ 収縮目地 ○ 伸縮調整目地 ○ 間隔 ○ 5m程度ごと ○ 4m程度ごと ○ 3m程度ごと ○ コンクリート版厚さの試験 ※ 行う	コンクリートの種類	部位	厚さ (mm)	設計基準強度 (N/m <sup>2</sup> )	スランブ (cm)						5 カラー舗装 (22.6.2) ~ (22.6.4)	5 カラー舗装 (22.6.2) ~ (22.6.4) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>配合その他</th> </tr> <tr> <td>※ 加熱系7777t混合物</td> <td>○ 車路</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添加材 ○ 着色骨材 ○ 自然石</td> <td>○ 歩行者用通路</td> <td></td> </tr> <tr> <td>結合材 ○ 7777t ○ 石油樹脂 (添加量 )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7777t混合物等の抽出試験</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 適用する ※ 適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 舗装の厚さ mm ○ 常温系シート工法 ○ 常温系塗布工法 着色部の下部 ○ アスファルト舗装 ○ コンクリート舗装	種類	部位	配合その他	※ 加熱系7777t混合物	○ 車路		添加材 ○ 着色骨材 ○ 自然石	○ 歩行者用通路		結合材 ○ 7777t ○ 石油樹脂 (添加量 )			7777t混合物等の抽出試験			○ 適用する ※ 適用しない																																																																																																
コンクリートの種類	部位	厚さ (mm)	設計基準強度 (N/m <sup>2</sup> )	スランブ (cm)																																																																																																																											
種類	部位	配合その他																																																																																																																													
※ 加熱系7777t混合物	○ 車路																																																																																																																														
添加材 ○ 着色骨材 ○ 自然石	○ 歩行者用通路																																																																																																																														
結合材 ○ 7777t ○ 石油樹脂 (添加量 )																																																																																																																															
7777t混合物等の抽出試験																																																																																																																															
○ 適用する ※ 適用しない																																																																																																																															
33 車止めさく	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>柱径・肉厚 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○ 上下式鎖内蔵型</td> <td>○ ステン製 (SUS304)</td> <td>○ φ76.3 t=2.0</td> <td>○ GL+700</td> </tr> <tr> <td>(○ カリブ付)</td> <td>○</td> <td>○ φ114.3 t=2.5</td> <td>○ GL+850</td> </tr> </table> 基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度	形式	材質	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)	○ 上下式鎖内蔵型	○ ステン製 (SUS304)	○ φ76.3 t=2.0	○ GL+700	(○ カリブ付)	○	○ φ114.3 t=2.5	○ GL+850	5 カラー舗装 (22.6.2) ~ (22.6.4)	6 透水性舗装 (22.7.2) ~ (22.7.6) 舗装構成及び厚さ ※ 図示による ○ 表層の厚さの試験 ※ 行う ○ 行わない 開粒度7777t混合物の抽出試験 ○ 行う ※ 行わない	5 屋上緑化 (23.5.2) ~ (23.5.4)	5 屋上緑化 (23.5.2) ~ (23.5.4) ○ 屋上緑化システム 排水層 ○ 軽量骨材 (厚さ ) ○ 板状成形品 土壌層 ※ 改良土 (厚さ ) ○ 人工軽量土 (厚さ ) ○ 屋上緑化軽量システム 樹木の種類、寸法、数量等 ※ 図示による ○ 下表による <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 芝・地被類の種類 ※ 図示による ○ コウライシバ (※ 目地張り ○ ) ○ ノシバ (※ 目地張り ○ ) ○ セダム類 (○ カット ○ ふるい ○ プラグ苗 ○ ) 材料 ○ 見切り材 ○ 舗装材 ○ 排水孔 ○ シンク材 かん水装置 ○ 設置する ( ) ○ 設置しない 支柱材 ○ 設置する ※ 杉(焼き丸太) ○ 竹 ○ ひのき ○ から松(皮はぎ) 形式 ※ 図示による ○ 防腐処理方法 ※ 加圧式防腐処理丸太 ○ ○ 設置しない 「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造体上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1458号)に基づく風圧力に対応した工法 ○ 図示による ○	種類	寸法	数量	備考																																																																																																										
形式	材質	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)																																																																																																																												
○ 上下式鎖内蔵型	○ ステン製 (SUS304)	○ φ76.3 t=2.0	○ GL+700																																																																																																																												
(○ カリブ付)	○	○ φ114.3 t=2.5	○ GL+850																																																																																																																												
種類	寸法	数量	備考																																																																																																																												
34 フェンス	<table border="1"> <tr> <th>表面仕上等</th> <th>種類</th> <th>門扉の仕様</th> </tr> <tr> <td>○ 垂鉛めっき ○ 樹脂塗装</td> <td>○ ネットフェンス ○ エキスパンドフェンス</td> <td>○ 片開き</td> </tr> <tr> <td>○ ビニル被覆 ○</td> <td>○ ネットフェンス ○</td> <td>○ 両開き</td> </tr> </table>	表面仕上等	種類	門扉の仕様	○ 垂鉛めっき ○ 樹脂塗装	○ ネットフェンス ○ エキスパンドフェンス	○ 片開き	○ ビニル被覆 ○	○ ネットフェンス ○	○ 両開き	21 排水工事	1 屋外雨水排水 (21.2.1) (21.2.2) <table border="1"> <tr> <th>材種 (表21.2.1)</th> <th>管の種類</th> <th>呼び径</th> <th>基床の厚さ</th> </tr> <tr> <td>○ 遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※ 外圧管 (1種)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>○ VP ○ VU</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ RS-VU</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管継手</td> <td>○ DV ○ VU継手</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※ 接着剤 ○ 側溝の形状及び寸法 ○ 図示による ○ 排水網の種類 ○ 図示による ○ 砂利地業に用いる材料 ○ シルト ○ 山砂 ○ 川砂 ○ 砕砂 砂利地業に用いる材料 ○ 再生クラッシュラン ○ 切込砂利または切込砕石 ○ 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※ 18N/mm <sup>2</sup> ○ スランブ ※ 15cm 又は 18cm ○ ○ 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ SD295 ○ 現場打ちの場合の足掛け金物 ※ (21.2.2(6)(4)) 材質 ○ ステンレス製 ○ 鋼製 ○ 合成樹脂被膜加工されたもの ○ 凍上抑制層に用いる材料 ○ 砂 (○ 砂の粒度試験) ○	材種 (表21.2.1)	管の種類	呼び径	基床の厚さ	○ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (1種)			○ 硬質ポリ塩化ビニル管	○ VP ○ VU				○ RS-VU			○ 硬質ポリ塩化ビニル管継手	○ DV ○ VU継手			6 新植、移植樹木、芝等の枯補償 (23.3.4) (23.3.6) (23.4.7) (23.5.5)	6 新植、移植樹木、芝等の枯補償 (23.3.4) (23.3.6) (23.4.7) (23.5.5) ※ 引渡しの日から 1年 ○ 引渡しの日から 年																																																																																													
表面仕上等	種類	門扉の仕様																																																																																																																													
○ 垂鉛めっき ○ 樹脂塗装	○ ネットフェンス ○ エキスパンドフェンス	○ 片開き																																																																																																																													
○ ビニル被覆 ○	○ ネットフェンス ○	○ 両開き																																																																																																																													
材種 (表21.2.1)	管の種類	呼び径	基床の厚さ																																																																																																																												
○ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (1種)																																																																																																																														
○ 硬質ポリ塩化ビニル管	○ VP ○ VU																																																																																																																														
	○ RS-VU																																																																																																																														
○ 硬質ポリ塩化ビニル管継手	○ DV ○ VU継手																																																																																																																														

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

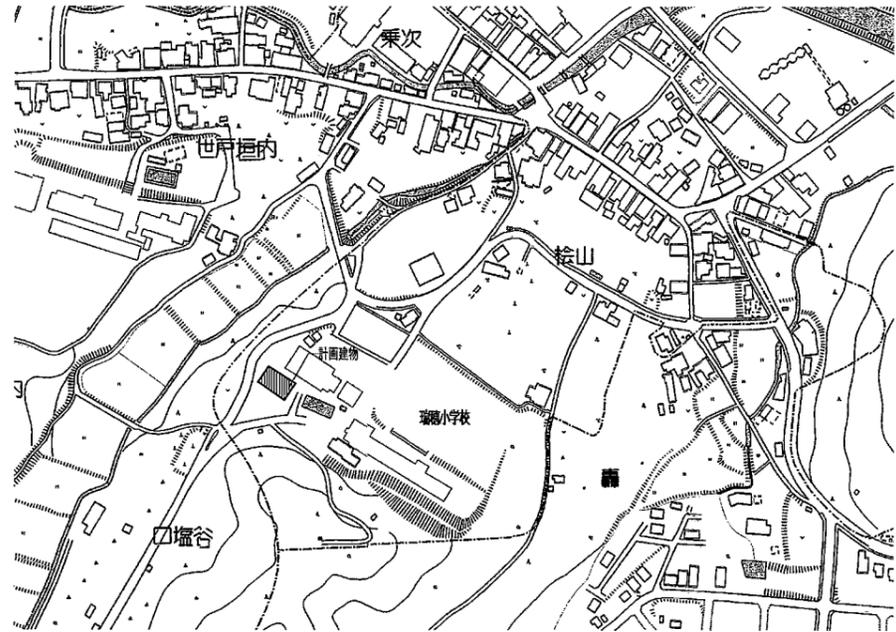
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-2-0  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

1:non	SCALE	SCALE	SCALE
建築特記仕様書8			
DW.	CK.	DATE 07-02	NO. A-08

設計概要		外部仕上表			
工事名称	令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事 実施設計業務	屋根	カラーガリバリウム鋼板厚0.4 瓦葺き、アスファルトルーフィング940、構造用合板厚12 (野地板)		
工事場所	京都府船井郡京丹波町大朴口塩谷54番地19	軒裏	軒天ボード厚12 (30分耐火構造) (DAIKEN ダイライト軒天30同等品)		
主要用途	放課後児童クラブ	外壁	(外壁外側) 高集系サイディング厚16積貼り (30分耐火構造) ※出隅部はコーナーパネル設置、タテ鋼線15×45@450通気工法、透湿防水シート (重ね代上下90mm以上、左右150mm以上)		
用途地域			(外壁内側) 断熱材グラスウール厚50 24kg/㎡、ヨコ鋼線15×45@455、P8厚12.5、ビニルクロス 断熱材1ヶ所設置 モルタル塗り		
工事期間	工事請負契約締結日～令和 年 月 日 (ただし、検査・手直し等含む)	基礎・中木 建築・石向子	雨樋	軒種: 硬質塩化ビニル樹脂製 壁種: 硬質塩化ビニル樹脂製 φ75	
工事規模	木造平家建て 延面積159.40㎡ 建築面積159.40㎡	注記事項	玄関ポーチ	床: コンクリート打ち継ぎ引毛引き仕上 t=150、下地砕石 t=150 アルミ遮熱板 600×900 t=35 (アルフィンAD2G同等品) 点字タイル	
工事種別	新築工事	防火・耐火関係の事項	スロープ	床: コンクリート打ち継ぎ引毛引き仕上 t=150、下地砕石 t=150 アルミ遮熱板 点字タイル	
工事範囲	本設計図書に示したる全ての範囲 [建築] [構造] [外構] [電気] [機械]		その他		
			建物内: 天井点検口4カ所 450角アルミ製 床下点検口4カ所 600角アルミ製 (倉庫内)		

階	室名	内部仕上表										天井高さ	廻り縁	備考
		床 仕上		床高	巾木	腰壁 仕上		腰高	壁 仕上		天井 仕上			
	学習室	タイルカーペット厚6.5 構造用合板厚28		ビニル巾木H=60				ヨコ鋼線15×45@455+P8厚12.5の上ビニルクロス貼 ※外周部は断熱材グラスウール厚50 24kg/㎡充填		化粧P8厚9.5		2505.5	塩ビ製	かばみ入れ、透光カーテンカーテンレール
	読書スペース	タイルカーペット厚6.5 構造用合板厚28		ビニル巾木H=60				ヨコ鋼線15×45@455+P8厚12.5の上ビニルクロス貼 ※外周部は断熱材グラスウール厚50 24kg/㎡充填		化粧P8厚9.5		2505.5	塩ビ製	透光カーテンカーテンレール、本棚
	事務室	タイルカーペット厚6.5 構造用合板厚28		ビニル巾木H=60				ヨコ鋼線15×45@455+P8厚12.5の上ビニルクロス貼 ※キッチン背面部のみP8厚12.5の上キッチンパネル厚3.0貼 ※外周部は断熱材グラスウール厚50 24kg/㎡充填		化粧P8厚9.5		2505.5	塩ビ製	透光カーテンカーテンレール、キッチン
	多目的トイレ	長尺塩ビシート厚2.0 (防滑) 構造用合板厚28		ビニル巾木H=60				ヨコ鋼線15×45@455+シーリングP8厚12.5の上ビニルクロス貼 ※外周部は断熱材グラスウール厚50 24kg/㎡充填		化粧P8厚9.5		2.510	塩ビ製	L型手摺、ハネ上げ式手摺、リモコン、紙巻器 (機構)、シャワー付き手洗い (機構) ※フラッシュタンク便器は、最低必要水圧 (流動時) 0.07MPa (19L/分流動時) 確保 サイン 面朝天端は寄木合板 t=25 SOP塗装
	男子トイレ	長尺塩ビシート厚2.0 (防滑) 構造用合板厚28		ビニル巾木H=60				ヨコ鋼線15×45@455+シーリングP8厚12.5の上ビニルクロス貼 ※外周部は断熱材グラスウール厚50 24kg/㎡充填		化粧P8厚9.5		2.510	塩ビ製	小便器手摺、汚重石厚7、紙巻器 (機構) ※フラッシュタンク便器は、最低必要水圧 (流動時) 0.07MPa (19L/分流動時) 確保 サイン 面朝天端は寄木合板 t=25 SOP塗装
	女子トイレ	長尺塩ビシート厚2.0 (防滑) 構造用合板厚28		ビニル巾木H=60				ヨコ鋼線15×45@455+シーリングP8厚12.5の上ビニルクロス貼 ※外周部は断熱材グラスウール厚50 24kg/㎡充填		化粧P8厚9.5		2.510	塩ビ製	リモコン、紙巻器 (機構) ※フラッシュタンク便器は、最低必要水圧 (流動時) 0.07MPa (19L/分流動時) 確保 サイン 面朝天端は寄木合板 t=25 SOP塗装
	倉庫	長尺塩ビシート厚2.0 構造用合板厚28		ビニル巾木H=60				ヨコ鋼線15×45@455+P8厚12.5の上ビニルクロス貼 ※外周部は断熱材グラスウール厚50 24kg/㎡充填		化粧P8厚9.5		2.510	塩ビ製	サイン
	玄関	フローリング厚12 (玄関履き替えスペース)、磁器質100角タイル貼 構造用合板厚28		磁器質100角タイル貼				ヨコ鋼線15×45@455+P8厚12.5の上ビニルクロス貼 ※外周部は断熱材グラスウール厚50 24kg/㎡充填		化粧P8厚9.5		2.500	塩ビ製	下足入れ、傘立て、ステンレス床見切りW25、サイン (事務室)

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
NON SCALE	SCALE	SCALE	SCALE	野中建築設計事務所	
設計概要	外部仕上表	内部仕上表		1級建築士第147931号 野中健一	
DW.	CK.	DATE	NO.	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20	
		07-02	A-09	TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	



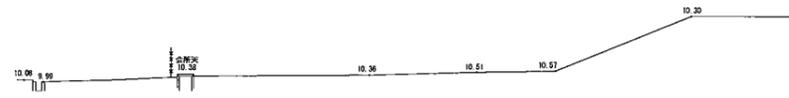
附近見取図 non

A - A'



DL=5.00

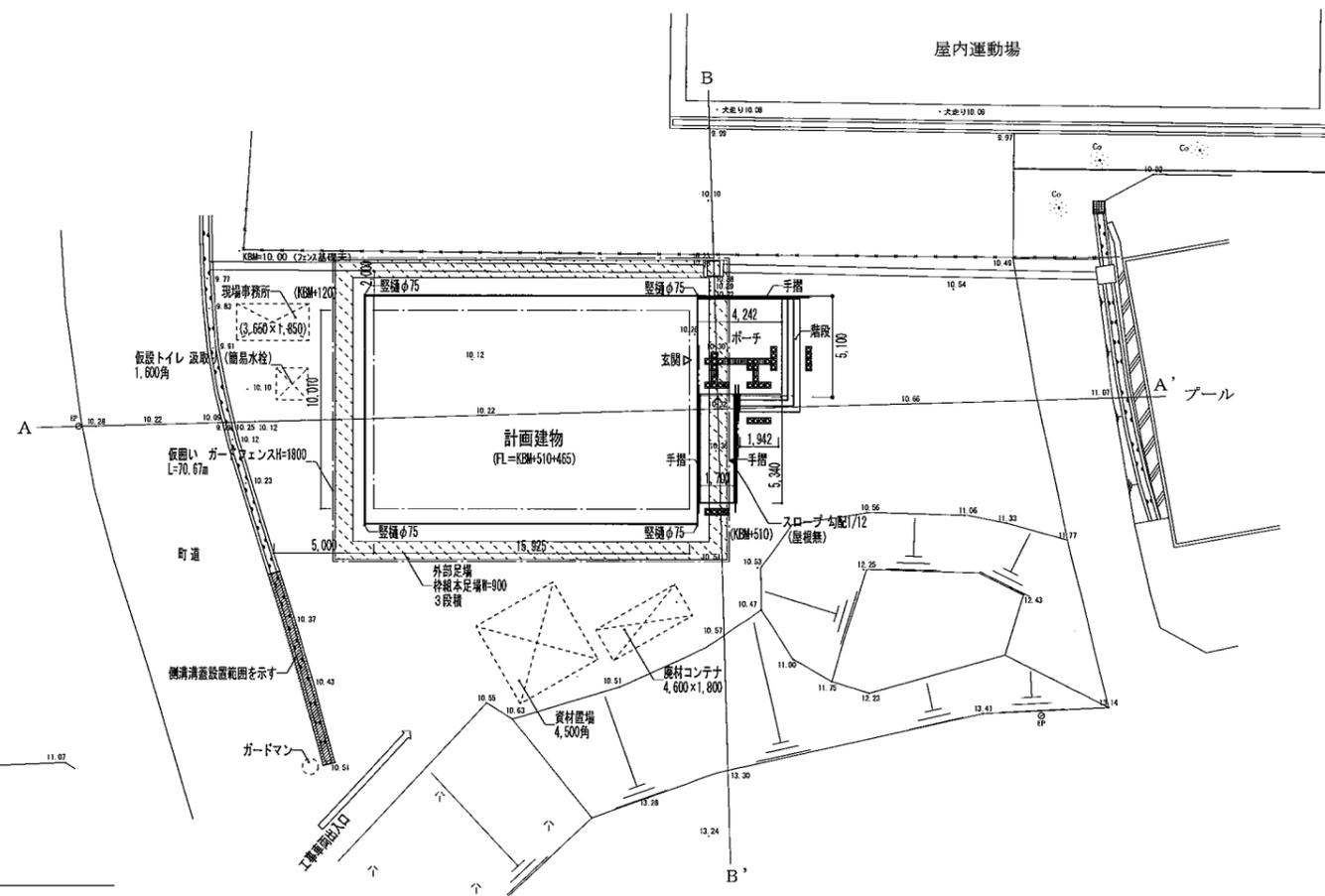
B - B'



DL=5.00

横断面 1/250

所在：船井郡京丹波町橋爪山（瑞穂小学校）



配置図兼仮設計画図（平面） 1/250

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1:250 SCALE 1:250 SCALE 1:250 SCALE

配置図兼仮設計画図（平面図） 横断面 附近見取図

DW. CK. DATE 07-02 NO. A-10

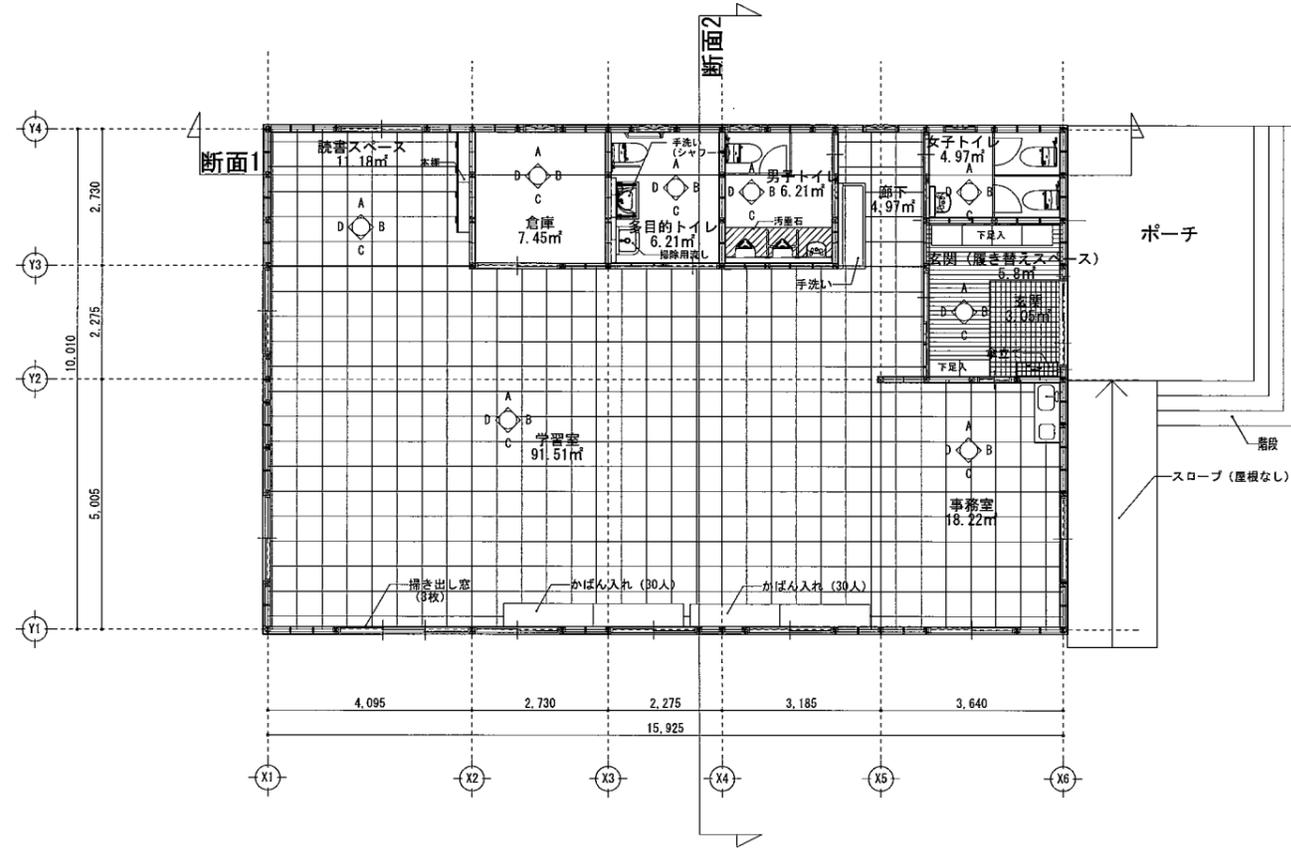
設計・監理 一般建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20

TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



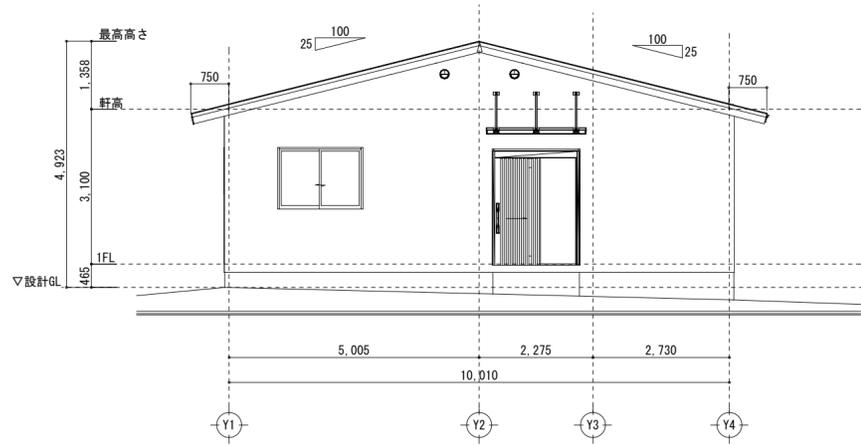
※ポーチ、スロープの詳細は配置図参照

延べ床面積 159.40㎡

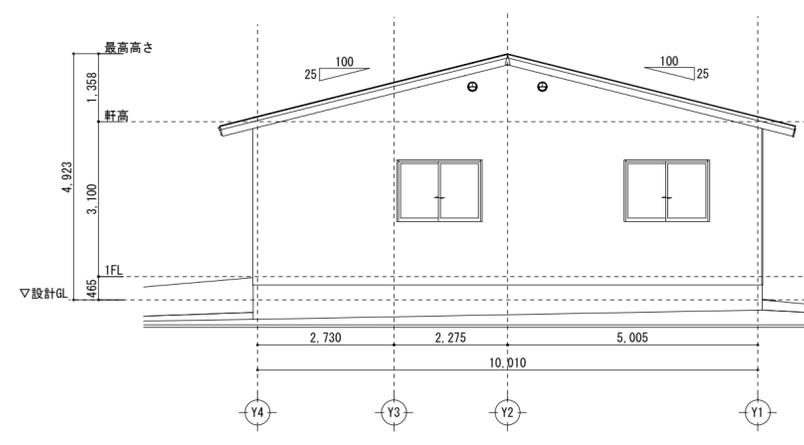
平面図 1/100



令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1:100		SCALE	SCALE	野中建築設計事務所	
平面図				1級建築士第147931号 野中健一	
DW.	CK.	DATE	07-02	NO.	A-11
				〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	



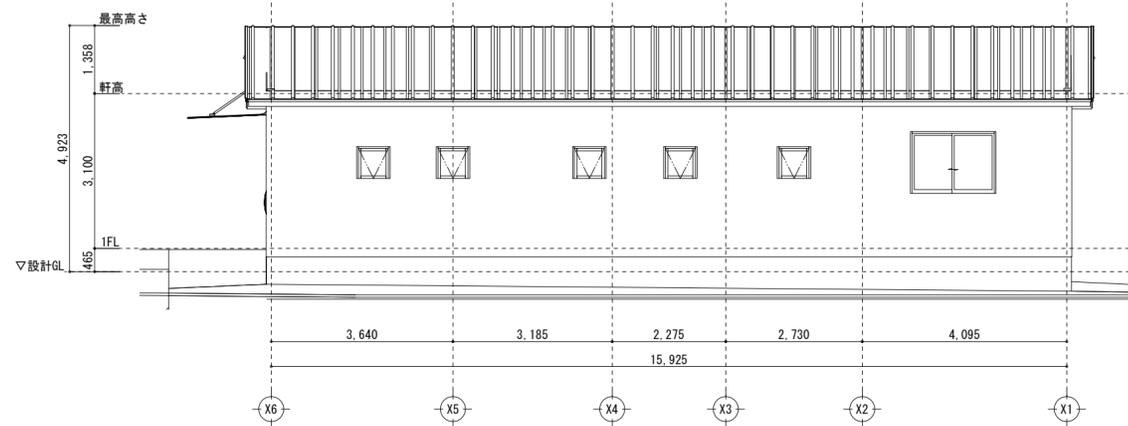
東面立面図 1/100



西面立面図 1/100



南面立面図 1/100



北面立面図 1/100

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1:100 SCALE SCALE SCALE

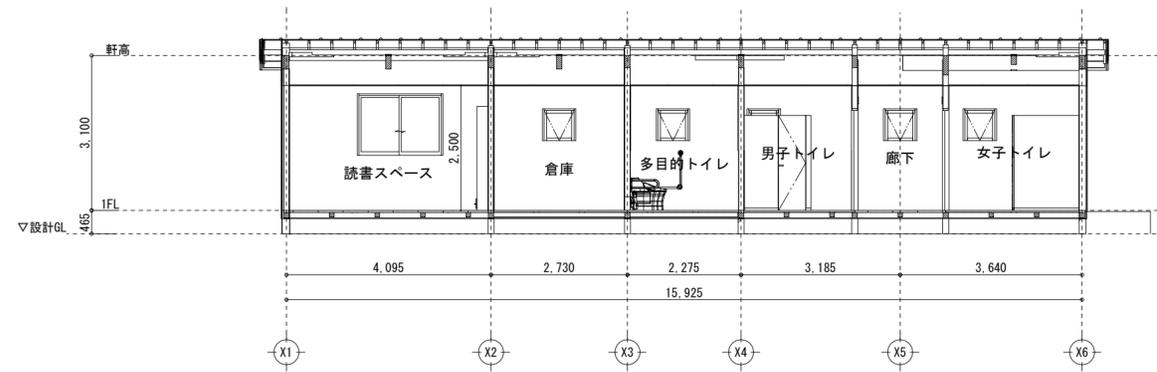
立面図 DW. CK. DATE 07-02 NO. A-12

設計・監理 一級建築士事務所

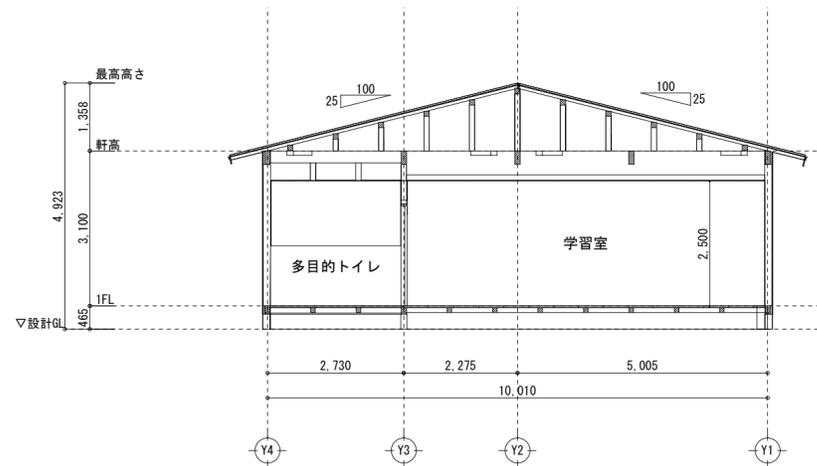
野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



断面図1 1/100



断面図2 1/100

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

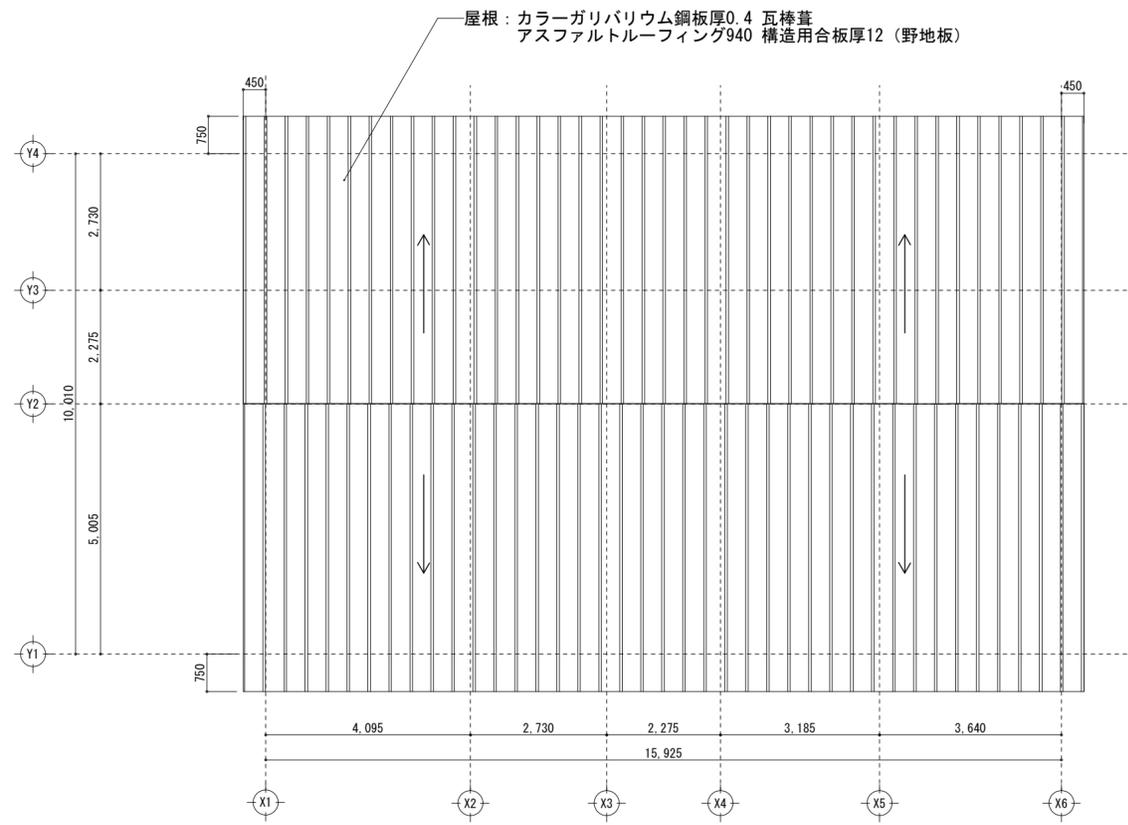
設計・監理 一級建築士事務所

1:100 SCALE SCALE SCALE

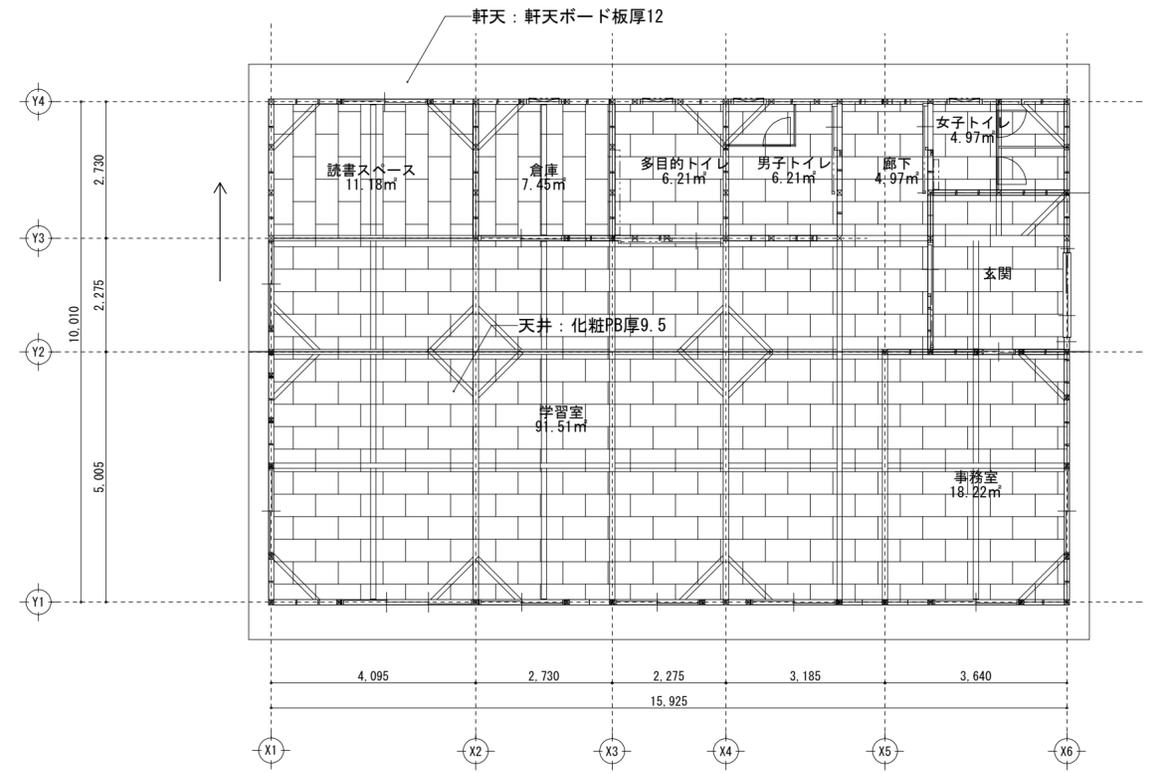
野中建築設計事務所

断面図 DW. CK. DATE 07-02 NO. A-13

1級建築士第147931号 野中健一  
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



屋根伏図 1/100



天井伏図 1/100

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1:100 SCALE SCALE SCALE

屋根伏図 天井伏図

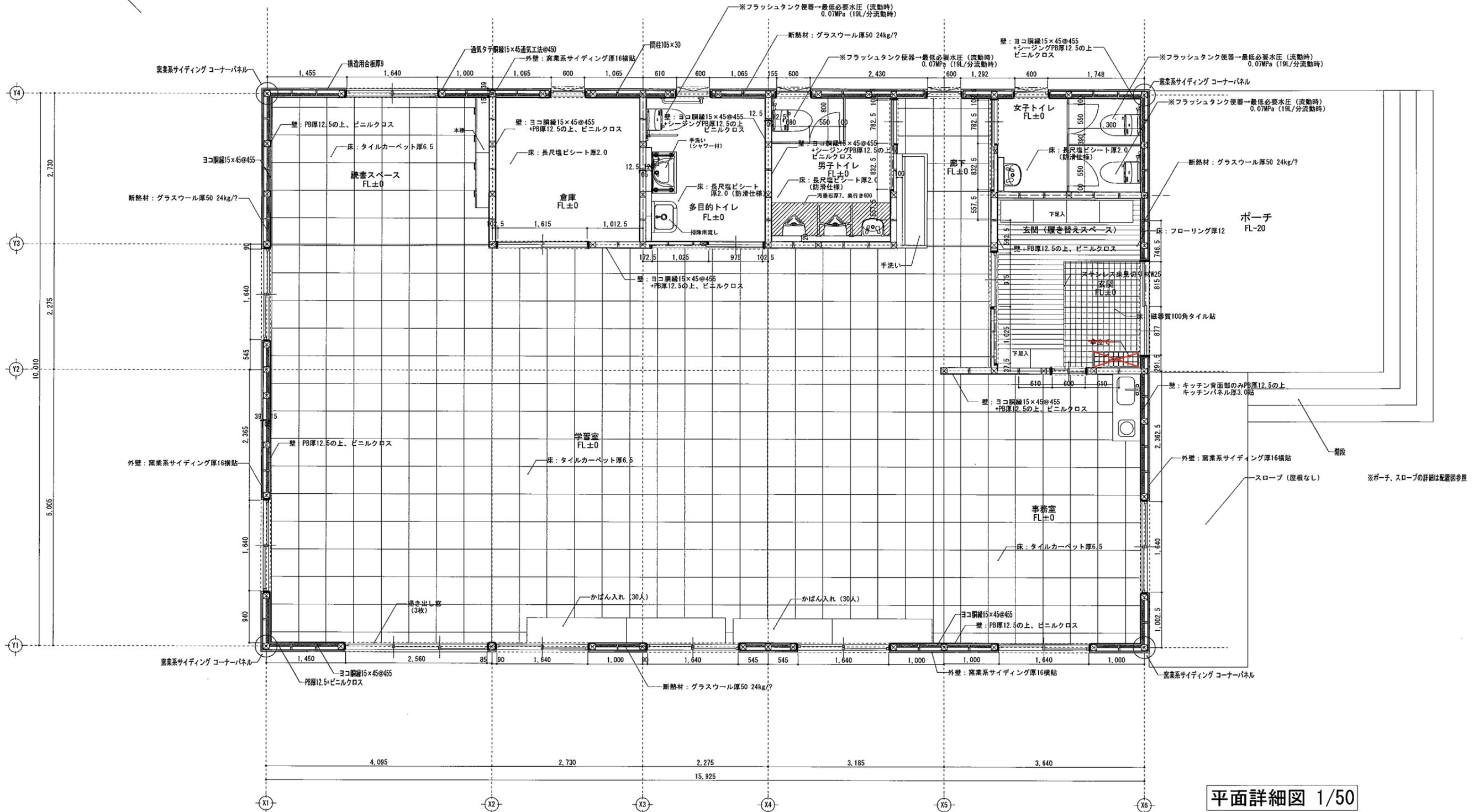
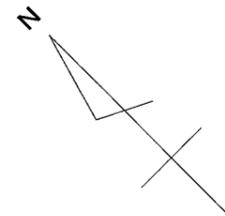
DW. CK. DATE 07-02 NO. A-14

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



平面詳細図 1/50

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

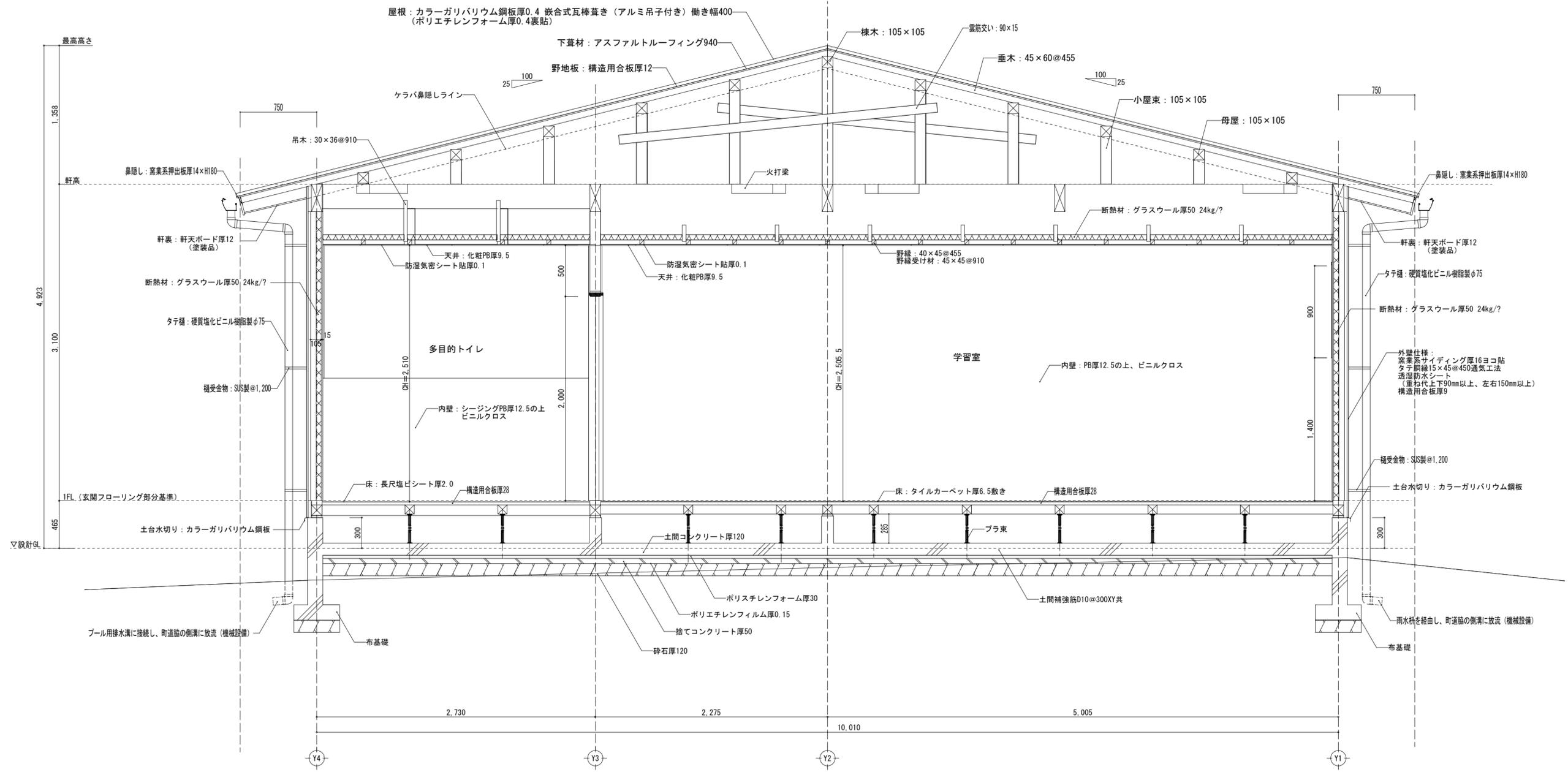
1:30	SCALE	SCALE	SCALE
平面詳細図			
DW.	CK.	DATE	NO.
		07-02	A-15

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

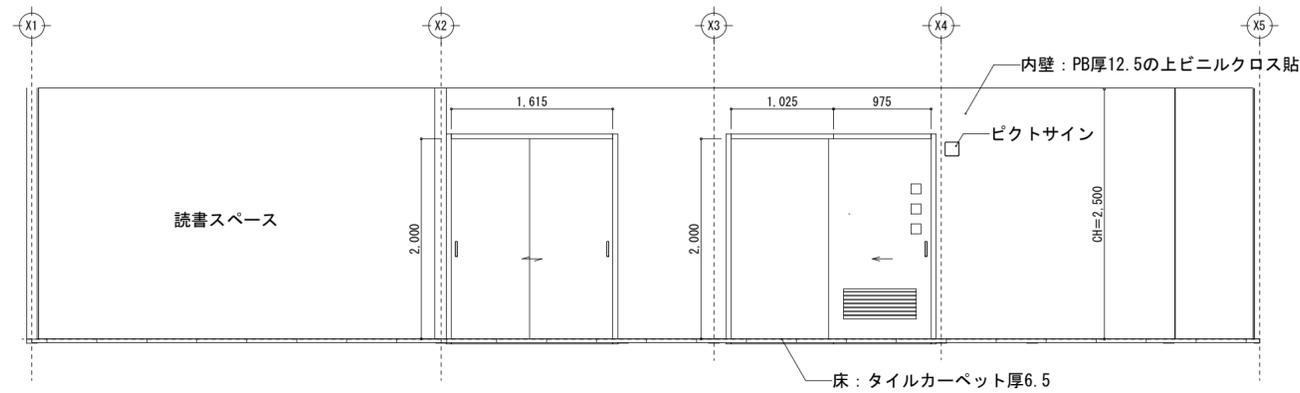
1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

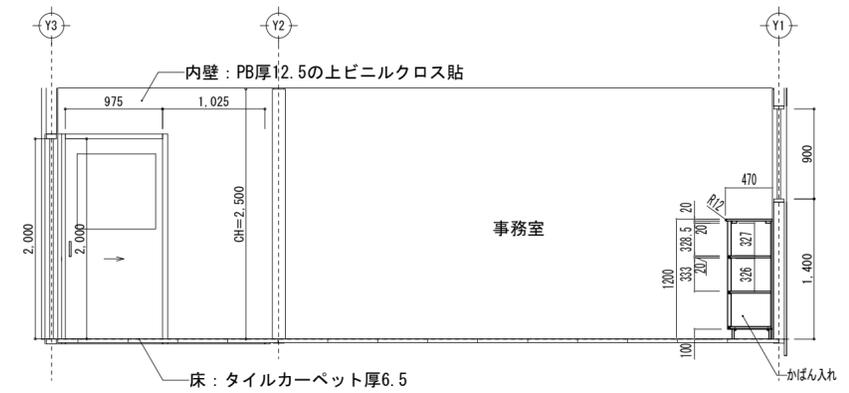


断面詳細図 1/30

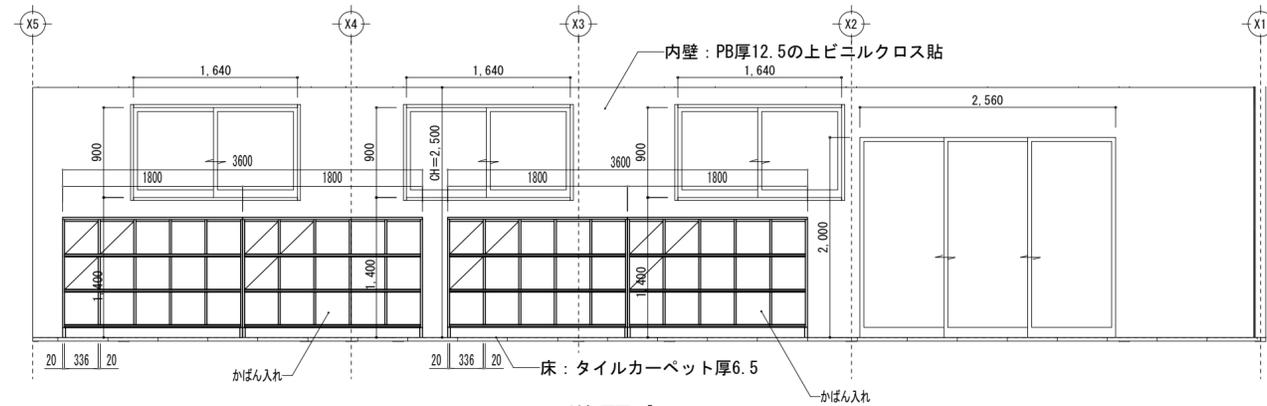
令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1:30	SCALE	SCALE	SCALE	野中建築設計事務所	
断面詳細図				1級建築士第147931号 野中健一	
DW.	CK.	DATE	NO.	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-2-0	
		07-02	A-16	TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	



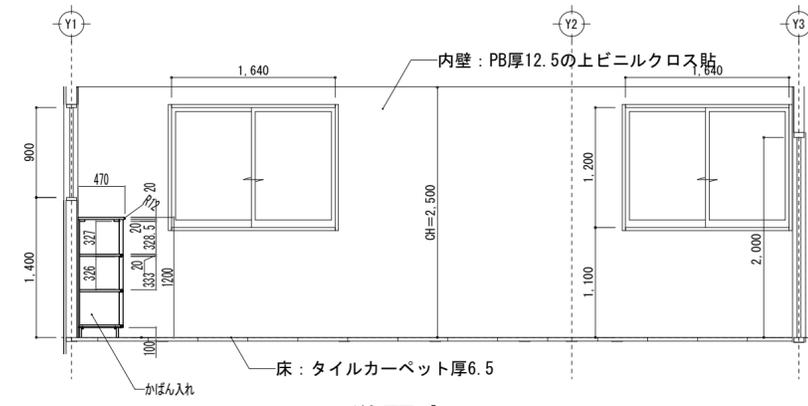
学習室 A面



学習室 B面



学習室 C面



学習室 D面

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1:50 SCALE SCALE SCALE SCALE

展開図1 (学習室)

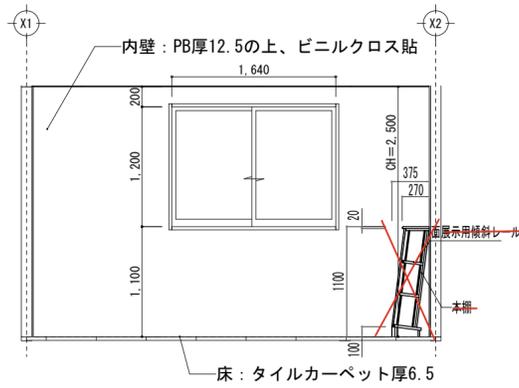
DW. CK. DATE 07-02 NO. A-17

設計・監理 一級建築士事務所

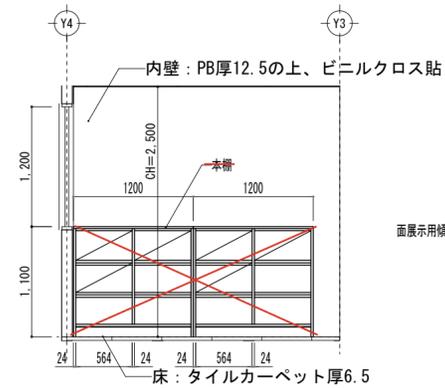
野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

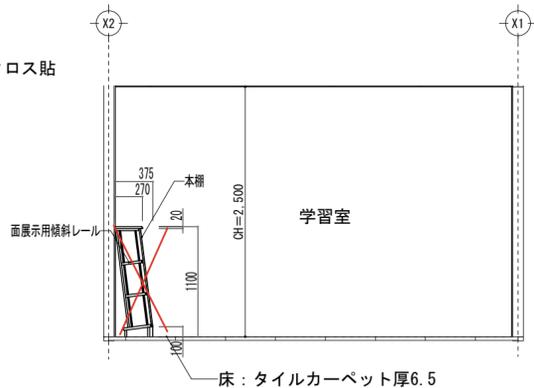
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



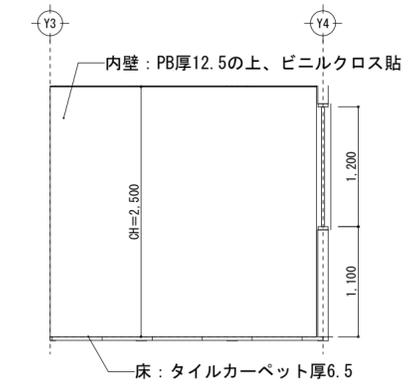
読書スペース A面



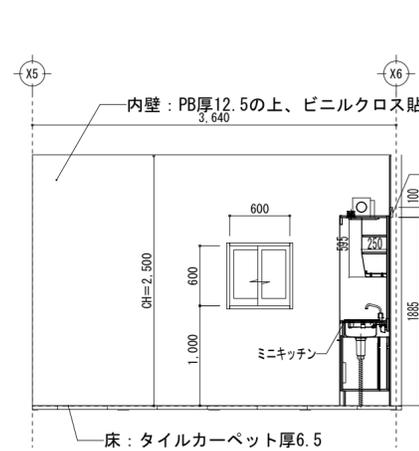
読書スペース B面



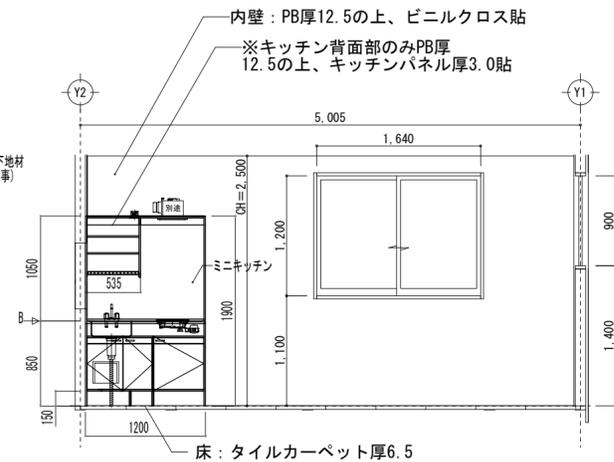
読書スペース C面



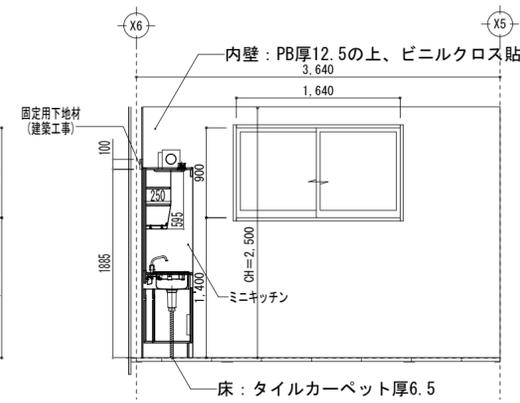
読書スペース D面



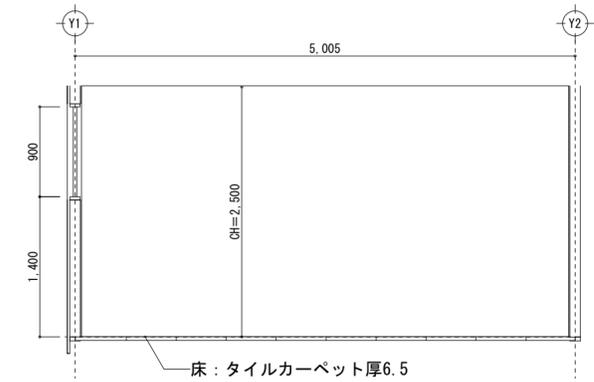
事務室 A面



事務室 B面



事務室 C面



事務室 D面

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1:50 SCALE SCALE SCALE

展開図2 (読書スペース、管理室)

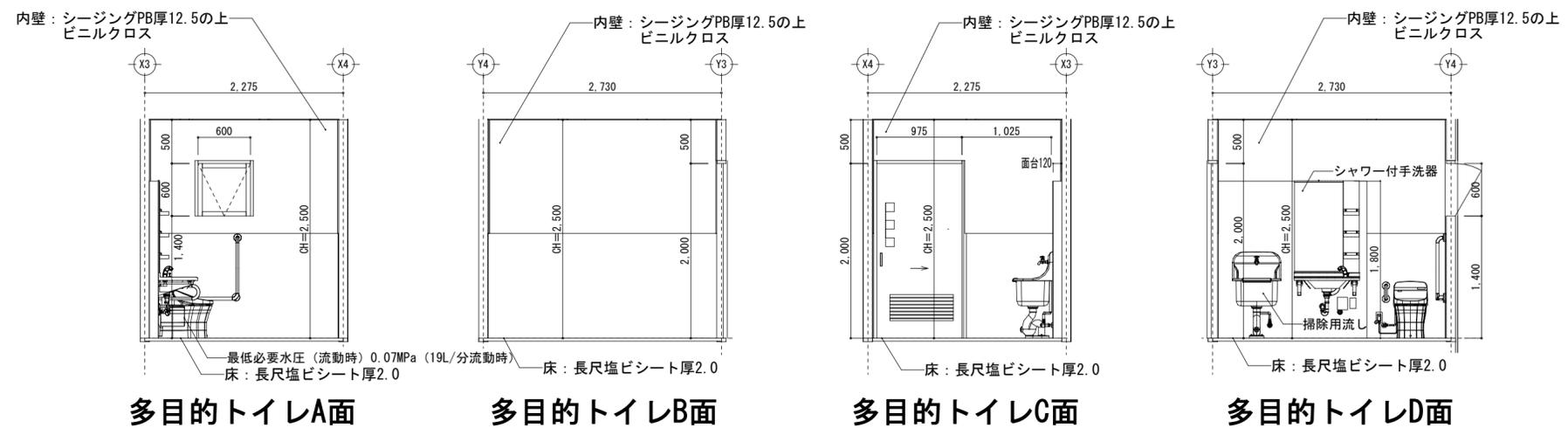
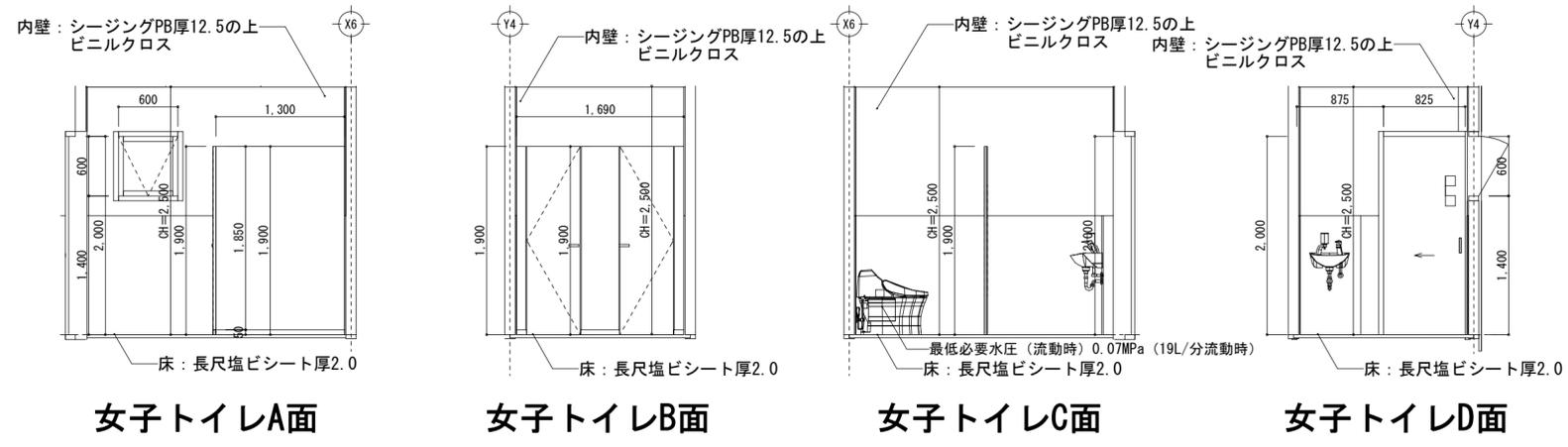
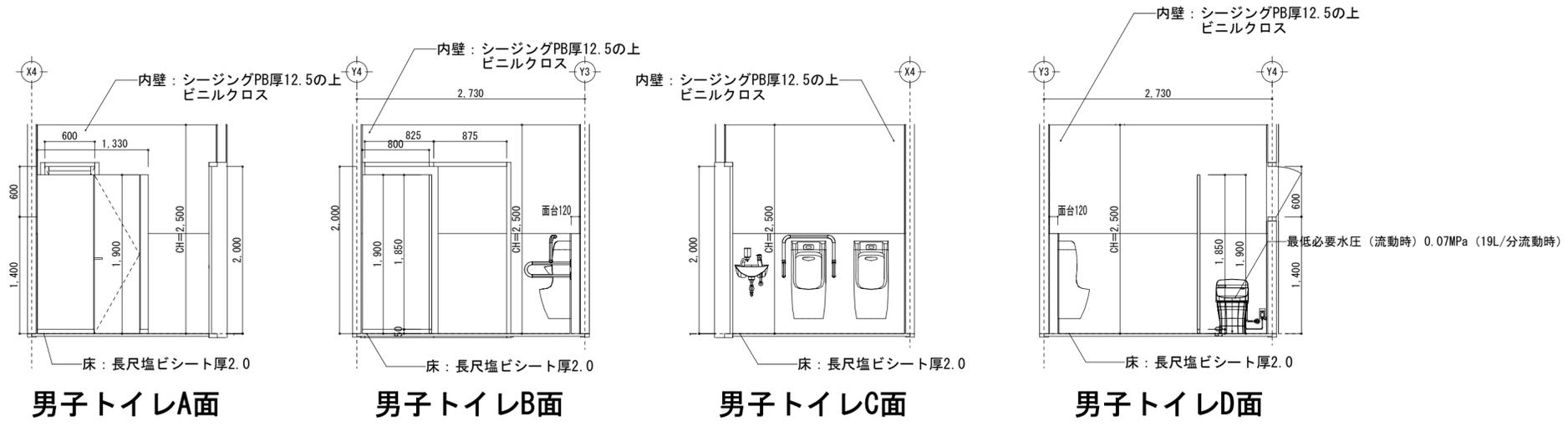
DW. CK. DATE 07-02 NO. A-18

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

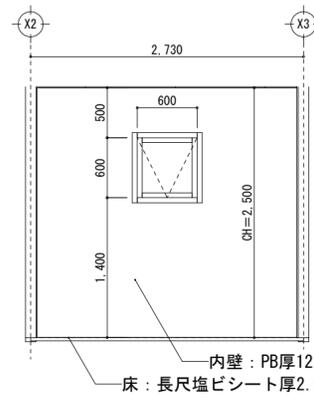
1:50	SCALE	SCALE	SCALE
展開図3（男子トイレ、女子トイレ、多目的トイレ）			
DW.	CK.	DATE	NO.
		07-02	A-19

設計・監理 一級建築士事務所

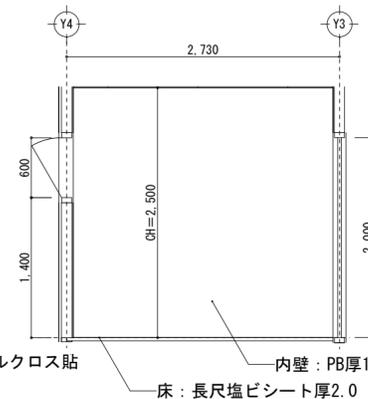
**野中建築設計事務所**

1級建築士第147931号 野中健一

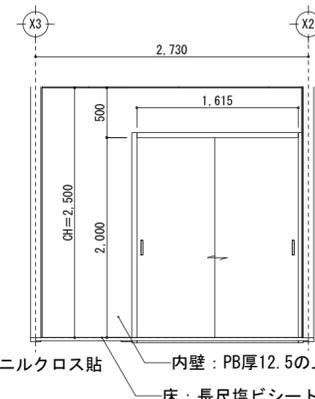
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



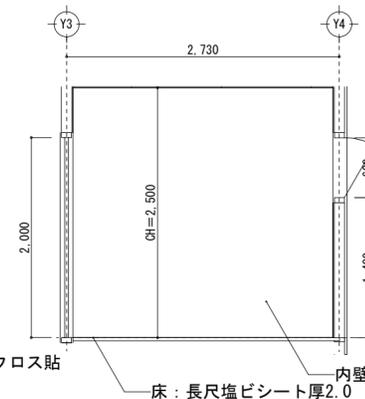
倉庫A面



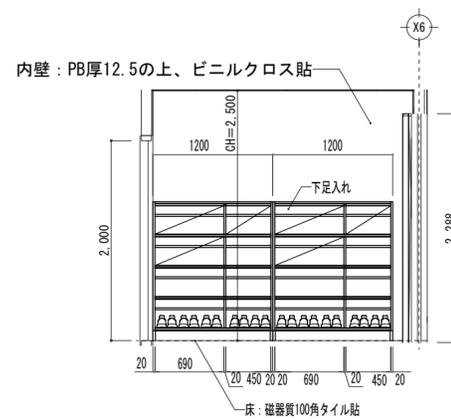
倉庫B面



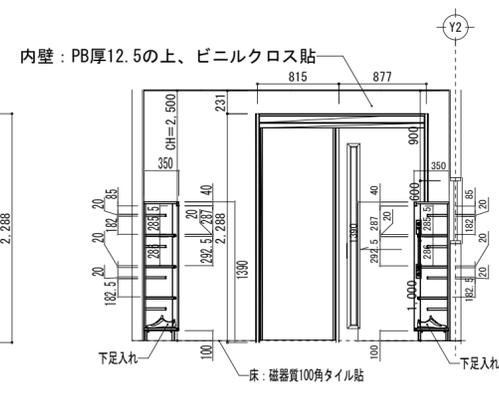
倉庫C面



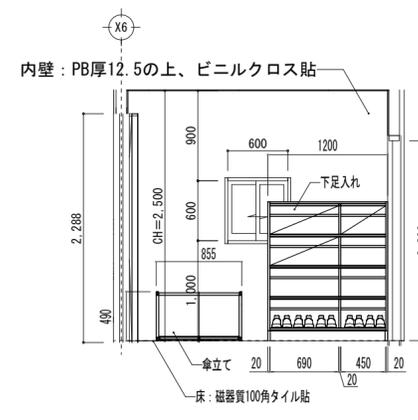
倉庫D面



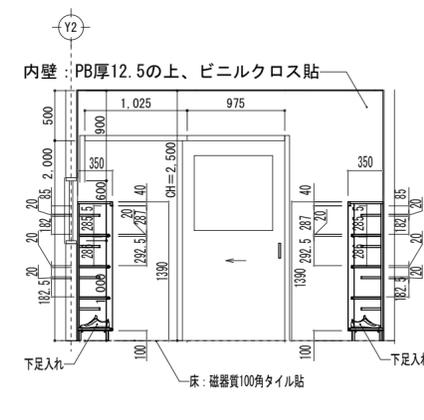
玄関A面



玄関B面



玄関C面



玄関D面

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

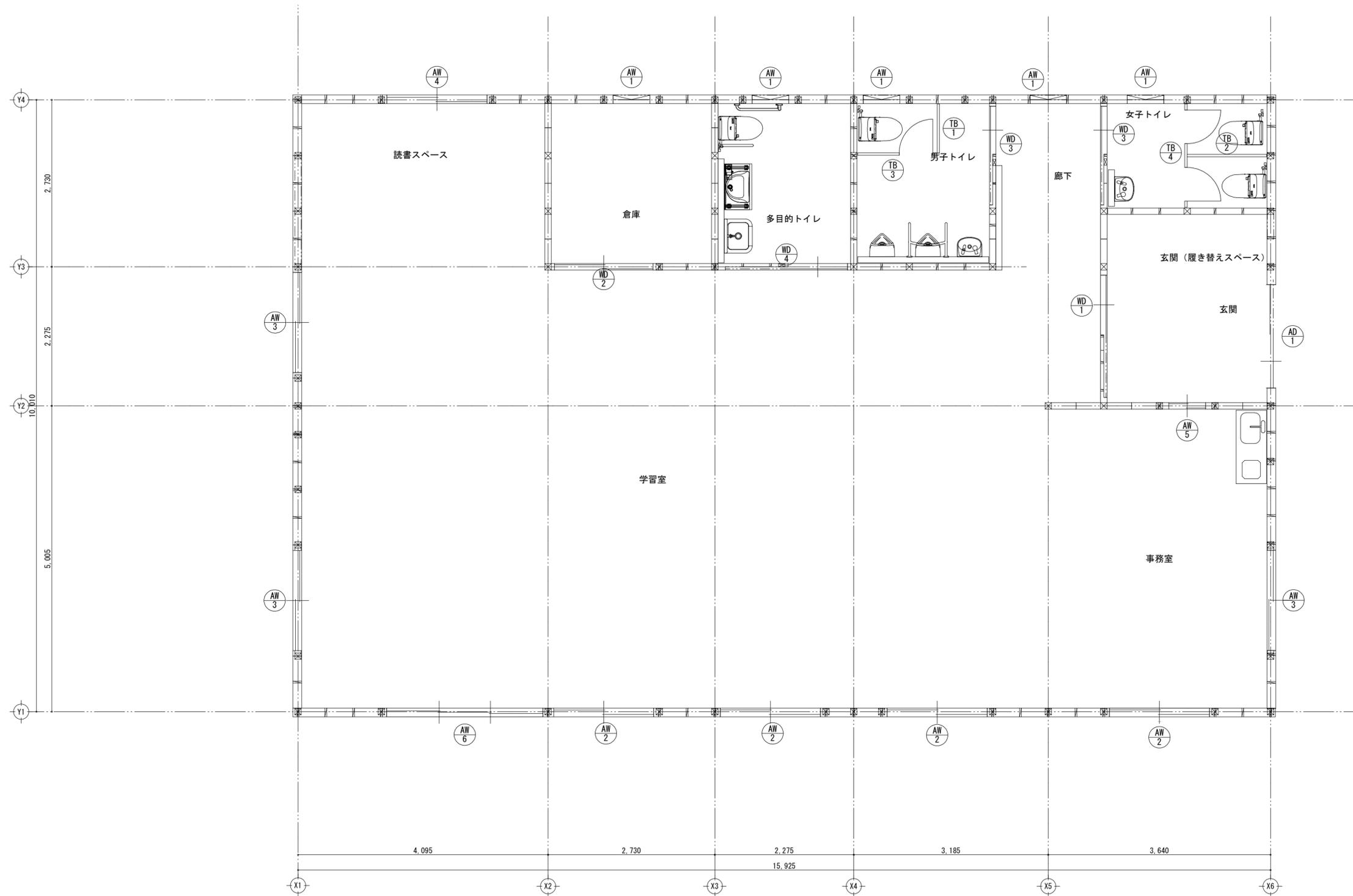
1:50	SCALE	SCALE	SCALE
展開図4 (倉庫、玄関)			
DW.	CK.	DATE	NO.
		07-02	A-20

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



建具位置図 1/50

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1:50 SCALE		SCALE		SCALE	
建具位置図		DATE 07-02		NO. A-21	
DW.		CK.		野中建築設計事務所 1級建築士第147931号 野中健一 〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

符号・名称・性能	AW1	倒し	AW2	2枚引き違い	AW3	2枚引き違い	AW4	2枚引き違い	AW5	2枚引き違い
姿図										
取付階・室名・箇所数	多目的トイレほか 5		学習室 4		事務室ほか 3		読書スペース 1		事務室 1	
扉見込	70 (メーカー標準寸法)		70 (メーカー標準寸法)		70 (メーカー標準寸法)		70 (メーカー標準寸法)		70 (メーカー標準寸法)	
建具材質	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
ガラス種類	学校用型板強化ガラス		学校用透明強化ガラス		学校用透明強化ガラス		学校用透明強化ガラス		学校用透明強化ガラス	
ガラス仕様										
附属金物	附属金物一式		附属金物一式		附属金物一式		附属金物一式		附属金物一式	
備考	アングルピース、合成樹脂製網戸		アングルピース、合成樹脂製網戸、遮光カーテン		アングルピース、合成樹脂製網戸、遮光カーテン		アングルピース、合成樹脂製網戸、遮光カーテン		アングルピース、合成樹脂製網戸	
符号・名称・性能	AW6	w2560h2000	AD1	片袖 W169 L23型	WD1	片引き戸-木調 (上面ガラス)	WD2	2枚引き違い-木調 (全面パネル)	WD3	片引き戸-木調 (全面パネル)
姿図										
取付階・室名・箇所数	学習室 1		玄関 1		玄関 (履き替えスペース) 1		倉庫 1		男子トイレ・女子トイレ 2	
扉見込	70 (メーカー標準寸法)		35 (メーカー標準寸法) 158.5 (メーカー標準寸法)		36 (メーカー標準寸法) 100 (メーカー標準寸法)		36 (メーカー標準寸法) 100 (メーカー標準寸法)		36 (メーカー標準寸法) 100 (メーカー標準寸法)	
建具材質	アルミ		アルミ		タモ練付け合板 WP塗装		ポリ合板		タモ練付け合板 WP塗装	
ガラス種類	学校用透明強化ガラス		学校用透明強化ガラス		学校用透明強化ガラス				学校用型板強化ガラス	
ガラス仕様										
附属金物	附属金物一式		附属金物一式、シリンダー錠		上吊り用ソフトクローズ、戸当たりゴム、SUS製引手L=450				上吊り用ソフトクローズ、戸当たりゴム、SUS製引手L=450	
備考	アングルピース、合成樹脂製網戸 (中棧ありタイプ)、遮光カーテン		アングルピース、SUS製引手L=450		指詰め防止機能付き (DAIKENおもいやりキッズドア同等品)、床SUS製見切り		指詰め防止機能付き (DAIKENおもいやりキッズドア同等品)、戸車、SUS製磁気引手、SUS製フラットレール		指詰め防止機能付き (DAIKENおもいやりキッズドア同等品)、表示錠、床SUS製見切り	
符号・名称・性能	WD4	片引き戸-木調 (下部ガラリ)	TB1	トイレパーティション	TB2	トイレパーティション	TB3	トイレパーティション	TB4	トイレパーティション
姿図										
取付階・室名・箇所数	多目的トイレ 1		男子トイレ 1		女子トイレ 1		男子トイレ 1		女子トイレ 1	
扉見込	36 (メーカー標準寸法) 100 (メーカー標準寸法)		40		40		40		40	
建具材質	タモ練付け合板 WP塗装		高圧メラミン樹脂化粧板 (下地MF、芯材ペーパーコア)		高圧メラミン樹脂化粧板 (下地MF、芯材ペーパーコア)		高圧メラミン樹脂化粧板 (下地MF、芯材ペーパーコア)		高圧メラミン樹脂化粧板 (下地MF、芯材ペーパーコア)	
ガラス種類	学校用型板強化ガラス									
ガラス仕様										
附属金物	上吊り用ソフトクローズ、戸当たりゴム、SUS製引手L=450		表示錠 (非常時解錠外開き仕様)、SUS巾木、笠木アルミ		表示錠 (非常時解錠外開き仕様)、SUS巾木、笠木アルミ		表示錠 (非常時解錠外開き仕様)、SUS巾木、笠木アルミ		表示錠 (非常時解錠外開き仕様)、SUS巾木、笠木アルミ	
備考	指詰め防止機能付き (DAIKENおもいやりキッズドア同等品)、表示錠、床SUS製見切り		中心吊グレビティヒンジ、引手、戸当たり帽子掛け		中心吊グレビティヒンジ、引手、戸当たり帽子掛け		中心吊グレビティヒンジ、引手、戸当たり帽子掛け		中心吊グレビティヒンジ、引手、戸当たり帽子掛け	

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1:50 SCALE SCALE SCALE

建具表

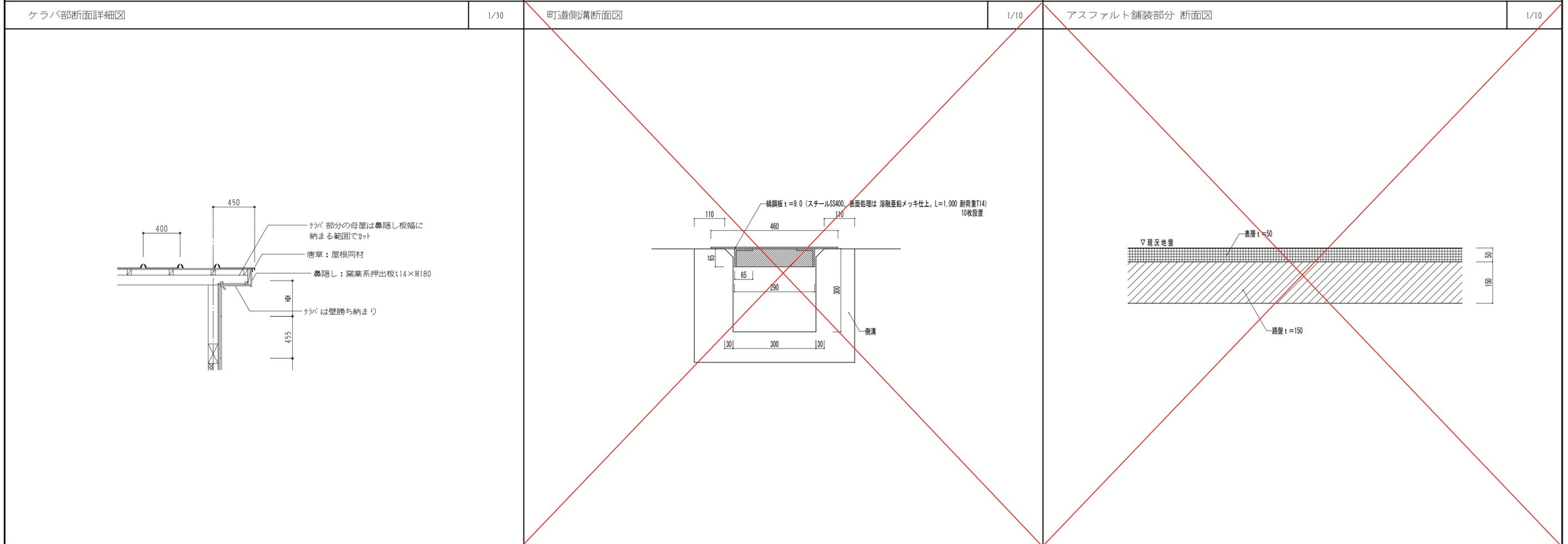
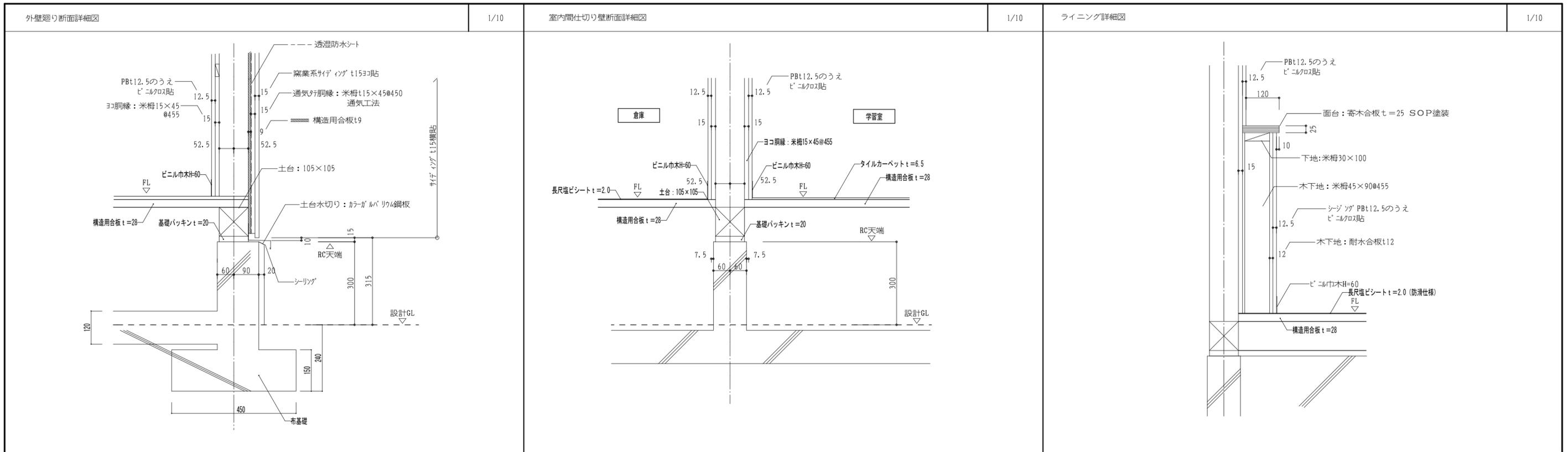
DW. CK. DATE 07-02 NO. A-22

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



<b>令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事</b>				設計・監理 一級建築士事務所
1:10, 1:30	SCALE	SCALE	SCALE	<b>野中建築設計事務所</b>
部分詳細図				1級建築士第147931号 野中健一
DW.	CK.	DATE 07-02	NO. A-23	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

### 本棚

全成形エッジ24・面展示用傾斜レール 詳細図

幅広の面展示用傾斜レールにより、安定した本の展示が可能

面展示用傾斜レール  
木口：全R成形エッジ24

名称	材質・仕様
作業天板	t20 メラミン化粧板 ポストフォーム加工
外装	ポリエステル樹脂合板
内装	ポリエステル樹脂合板
棚板	t24 ポリエステル樹脂板(ベタ芯)
木口	全成形エッジ24(AES樹脂+ラッピング)
全可動脚受柱	(20ピッチ)・ダボ(アルミ)
底板木口	全成形エッジ24(AES樹脂+ラッピング)
側板見付	t2 セーフティエッジ(AES樹脂)
見付	樹脂エッジ(AES樹脂)
台輪	ポリエステル樹脂合板
その他	面展示用傾斜レール(AES樹脂)

### 読書スペース 2台

### 下足入れ (20人分)

### 玄関 3台

名称	材質・仕様
外装	ポリエステル樹脂合板
内装	ポリエステル樹脂合板
上足棚板	t20 ポリエステル樹脂合板
木口	t2 セーフティエッジ(AES樹脂)
下足棚板	t20 メラミン化粧板
木口	R付アルミエッジ(品名ライン付)
見付	t2 セーフティエッジ(AES樹脂)
(側板上面)樹脂エッジ(AES樹脂)	
(底板)R付アルミエッジ(品名ライン付)	
ポリエステル樹脂合板	
角部	セーフティカバー27L(AES樹脂)
R付アルミエッジ詳細図	

### ミニキッチン

### 事務室 1台

名称	材質・仕様
サイドパネルA	両面低圧メラミン化粧バーチ
サイドパネルB	内面：化粧不燃板t3.0(ノアス)
天板	内面：化粧不燃板t3.0(ノアス)
バックパネル	内面：化粧不燃板t3.0(ノアス)
扉	内面：化粧不燃板t3.0(ノアス)
外装	両面低圧メラミン化粧バーチ
食器棚板	両面低圧メラミン化粧バーチ
食器固定板	両面低圧メラミン化粧バーチ
照明器具	ダウンライト(100W LED)
水切り棚	ポリエチレンコーティング

ワークトップ	ステンレス製
混合水栓	RMI TNE(KVK)
IHヒーター	SIHH-H13A-S(三化製) 100V 1300W
排水栓セット	ゴミ収納器付、ジャバラホース付
シーリングプレート	
側板(シンク側)	両面低圧メラミン化粧バーチ
側板(コンロ側)	両面低圧メラミン化粧バーチ
中仕切り	両面低圧メラミン化粧バーチ
フロントパネル	両面低圧メラミン化粧バーチ
後補強	バーチ
扉	両面低圧メラミン化粧バーチ
包丁差し付	
取手	樹脂製
底板	両面低圧メラミン化粧バーチ
上被せ点検蓋	
ケコミ	両面低圧メラミン化粧バーチ
点検蓋	カラー合板 t2.5
底補強	両面低圧メラミン化粧バーチ
スイッチ	照明・換気扇用 2連スイッチ
ジョイントボックス	100V 15A一次電源接続用
ヒーターコンセント	100Vヒーター用
フロントカバー	硬質塩化ビニール(両面テープ付)
ジョイナー	硬質塩化ビニール
メイクカバー	硬質塩化ビニール
換気扇	別産

記号	内容
D	排水
G	ガス
CW	給水
E	電気
HW	給湯

注記  
1. 各配管床上5cm以内プラグ止。  
2. 給水、排水、ガス、電気の床上から器具まで接続工事別途。

### 手洗い(ステンレス流し台)

### 廊下 1台

名称	材質・仕様
流し	SUS304 t1.0 (正面加工・全周スロープ加工)
大型排水トラップ	(ゴミカゴ付) YT-50XSP
外装	ポリエステル樹脂合板
内装	ポリエステル樹脂合板
側板見付	硬質塩化ビニール樹脂エッジ(AES樹脂)
見付	樹脂エッジ(AES樹脂)
引違戸	t20 ポリエステル樹脂合板
木口	樹脂エッジ(AES樹脂)
成形引手	(AES樹脂)
一体成形ガイドレール	(F樹脂)
成形ソフト継ぎ目型	(AES樹脂)
一体成形レール	(AES樹脂)
台輪	t20 ポリエステル樹脂合板
角部	セーフティカバー27L(AES樹脂)
給水栓	立型泡沫自在水栓 Y-136S13R 3個

かばん入れ (30人)

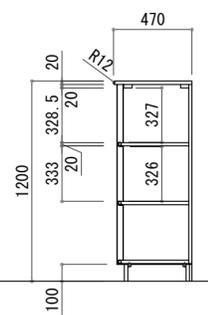
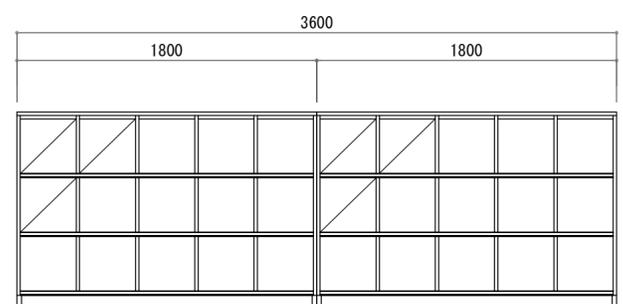
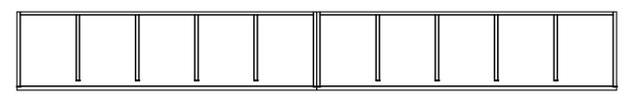
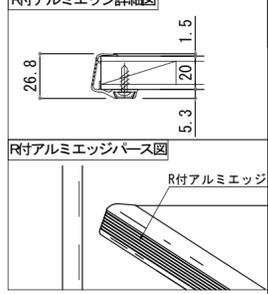
学習室

傘立て

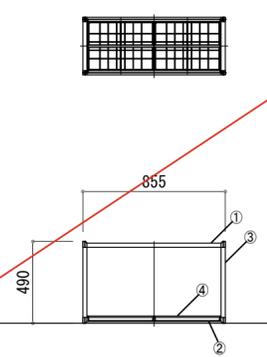
玄関 1台

名称	材質・仕様
作業天板	t20 メラミン化粧板 t0.8 ポストフォーム加工
外装	ポリエステル樹脂板
内装	ポリエステル樹脂板
棚板・底板	t20 ポリエステル樹脂板
木口	R付アルミエッジ (品名ライン付)
見付	t2 セーフティエッジ (AES樹脂)
台輪	ポリエステル樹脂板
角部	セーフティカバー27L (AES樹脂)

NO.	名称	材質・仕様
1	上枠	アルミパイプ
2	下枠	FP
3	支柱	アルミパイプ
4	トレイ	FP(再生)



20 336 20



令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

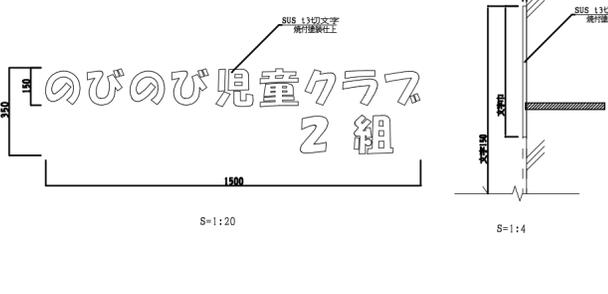
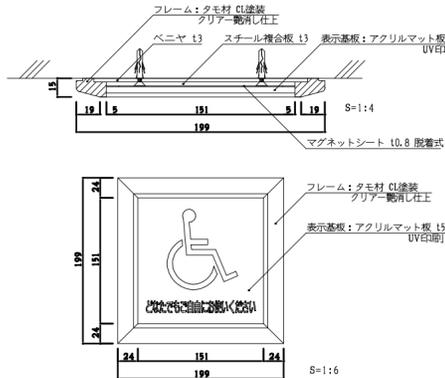
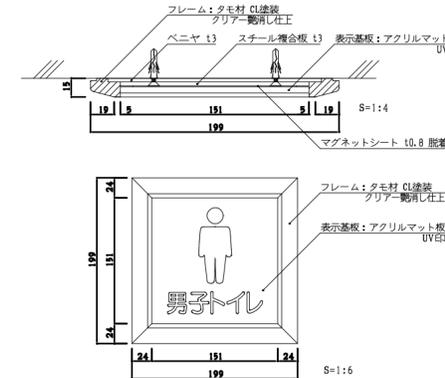
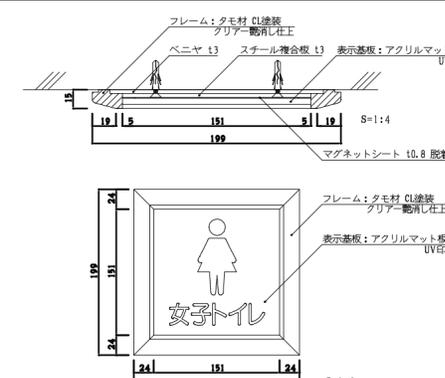
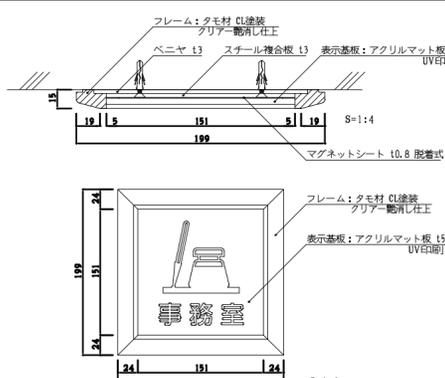
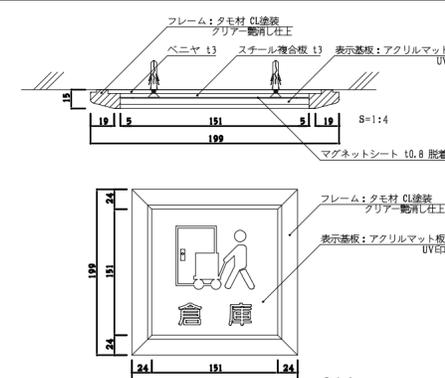
1:30	SCALE	SCALE	SCALE
家具詳細図2			
DW.	CK.	DATE	NO.
		07-02	A-25

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

<p>1 館銘板</p> <p>縮尺 1:20, 1:4 数量 1</p> 	<p>2 平付型室名札</p> <p>縮尺 1:4, 1:6 数量 1</p> 	<p>3 平付型室名札</p> <p>縮尺 1:4, 1:6 数量 1</p> 
<p>4 平付型室名札</p> <p>縮尺 1:4, 1:6 数量 1</p> 	<p>5 平付型室名札</p> <p>縮尺 1:4, 1:6 数量 1</p> 	<p>6 平付型室名札</p> <p>縮尺 1:4, 1:6 数量 1</p> 
<p>■サイン特記仕様</p> <p>[1]使用材料</p> <p>a. 木材 : VOC商品(ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応)とする。</p> <p>b. アルミ : JIS-H4100 A-6063 S-T5(アルミ押出型材)</p> <p>c. アクリル : JIS-K-6718-1(キャスト板), JIS-K-6718-2(押出板)</p> <p>d. ステンレス : JIS-G4305 SUS304, HL仕上</p> <p>[2]フォント</p> <p>a. 書体については、丸ゴシックは「スーラDB」、角ゴシックは「新ゴM」を基準とする。</p> <p>※ただし、係員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。</p> <p>[3]ピクトグラム</p> <p>a. 図柄については、原稿を作成し係員の承認を受けること。</p> <p>[4]ユニバーサルデザイン</p> <p>a. ピクトグラム表示や点字サインの導入を推奨する。</p> <p>b. 多様な色覚に対応した配色や明度差を理解しているCUD賛助会員による製作とする。</p> <p>[5]取付位置・方法</p> <p>a. 取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。</p> <p>b. 取付方法については、取付位置の地下などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。</p> <p>c. 障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。</p> <p>[6]その他</p> <p>a. 室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。</p> <p>又、室名札脱着の際には、スライドロック機構、専用吸盤などを利用し商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様とすること。</p> <p>b. サイン計画については、当該設の他工事と充分に調整協議をすること。</p>		

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

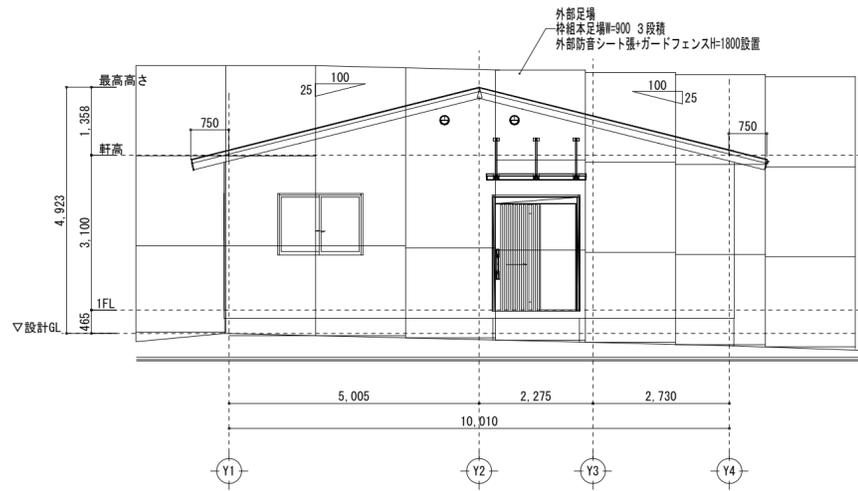
設計・監理 一級建築士事務所

各サイン図縮尺参照	SCALE	SCALE	SCALE
サイン詳細図			
DW.	CK.	DATE	NO.
		07-02	A-26

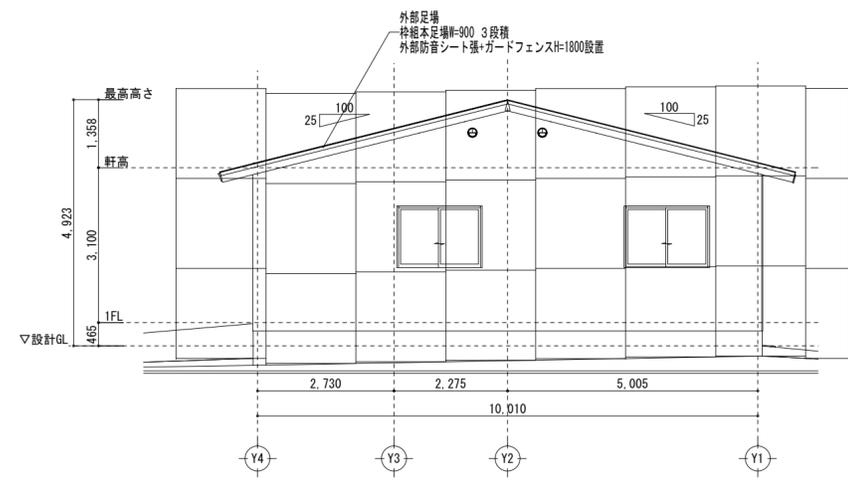
野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

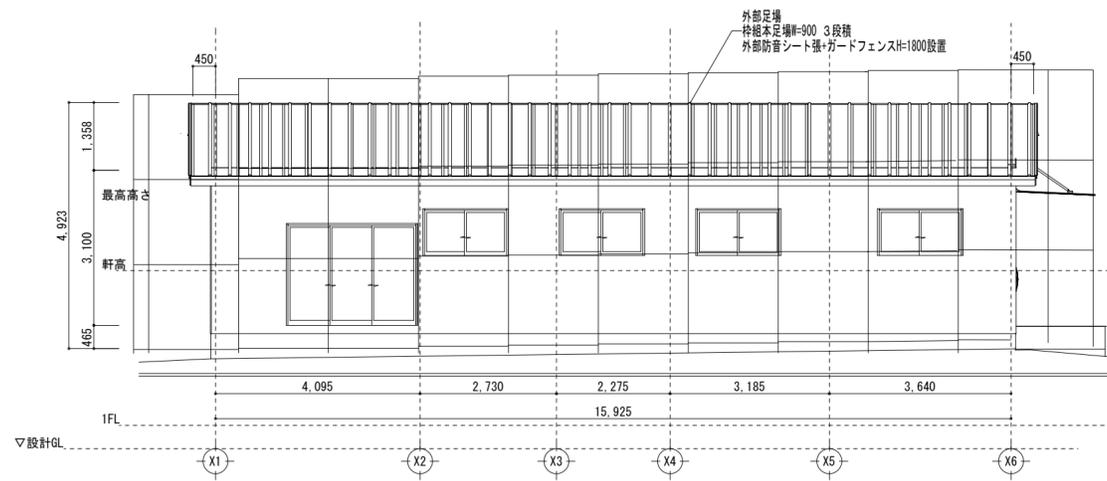
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



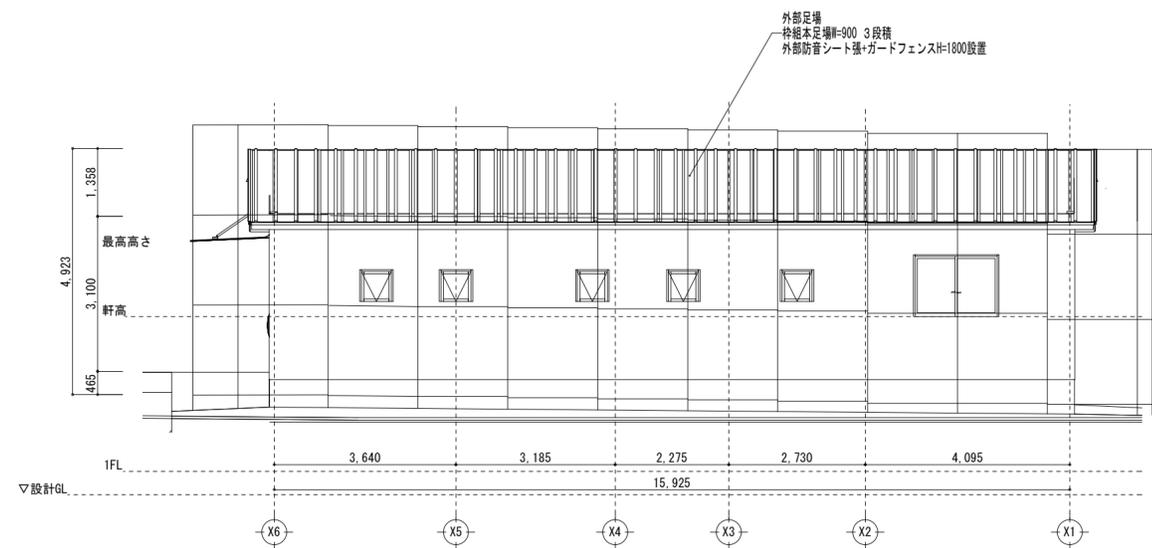
東面仮設計画図 1/100



西面仮設計画図 1/100



南面仮設計画図 1/100



北面仮設計画図 1/100

注記 内部足場は脚立足場150.40mとする。

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1:100  
仮設計画図 (立面)

SCALE

SCALE

SCALE

DW.

CK.

DATE

07-02

NO.

A-31

設計・監理

一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20

TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



構造特記仕様書 2020年度版

8-1 一般事項 選択項目は◎印を適用し、○印が無い場合は\*印を適用する。○印が複数ある場合は、共に適用する。

- 1-1 使用材料は原則としてJIS規格品、又は大臣認定品とする。
1-2 設計図書の特記事項は下記による。
1) 本特記仕様書
2) 設計図
3) 標準図
4) 仕様書(・公共建築協会・日本建築協会)
5) 日本建築学会標準仕様書、JASS5、JASS6
1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承認を得る。
1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承認を得る。
1-6 現場位置、径、及び箇所数は(・意匠図・構造図・設備図)による。
1-7 その他

8-2 構造計算ルート

- 2-1 方向 構造計算ルート
2-2 鉄筋の継手
構造計算ルート別による主筋又は、耐力筋の鉄筋の継手の重ね長さ
\* 建築基準法施行令第73条(政令第73条)による仕様規定
◎ 日本建築学会 JASS5(2015)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説
・日本建築学会 RC標準2010
XY両方向ルート3及び限界耐力計算の場合は、政令第73条の仕様規定によらずJASS5(2009)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC標準2010とすることができる。

8-3 仮設工事、土工事

- 3-1 山留め、根切り
3-2 埋戻し土、盛土、残土処分
埋戻し土 \* 根切り土の中の良土 \* 搬入良土
盛土 \* 根切り土の中の良土 \* 搬入良土
残土処分 \* 場内地向し \* 場外搬出処分(・自由 \* 指定場所)

8-4 地業工事

Table with columns: 場所, 捨てコンクリート厚さ, 素(1) A: 砕石 B: 普灰石, 厚さ. Rows include 基礎, 地中梁, 構造スラブ, 土間スラブ.

注(1) アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。(2) 端部αは100以上とする。(3) 構造スラブの下は防湿シート0.15、スタイロフォーム25敷とする。

- 4-2 設計耐力 長期 20kN/m² 短期 40kN/m² 終局 kN/m²
4-3 耐力試験 \* 行う(箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) ◎ 行わない
4-4 既製コンクリート杭、縦管杭、その他特殊杭
1) 杭種 MAGNU工法(標準型)
・PH杭 \* A種 \* B種 \* C種
・ST杭 \* A種 \* B種 \* C種
・SC杭 tmm \* \* \*
・PRC杭 \* I種 \* II種 \* III種 \* IV種
・節杭 \* A種 \* B種 \* C種
2) 工法 回転掘削工法
・打撃工法 \* 油圧ハンマー \* ディーゼルハンマー
・掘込み工法 \* プレボーリングセメントミルク注入工法
・プレボーリング拡大根固め工法(認定工法)(RodeX工法同様)
杭周固定液 \* あり \* なし
・中掘拡大根固め工法(認定工法)
・回転掘削工法(認定工法)

Table: 杭径, 設計耐力, 本数表. Columns: 杭径(拡底部)mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考.

- 4) 杭の構成は設計図による。
5) 杭頭補強
・かご筋 \* スタッブ溶接 \* 杭外周溶接
4-5 場所打鉄筋コンクリート杭、場所打鋼管コンクリート杭
1) 工法
・アースドリル工法 \* 拡底アースドリル工法
・リバース工法 \* オールケーシング工法(・ベント工法)
・BH工法
2) 杭径, 設計耐力, 本数表は施工図に示す

Table: 杭径(拡底部)mm, 管厚mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考.

- 3) 杭先端深さ GL- m
4) 孔深測定(2方向)
\* 行う(・全数 \* %) \* 行わない
5) 使用材料 コンクリートの仕様は設計図による。特記のない場合JASS5水中コンクリートによる。
コンクリート Fc (・普通ポルトランドセメント \* 高炉セメントB種)
鉄筋 \* D 以下 SD295A \* D 以上 SD345
\* D 以上 SD390
鋼管(リブ付) \* SKK400 \* SKK490
4-6 杭打地業共通事項
1) [\* 杭長決定用先行杭 \* 試験掘] \* 行う(本) \* 行わない
2) 載荷試験 \* 行う(箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) \* 行わない
3) SL散布 \* 行う \* 行わない

8-5 鉄筋工事

Table: 種類, 径, 継手. Rows include ◎SD295A, \*SD345, \*SD390, \*SD490, \*高強度せん断補強筋.

- 5-2 溶接継手 \* ガス圧接 \* 突き合せ溶接(D16以下は重ねアーク溶接でも可)
溶接部の検査(第三者機関による) 外観検査全般
・採取検査
・引張り試験(JISZ3120)
1検査ロットにつき \* 3本 \* 原則 柱・梁の径毎に3本
・超高音波探傷試験(JISZ3062) \* 熱間押抜き試験
1検査ロットにつき \* 30箇所
○ 不合格となった溶接部は切り取って再溶接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。
1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した溶接箇所の数で200箇所以内

- 5-3 梁貫通補強
補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。
5-4 その他
基礎梁、基礎小梁の継手及び定着は原則として
・O一般 \* O地耐力を受ける
・上載荷重が大きい場合
とする。
鉄筋の組立は適切な位置にスペーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。
コンクリートを2回打する部材は、初回の打撃後に鉄筋の清掃を行う。
コンクリート打撃前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

8-6 コンクリート工事

- 6-1 設計基準強度(N/mm²)
1) セメント ◎ 普通ポルトランドセメントJISR5210 \* 高炉セメントB種
・低熱ポルトランドセメントJISR5210
2) 骨材
・砂利 ◎ 砕石 \* 高炉スラグ骨材 \* 人工軽量骨材 \* 再生骨材
最大径(mm) ◎ 20 \* 25 \* 40
3) 躯体(使用区分は設計図の軸組図に示す)
・普通コンクリート
・Fc18 ◎ Fc21 \* Fc24 \* Fc27 \* Fc30 \* Fc33 \* Fc
・軽量コンクリート(\*1種 \* 2種 気乾単位容積質量 \*18.5 \* )
・LFC18 \* LFC21 \* LFC24 \* LFC27 \* LFC30 \* LFC

- 4) 土間コンクリート \* Fc 21 (ただし柱、壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする)
5) 捨てコンクリート \* Fc 18 5) デッキ上コンクリート \* Fc
7) 防水押さえコンクリート \* Fc \* LFC (気乾単位容積質量 \*18.5 \* )
8) かさ上げコンクリート \* Fc \* LFC (気乾単位容積質量 \*18.5 \* )

Table: 箇所, 基礎, 地中梁, 一般, 備考. Columns: スランプ cm, 水セメント比 %, 単位水量 kg/m³, 単位セメント量 kg/m³.

- 6-4 試験(躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)
1) 骨材 [\* 選分含有量 \* アルカリシリカ反応性] \* 行う \* 行わない
2) フレッシュコンクリート [\* スランプ \* 空気量] \* 行う \* 行わない
3) 躯体のせき取り外し時期決定圧縮試験 \* 行う \* 行わない
4) コンクリートコア抜き取り圧縮試験 \* 行う \* 行わない
5) マスコンクリートのひび割れ発生(温度応力解析) \* 行う \* 行わない
6) 単位水量測定 \* 行う \* 行わない
6-5 調査(補正値は工事費を含む)
計画供用期間の級( )は耐久設計基準強度Fcd
・短期(18) ◎ 標準(24) \* 長期(30) \* 超長期(36)
調査管理強度 Fm=Max(Fc, Fd)+S S=3~6
村舎28日の調査強度Fpは下記の式を満足するものとする。
Fp ≥ Fm + 1.73σ Fp ≥ 0.85Fm + 3σ
6-6 せき板及び支柱の在重期間(普通ポルトランドセメントの場合)

Table: コンクリート, 15℃以上, 5℃以上, 0℃以上, 圧縮試験による場合. Columns: 基礎, 梁, 柱, 壁, スラブ下, 梁下.

- 6-7 住宅性能表示
劣化等級 \* 等級2 \* 等級3
劣化等級2又は3を指定する場合は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)2-7かぶり厚さ
が変わる場合があるので注意すること。
6-8 Fc60を超える高強度コンクリートは別記特記仕様書による。

8-7 鉄骨工事

Table: 規格名称, 鋼材名, 柱, 梁, フレース, 小梁. Rows include 一般構造用圧延鋼材, 建築構造用圧延鋼材, 一般構造用角形鋼管, 冷間成形角形鋼管, 熱間成形角形鋼管, 一般構造用炭素鋼管, 一般構造用軽量形鋼管, 建設構造用圧延鋼材.

Table: 高力ボルト, 高力ボルトの種類, 使用箇所. Rows include トルシア形高力ボルト, JIS形高力ボルト, 溶接継ぎメッキ高力ボルト, 超高力ボルト.

- 7-3 普通ボルト, アンカーボルト
1) 材質 ◎ SS400 \* SS490(M以上)
\* ABR400 \* ABR490 \* ABM400 \* ABM490(ABMはM24以下)
2) 大臣認定仕舞(メーカー仕様による) ◎ 使用する \* 使用しない
7-4 頭付きスタッド
径 長さ(mm) 使用箇所
16φ \* 80 \* 100 \* 120 \* 150 \*
19φ \* 80 \* 100 \* 120 \* 150 \*
22φ \* 100 \* 120 \* 150 \*
7-5 溶接材料
1) アーク溶接に使用する溶接棒、ワイヤ及びフラックスは母材の種類、寸法、及び溶接条件に相応したものを選定する。
2) ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとする。
7-6 スカラップ形状 \* スカラップ工法 ◎ ノンスカラップ工法
7-7 継手

Table: 継手, 柱, 梁. Columns: フランジ, ウェブ. Rows: 高力ボルト, ◎ 現場溶接, ◎ 高力ボルト, ◎ 現場溶接.

- 7-8 溶接手法及び管理
1) 使用する溶接ワイヤ、入熱量及びガス間温度等の仕様については鉄道協又は全機協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。
2) 本工事で代替タブを使用する場合は、代替タブ溶接技術者技能検定付試験 \* 行う \* 行わない
3) AW検定(工場・現場・代替タブ)の有資格者で、係員の承認を受けた者は技能検定付試験を免除する。

- 7-9 マックプレート(単位mm)
1) 採用 高さ \* 板厚 \*
2) 合成スラブ用 高さ \* 板厚 \*
3) 型枠用 高さ \* 板厚 \* 形板 タイプ
4) 防錆処理 \* プライマー \* 亜鉛メッキ \* Z12 \* Z27
7-10 補止め塗装(工場塗 \* 2回 \* 1回、現場タッチアップ程度とする)
1) 素地こしらえ \* クレン \* プラスト
2) 補止め塗料

Table: 適用, 室内, 室外, 塗料, 種別, 標準厚. Rows include 鉛、クロムフリー補止め, 一般用補止めポイント, ジンクリッチプライマー, シアナミド鉛補止めポイント.

- 3) 溶接部給メッキ \* 行う \* 行わない
7-11 溶接部の検査(受入検査) \* 行う \* 行わない
1) 受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。
2) 第三者検査機関は(社)日本溶接協会によるCIW検査事業者認定種別における超音波探傷検査員の認定を受けた事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。
3) 受入検査は目標による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。
4) 外観検査の合格判定は国土交通省告示1464号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 鉄骨工事 2007 付則」、鉄骨検査標準の限界許容差による。
5) 超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査標準・同解説」2008により、合格判定は7.2.1要件を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部のみを適用する。
6) 溶接箇所数の取え方は「JASS6 鉄骨工事 2007」表5.1.1.溶接箇所数の取え方による。
7) 受入検査の採取方法及び採取率は以下による。

- a) 工場溶接の場合
i 検査ロットは各節、各工区毎に溶接箇所300箇所以内で構成する。
ii 採取率は各ロット毎に30箇所をランダムにサンプリングする。
iii サンプリングの結果、不合格率が5%以内の場合ロットを合格とし、不合格率が5%を超えた場合は更に同一ロットの中から30箇所をサンプリングし、合計60箇所の不合格率が5%以内の場合を合格とする。不合格率が5%を超えた場合は残り全数の検査を行う。
b) 現場溶接の場合
i 全数検査とする。
8) 検査より不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならねばならない。
9) ずれ、食い違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所所長「突き合せ継手の食い違いの補修・補強マニュアル」等を参考にする。

Table: 国士交通省大臣認定(グレード) S H M R J R Grade 以上とする。

8-8 木工事

Table: 木材一覧表(材種 土台:ヒノキ,その他:スギ). Columns: 種類, 構造用製材, 母屋, 羽柄材, 板材, 下地材, 合板類, 建具. Rows include 構造用製材, 母屋, 羽柄材, 板材, 下地材, 合板類, 建具.

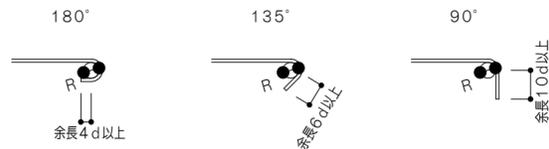
令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号 野中健一
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

一般事項

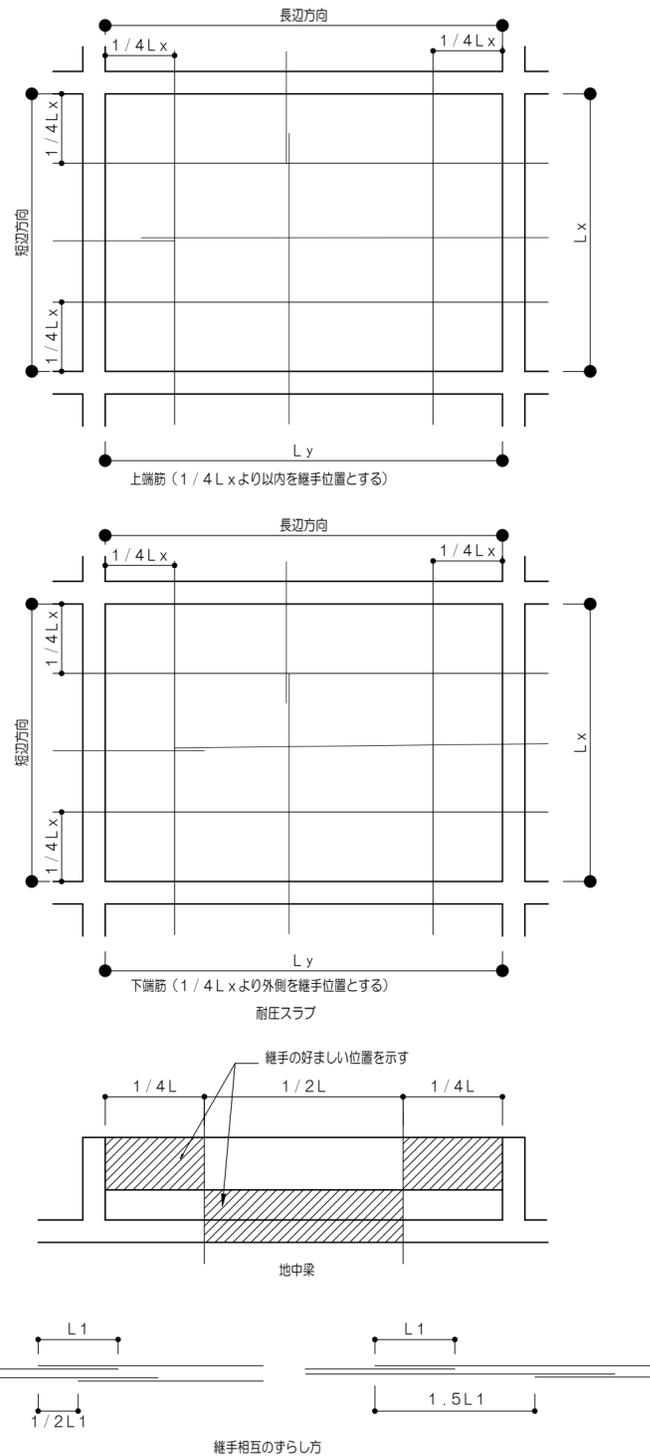
- (1) コンクリート
  - コンクリートはJIS認定工場の製品とする
  - セメントはJIS R5210の普通ポルトランドセメントとする
  - 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること
  - ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打設する  
打設継続中における打ち継ぎ時間の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分  
25℃以上の場合は120分以内とする
- (2) 鉄筋
  - 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする
- (3) 型枠
  - 合板を使用する場合は12mm厚を標準とする
  - 型枠在置期間は、平均気温が15℃以上の場合は3日、5℃~15℃の場合は5日、  
5℃未満の場合は9日とする
- (4) その他
  - 基礎に設備孔を設ける場合は、基礎梁せいの中央付近150φ以下とし、スタラップ間隔内に設ける  
150φを超える設備孔を設ける場合は設計者の承認を得て、適切な開口補強を施すこと
  - コンクリート打設前に型枠内の十分な清掃を行うこと

鉄筋加工

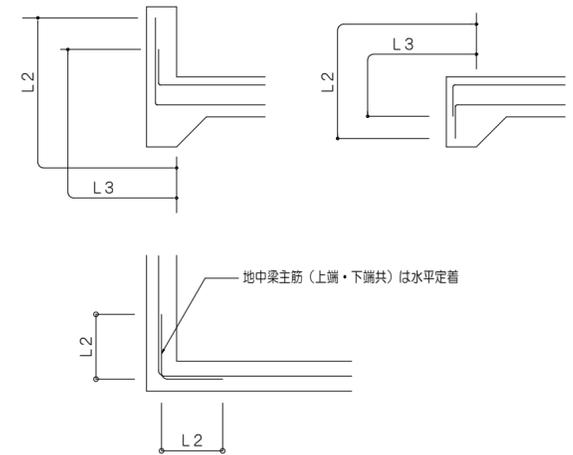
- (1) 鉄筋のかぶり厚さ
  - 基礎梁上部・側面 : 40mm
  - 基礎梁下部・耐圧スラブ・布基礎ベース部 : 60mm
  - 土に接しない耐圧スラブ上部 : 40mm
- (2) 鉄筋のあき(異形鉄筋)
  - 呼び名の数値の1.5倍、軽骨材最大寸法の1.25倍、のうちの大きい方の数値
- (3) 重ね継手の長さ(L1)
  - L1 : 45d (Fc=180)、40d (Fc=210)を標準とする
- (4) 定着長さ
  - L2 : 40d (Fc=180)、35d (Fc=210)を標準とする
  - L3 : 10dかつ15cm以上
- (5) 末端部折り曲げ形状
  - 折り曲げ内のり直径Rは3d以上 (D16以下) とする



鉄筋継手位置



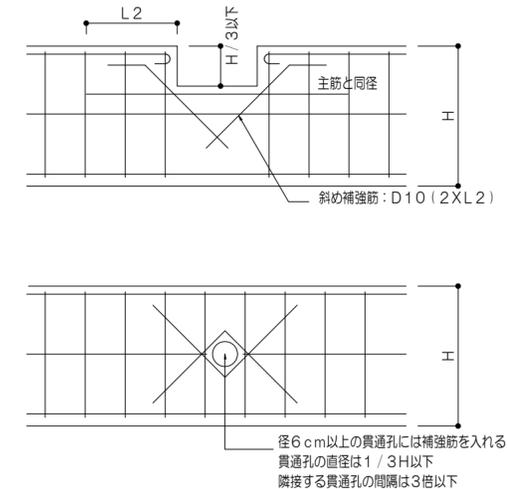
基礎端部の定着



スタラップ フック形状



開口補強

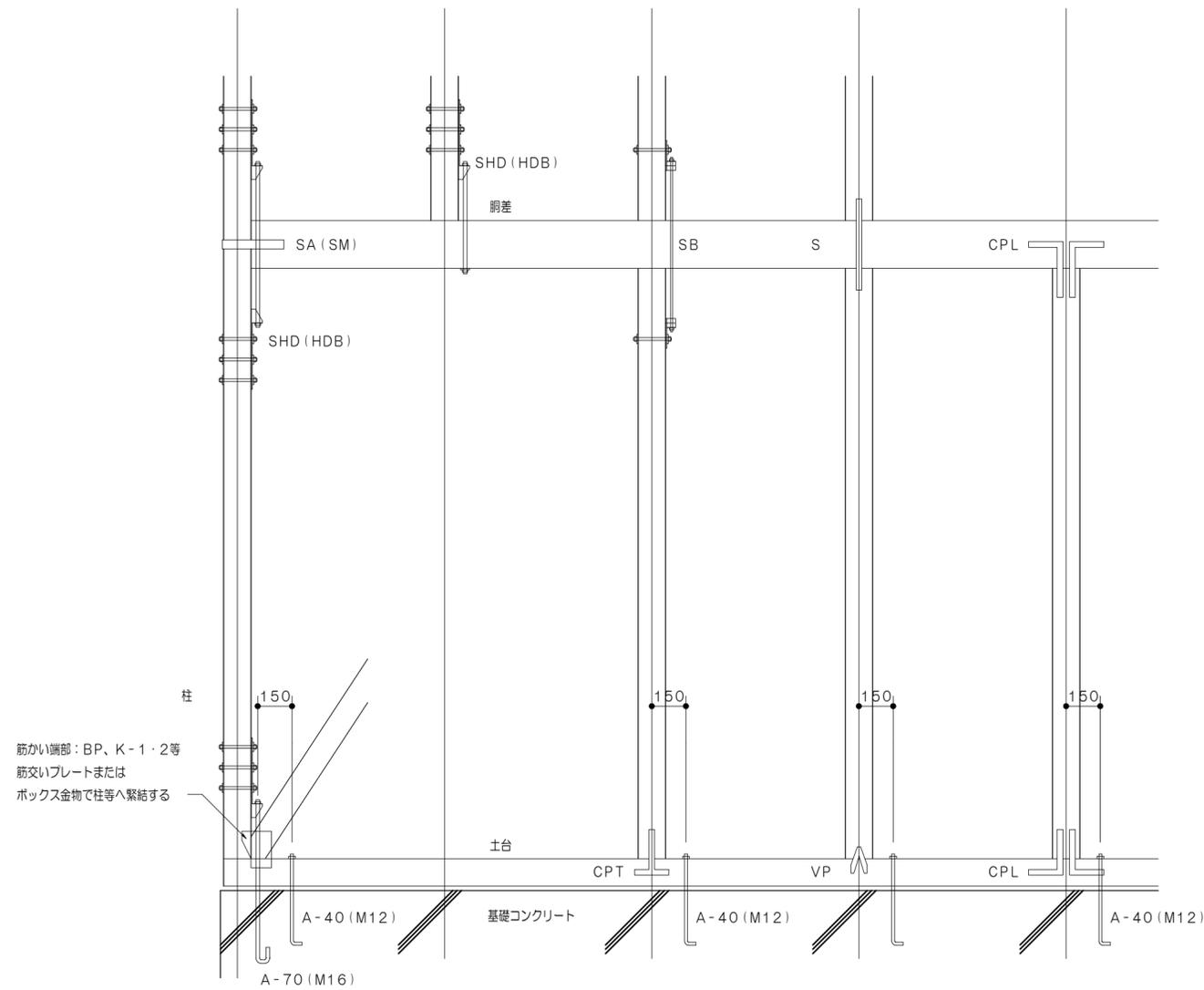


特記事項	

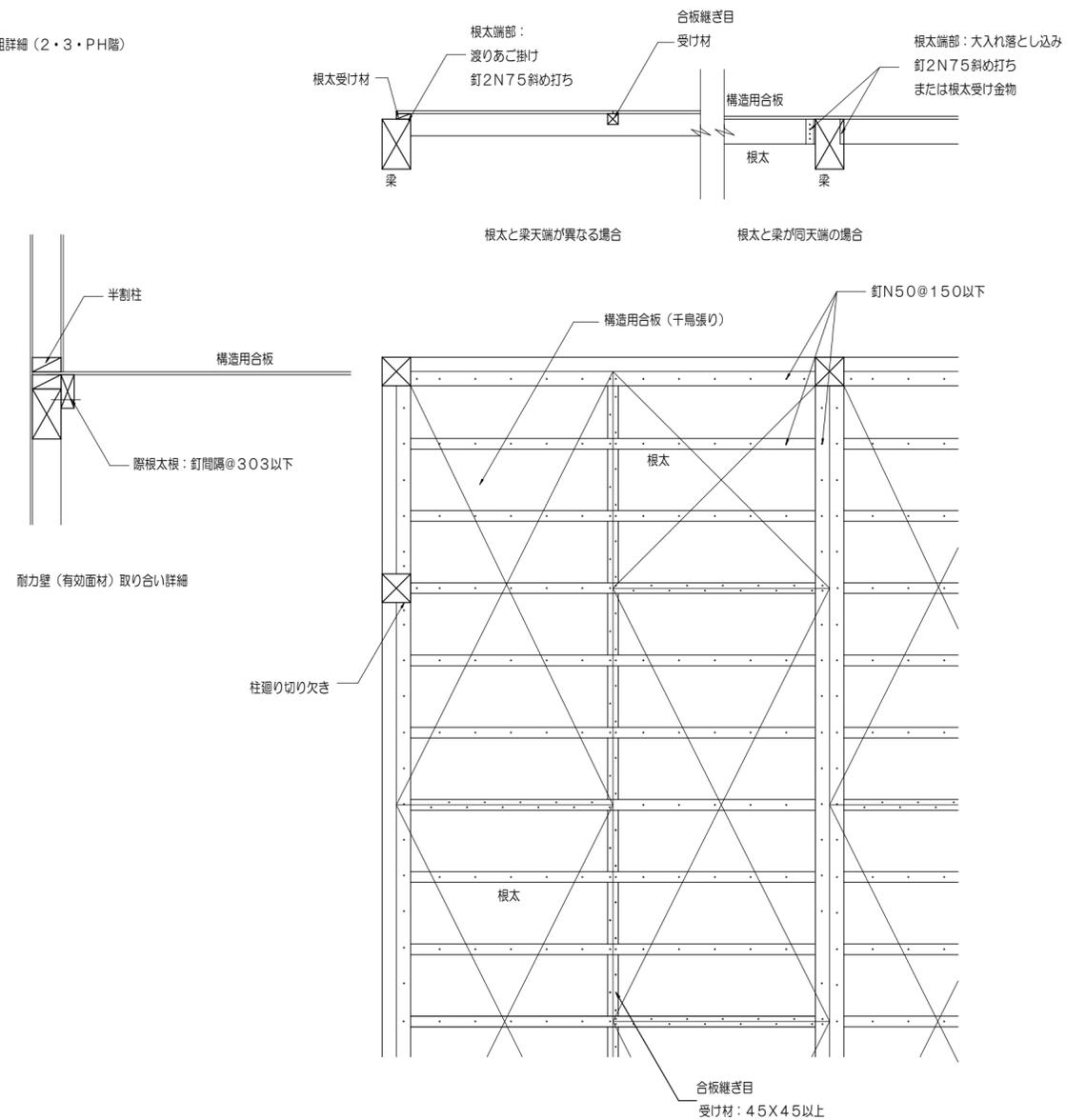
令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事			
1:100 SCALE		SCALE	
構造詳細図 RC関連詳細図			
DW.	CK.	DATE	NO.
		07-02	S-02

設計・監理	一級建築士事務所
<b>野中建築設計事務所</b>	
1級建築士第147931号 野中健一	
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20	
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

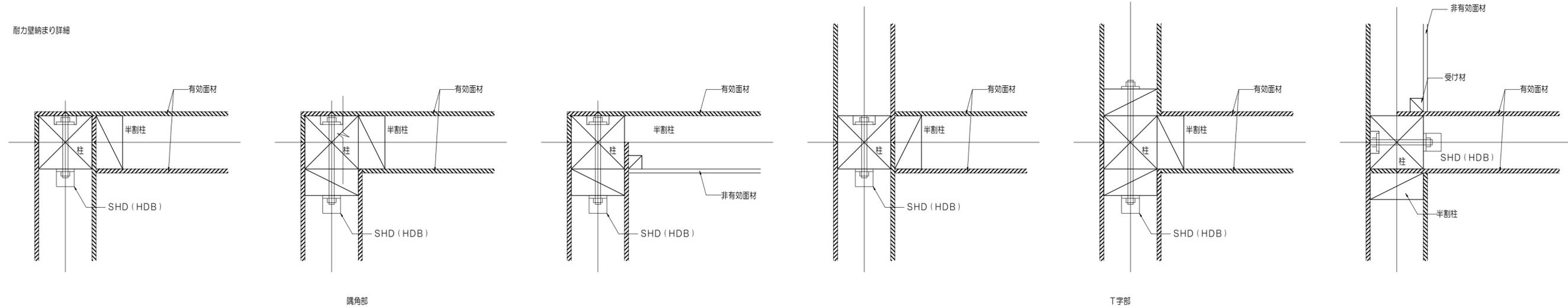
柱頭・柱脚金物取付詳細図



剛床組詳細 (2・3・PH階)

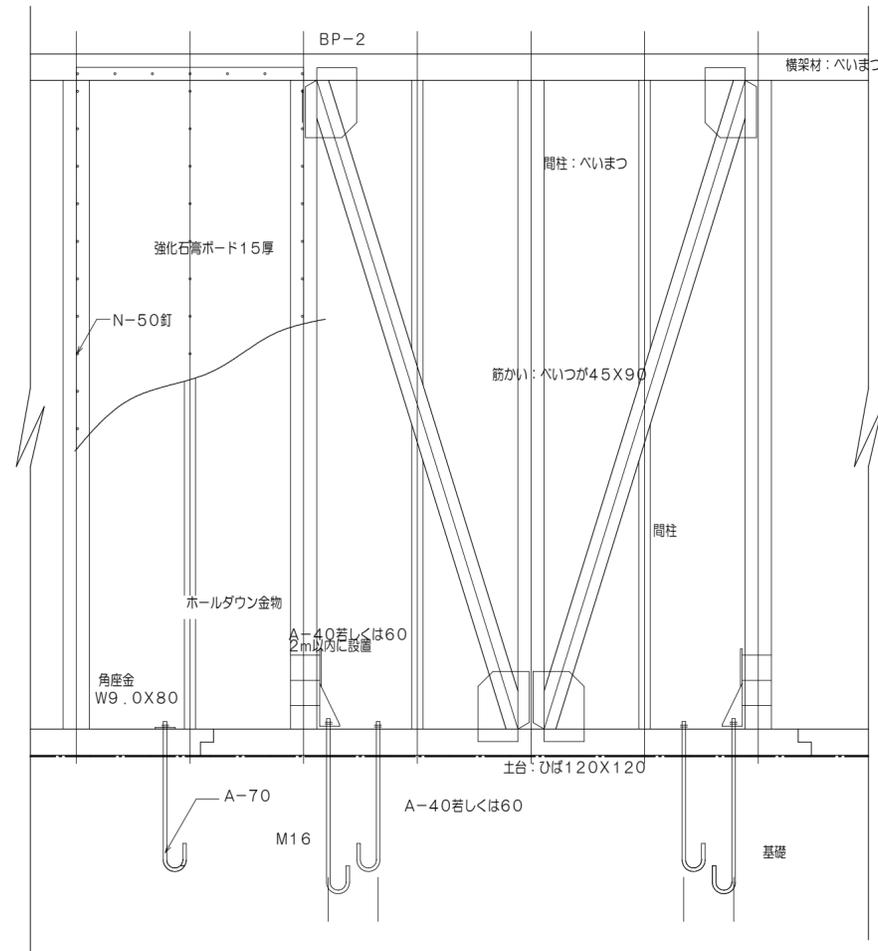


耐力壁納まり詳細

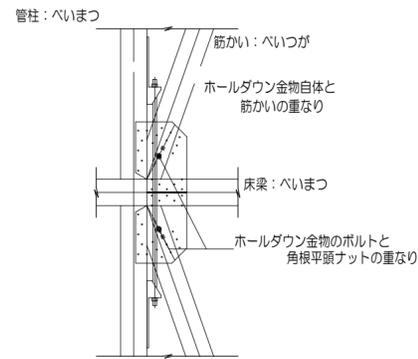


特記事項	令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事			設計・監理	一級建築士事務所
	構造標準図 軸組構造詳細図1			野中建築設計事務所	
	DW.	CK.	DATE	NO.	1級建築士第147931号 野中健一
		07-02	S-03	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

標準納まり (アンカー、ホールダウン、筋かい)

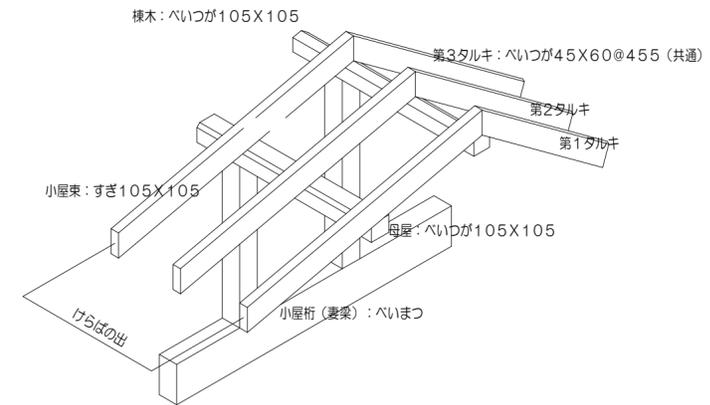


ホールダウン金物周辺納まり詳細

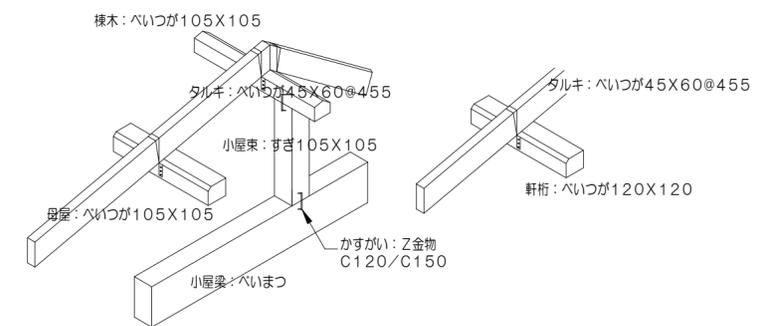


床梁: 梁せいがAの時、ボルト長さ  
L=A+800を使用する

小屋組の各部



接合金物による緊結



特記事項	令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事		
	1:100 SCALE	SCALE	SCALE
	構造標準図 軸組構造材詳細図2		
DW.	CK.	DATE	NO.
		07-02	S-04

設計・監理	一級建築士事務所
<b>野中建築設計事務所</b>	
1級建築士第147931号 野中健一	
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20	
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

# 深層混合処理工事 特記仕様書

( ソイルコラム 柱状改良工事 )

## 1. 工事概要

本工事は、地盤改良工事であり、地中にスラリー状のセメント系固着材を注入し、原土を機械的に混合・攪拌し、当該計画建築物基礎下部の土中に、円柱状の改良体を構築することにより、所定の強度を有した地盤を築造するものである。また、技術基準は「改定版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針―セメント系固着材を用いた深層及び浅層混合処理工法―」※(附)日本建築センター著 に準ずるものとする。

## 2. 特記概要

- 1: 本工事を施工する施工業者は 本工事の施工作業に精通したものである。
- 2: 改良径、改良長、掘削深度、改良ヶ所数、配置等は 設計図書による。

## 3. 一般事項

- 1: 改良の径、長さ、ヶ所数、位置及び固着材の配合等は、土中の地盤状況により変更することがある。
- 2: 改良の設計基準強度、改良数量は右表に記載する。
- 3: 本工事に先立ち、施工計画書を提出する。  
施工計画書には以下の内容を明記するものとする。

- ① 工事内容 (改良仕様、設計基準強度等の内容)
- ② 施工方法
- ③ 施工機械・器具
- ④ 配合管理 (使用固着材、配合量、水セメント比等)
- ⑤ 施工手順
- ⑥ 品質管理方法

設計基準強度		Fc = 800 kN/m <sup>2</sup>			
改良仕様					
改良径 (φ = mm)	掘削長 (m)	空堀長 (m)	改良長 (m)	改良ヶ所数 (ヶ所)	
500	2.00	0.24	1.76	61	
合計	122.00	14.64	107.36	61	

## 4. 固着材

- 1: 本工事に使用する固着材は六価クロム対応型セメント系固着材とする。(原則)
- 2: 固着材の添加量は、原則として、事前に室内配合試験を行い、以下の室内配合強度の設定にて 添加量を決定するものとする。  
※但し、諸条件により配合試験を行わない場合は、管理者の判断により、配合量を想定して改良計画を進めることが出来るものとする。

### 3. 室内配合強度の設定

$$Xf = \alpha f \cdot Fc$$

$Xf$  : 配合強度 (kN/m<sup>2</sup>)  
 $\alpha f$  : 割増係数 (右表による)  
 $Fc$  : 設計基準強度 (kN/m<sup>2</sup>)

変動係数	割増係数 (合格率 = 80%とする)					
	採取ヶ所数 (ヶ所)					
	1	2	3	4~6	7~8	9~
0.45	1.026	0.898	0.810	0.749	0.704	0.672

$$Xl = Xf / \alpha f1$$

$Xl$  : 室内配合強度 (kN/m<sup>2</sup>) ※28日強度  
 $\alpha f1$  : 現場/室内強度比 ( $\alpha f1 = 0.7$ )  
 $Xl = 666 \text{ kN/m}^2$  ※室内配合強度  $Xl$  は、配合強度  $Xf$  を現場/室内強度比  $\alpha f1$  で除して算出する。  
 $= 3907 \text{ kN/m}^2$  ※27日強度の場合の室内配合強度  $Xl/1.46$  (粘性土の場合)

### 4. 固着材

固着材名称	ハードキープ P-530	株式会社	トクヤマ (六価クロム対応)
想定計画固着材添加量	300 kg/m <sup>3</sup>	想定計画固着材使用量	6.5 t
		水セメント比	60 ~ 100 %

※他、上記設定は、事前の試験等により、土質を確認し、強度を低下させられる状況(腐食土、地下水等)が確認された場合、管理者と協議の上、変更することが可能なものとする。

## 6. 施工機械

- 1: 本工事の仕様を満足出来る施工機械・器具を選択し、施工するものとする。
- 3: スラリー (セメントミルク) 作成用の混合プラントは、吐出量を十分に供給できるものとする。

## 6. 施工

- 1: 本工事により発生、排出された土砂は、現場場内にて処理とする。
- 2: 改良頭部のずれは、±100mm以内とする。
- 3: 施工に対して何らかの変更・異常が生じた場合は、すみやかに監督員と協議し、その指示を受けるものとします。

## 7. 施工管理

- 1: 施工計画に沿って 以下の項目について管理を行う。

- ① 改良径
- ② 改良深度
- ③ 固着材使用量

## 8. 品質管理

- 1: 改良体の強度管理試験 (一軸圧縮試験)  
未固化的改良土を供試体 (モールド φ50×100) に充填し、一定期間の室内空養生後、一軸圧縮試験 (JIS A 1216) を行う。

※供試体作成本数は、採取ヶ所1ヶ所当り  
3本作成するものとします。

採取位置	採取ヶ所数	作成本数	養生期間
頭部	1	3	7日or28日以上
合計	1	3	

### 2. 合格の判定

一軸圧縮試験結果 (平均) から、下式 (検査手法A) を満足する場合は合格と判定する。

$$Xn \geq Xl = Fc + ka \cdot \sigma d = Fc + kn \{ Fc \cdot Vd / (1 - 1.3 Vd) \}$$
 ※資2.1.3

$Xn$  :  $N$ ヶ所の一軸圧縮強度の平均値 (kN/m<sup>2</sup>)  
 $Xl$  : 合格判定値 (kN/m<sup>2</sup>)  
 $Fc$  : 設計基準強度 (kN/m<sup>2</sup>)  
 $kn$  : 合格判定係数 (下表による)  
 $\sigma d$  : 標準偏差  
 $Vd$  : 変動係数 (0.45とする)

採取ヶ所数 $N$	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数 $ka$	1.7	1.7	1.5	1.5	1.4	1.3

以下 本工事の設定数値を示す

採取ヶ所数 $N$	1ヶ所	合格判定係数 $ka$	1.9
設計基準強度 $Fc$	800 kN/m <sup>2</sup>	合格判定値 $Xl$	2449 kN/m <sup>2</sup>

## 9. 結果及び報告

工事完了、品質管理結果確定後、次の項目について 報告書まとめ、正1部 副2部を作成し、すみやかに提出する。

- ① 工事内容
- ② 工事日報
- ③ 改良施工図
- ④ 施工記録表
- ⑤ 施工管理写真
- ⑥ 品質管理結果
- ⑦ 固着材納品票

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

柱状改良特記仕様書

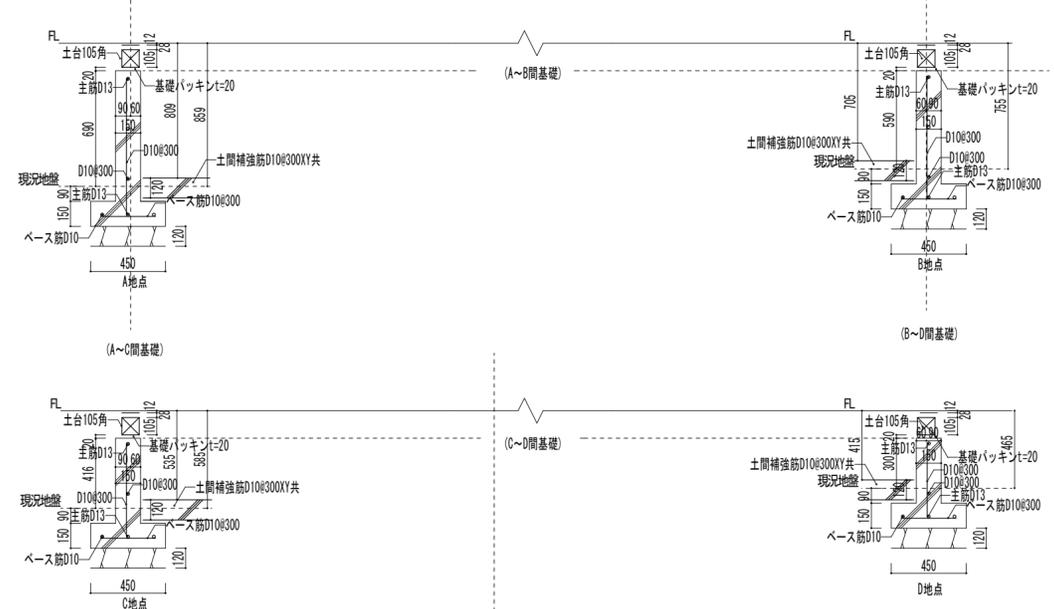
DW. CK. DATE 07-02 NO. S-05

設計・監理 一級建築士事務所

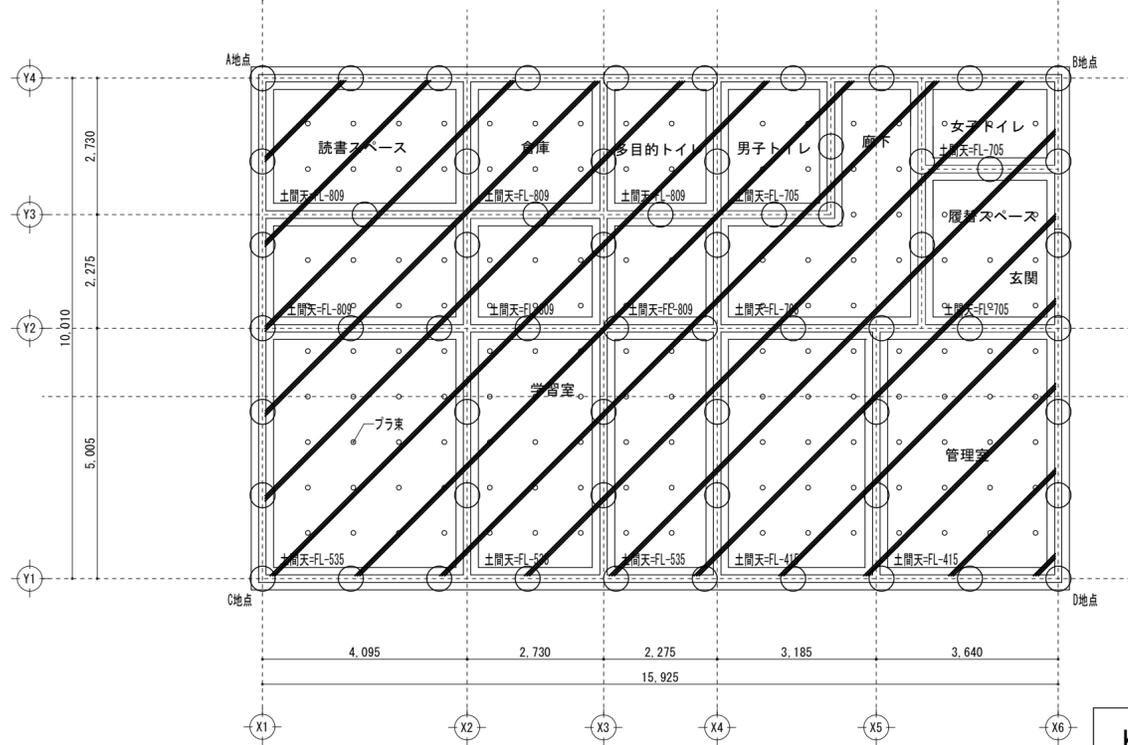
野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



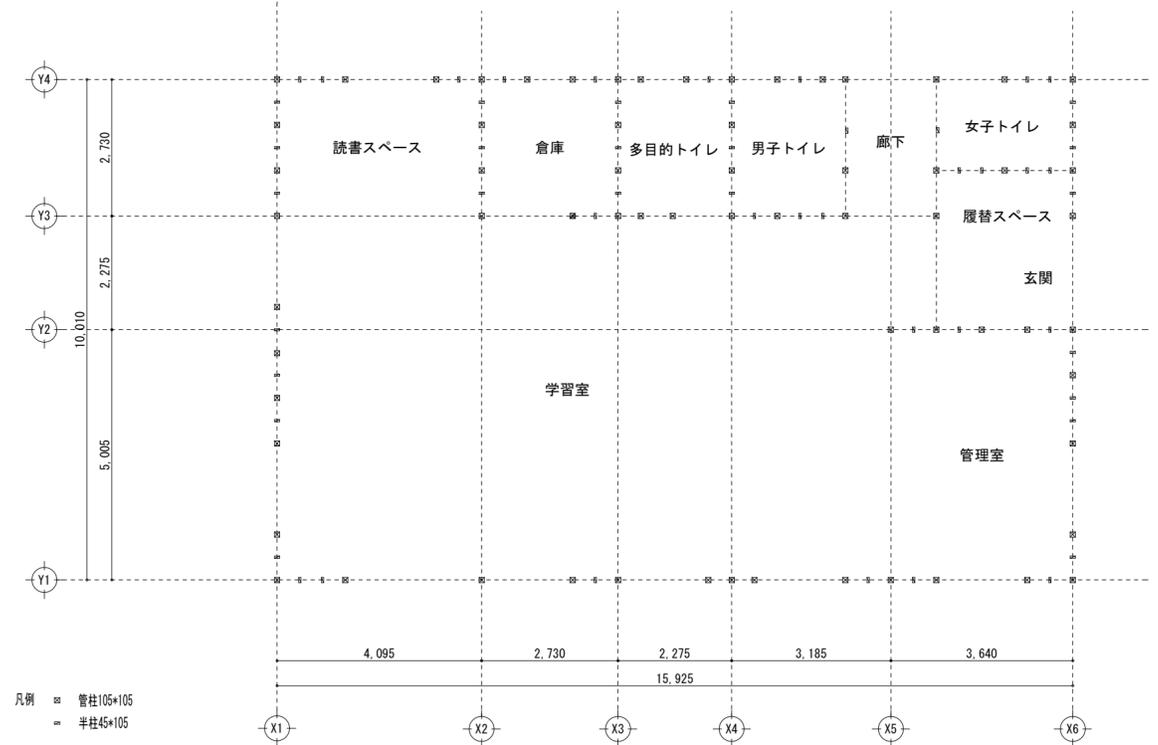
基礎詳細図 (布基礎) 1/30



柱状改良伏図 1/100

注記 布基礎の立上りは周囲の地盤面より300以上とする。  
布基礎の掘入れ深さは周囲の地盤面より240以上とする。

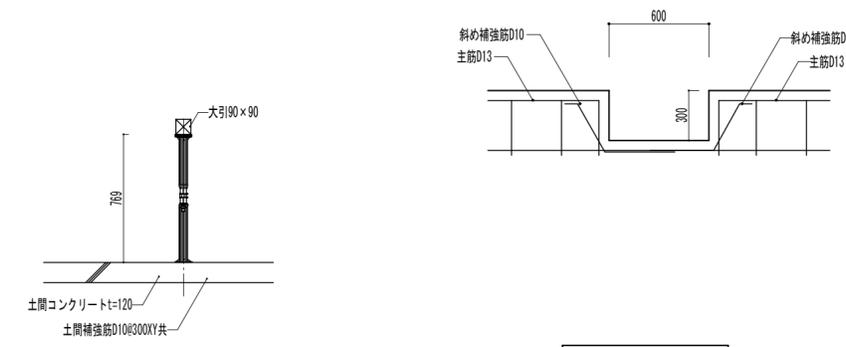
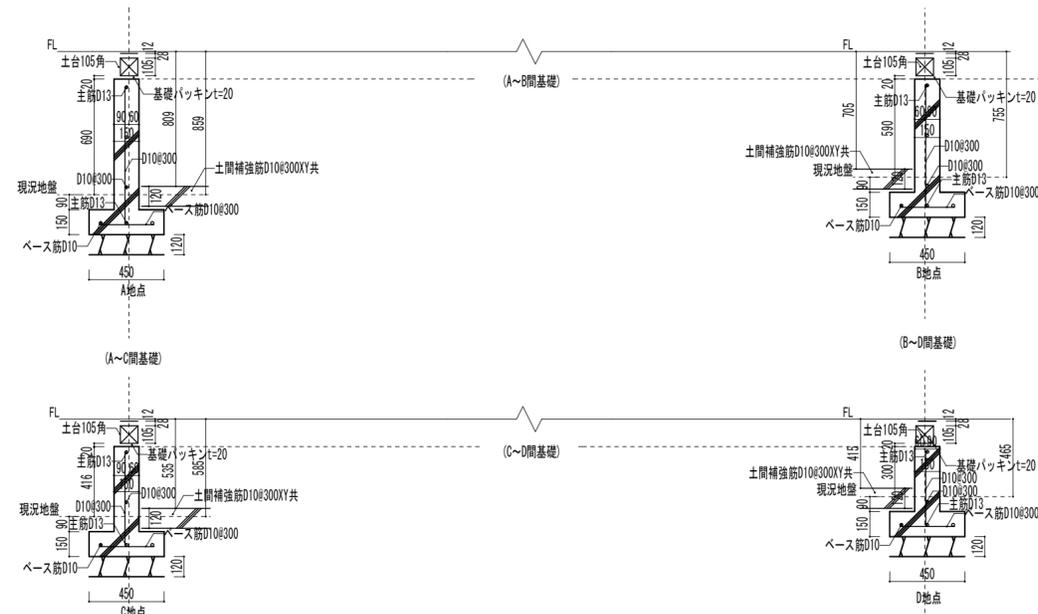
KBM=SGLとする  
φ 500mm  
L=SGL-2.0m\*61本



柱伏図 1/100

凡例  
= 管柱105\*105  
= 半柱45\*105

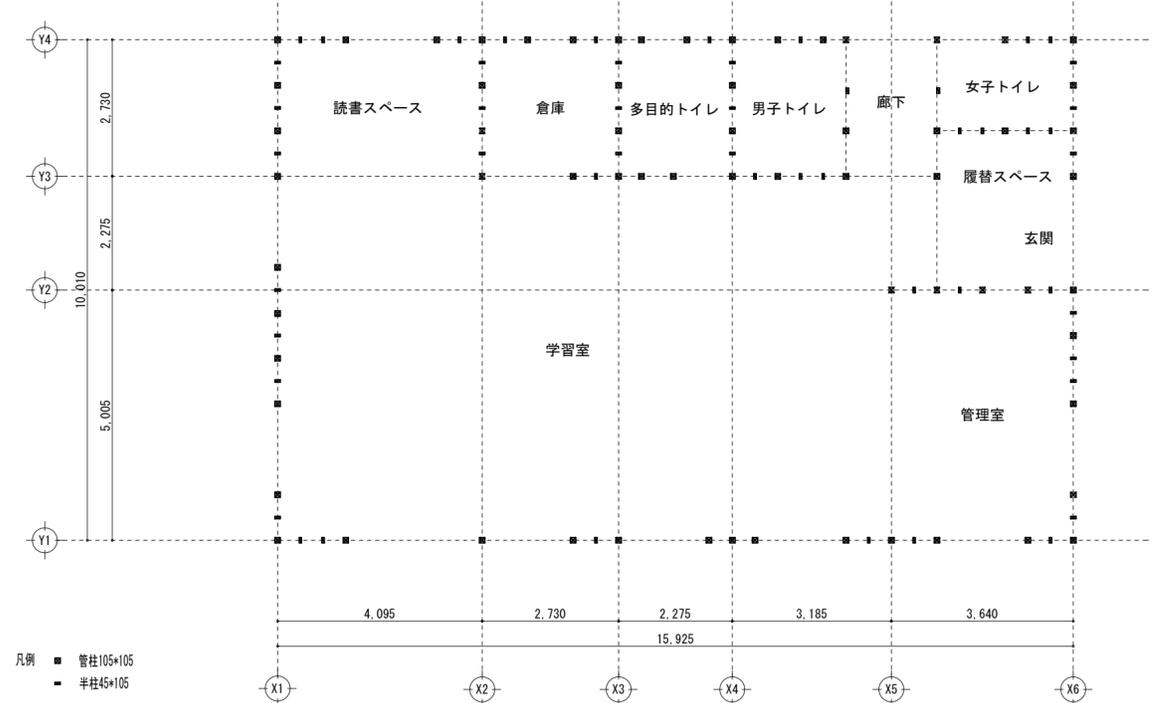
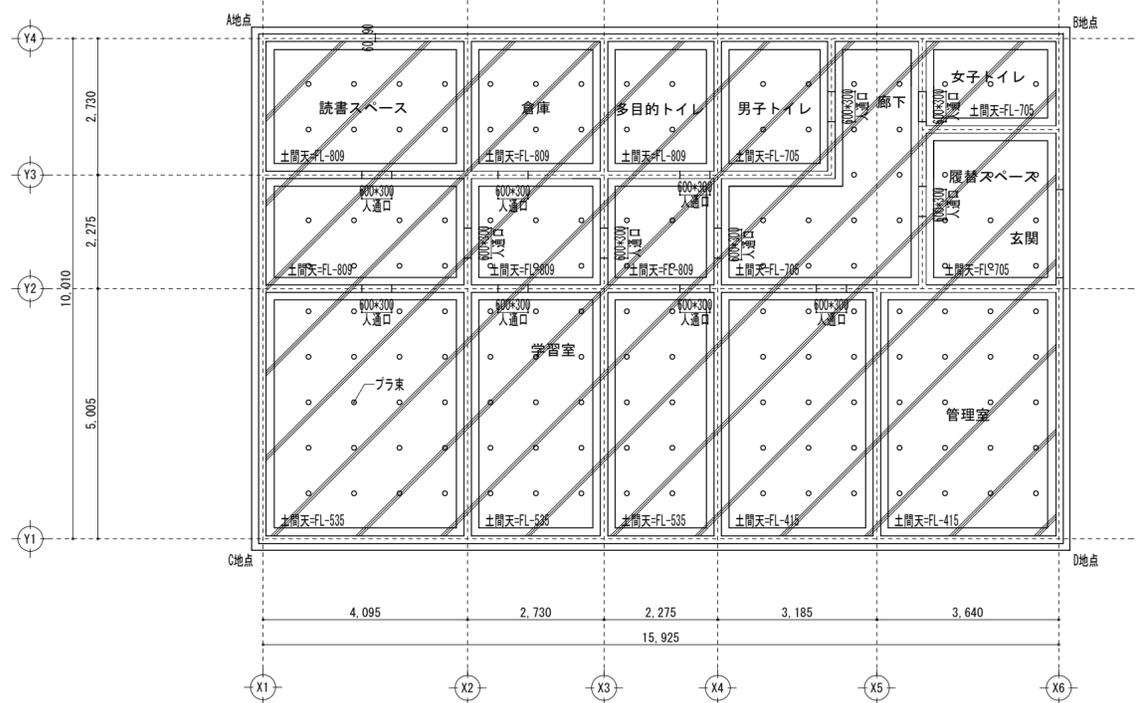
令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所
1:100 SCALE	SCALE	SCALE	SCALE	野中建築設計事務所 1級建築士第147931号 野中健一
柱状改良伏図				
DW.	C.K.	DATE 07-02	NO. S-06	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



(土間天=FL-809範囲のプラ束詳細)

人通口詳細図

基礎詳細図 (布基礎) 1/30

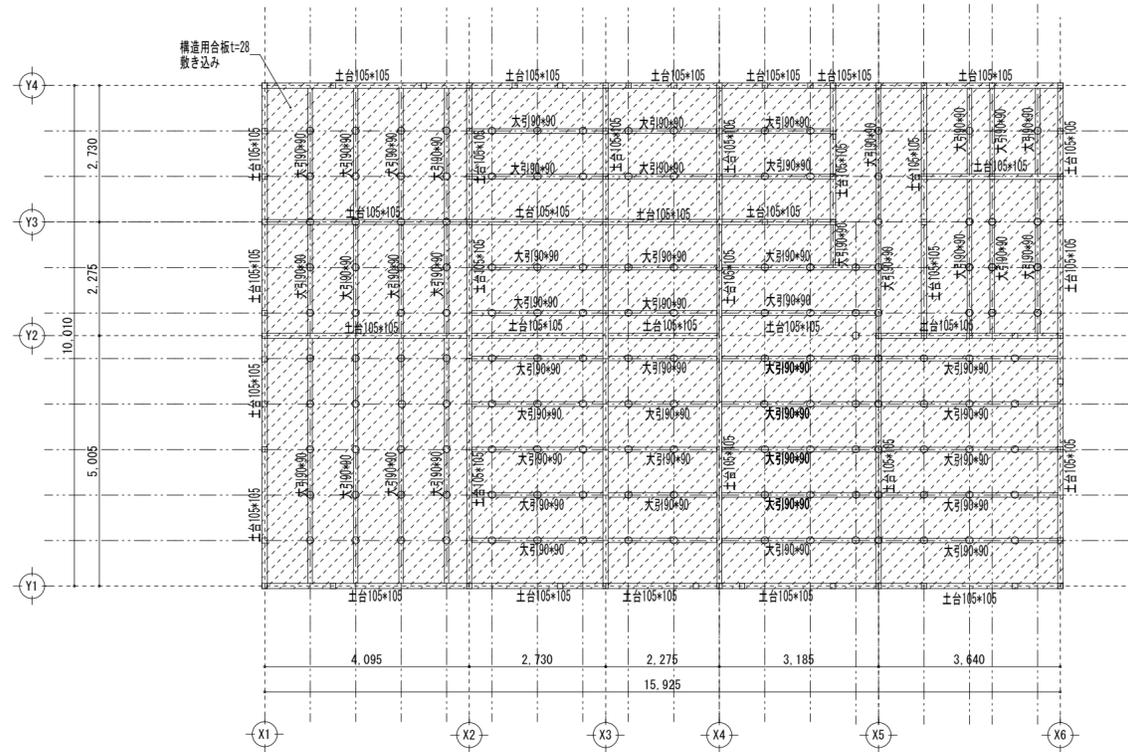


柱伏図 1/100

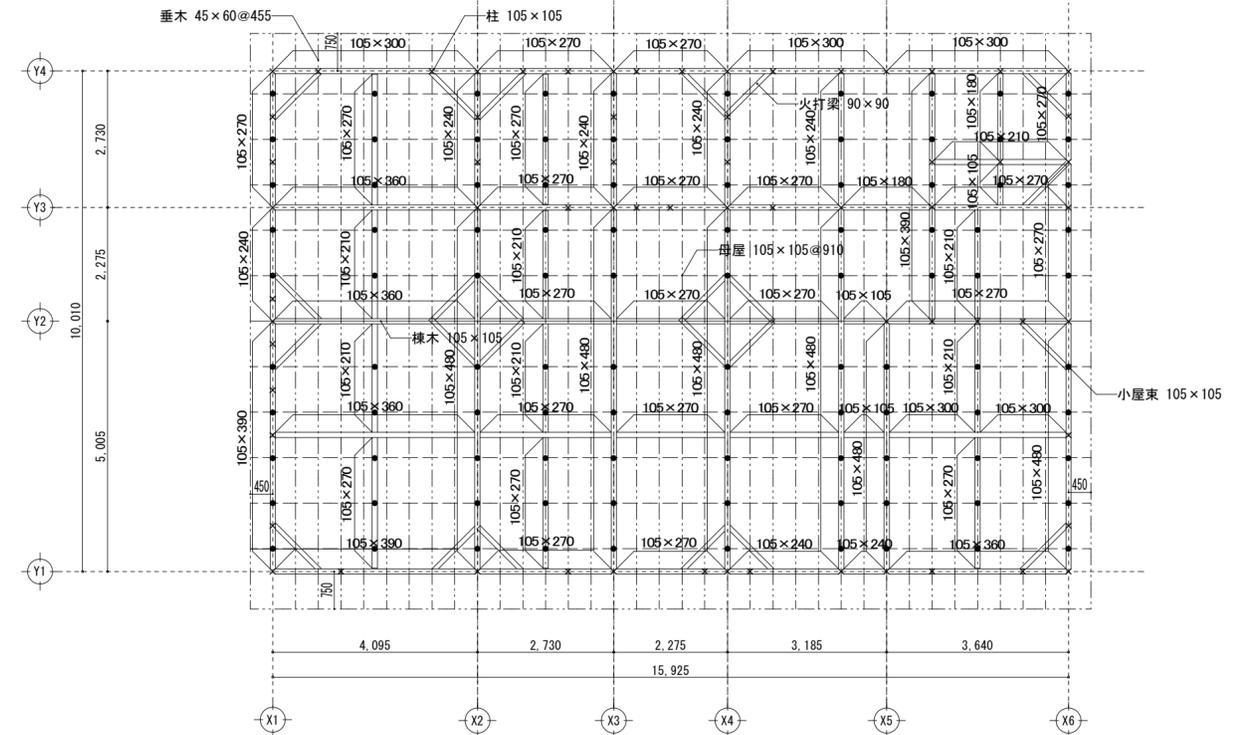
注記 布基礎の立上りは周囲の地盤面より300以上とする。  
布基礎の掘入れ深さは周囲の地盤面より240以上とする。

基礎伏図 (布基礎) 1/100

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1:100	1:30 SCALE	1:100 SCALE		野中建築設計事務所	
基礎伏図	基礎詳細図	柱伏図		1級建築士第147931号 野中健一	
DW.	CK.	DATE 07-02	NO. S-07	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20	
				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	



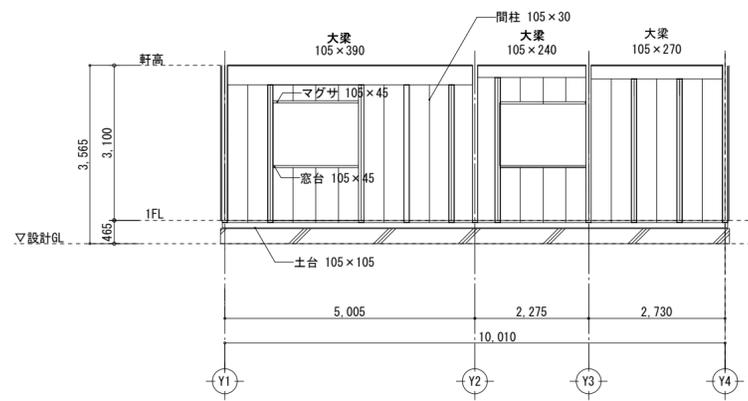
床伏図 1/100



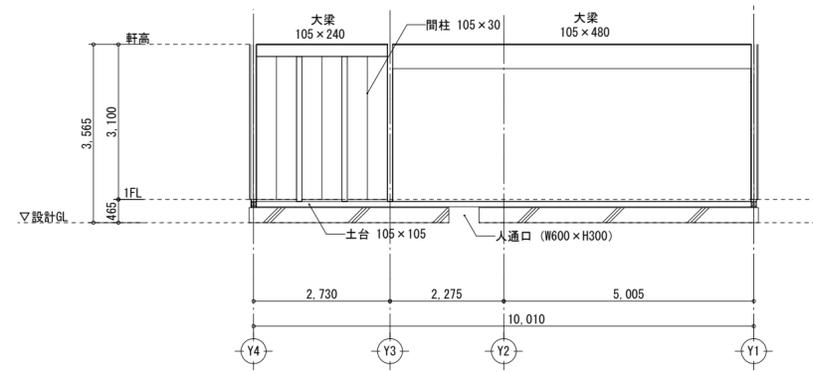
梁伏図兼小屋伏図 1/100

部位	樹種	等級	備考
柱	檜	KD	105角 3mもの
梁・桁	米松	KD	
小梁・頭繋ぎ	米松	KD	
母屋	米松	KD	
火打梁	米松	KD	
束	米松	KD	
筋違	米松	KD	
垂木	米松	KD	
鼻隠し・ケラバ	米松 14x180	KD	
羽縁	米松 15x45	KD	
野地板	構造用合板 t=12		
壁面材	構造用合板 t=9 耐水仕様		
内壁下地	PG-G t=12.5		
特記事項			
断面、長さは伏図参照			

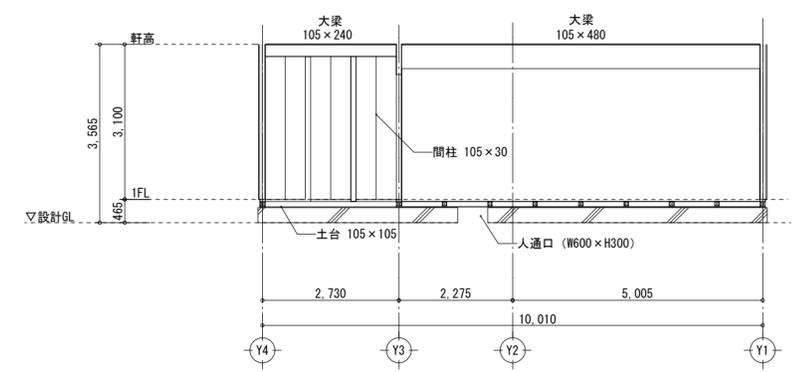
令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事			設計・監理 一級建築士事務所
1:100 SCALE			SCALE
床伏図	梁伏図兼小屋伏図	SCALE	野中建築設計事務所
DW.	CK.	DATE 07-02	1級建築士第147931号 野中健一
		NO. S-08	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



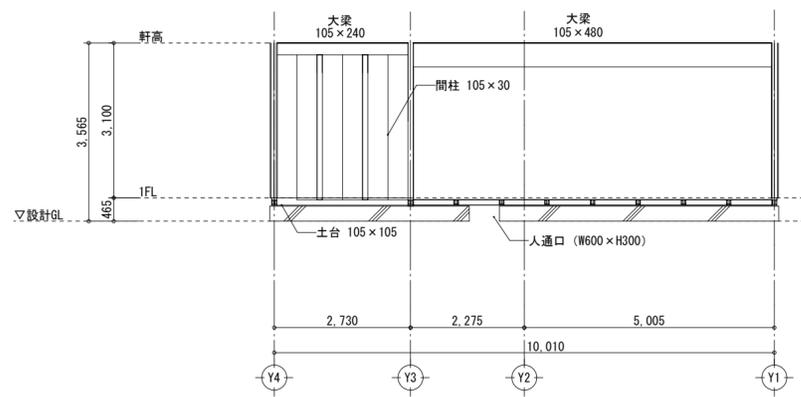
X1木造軸組図 1/100



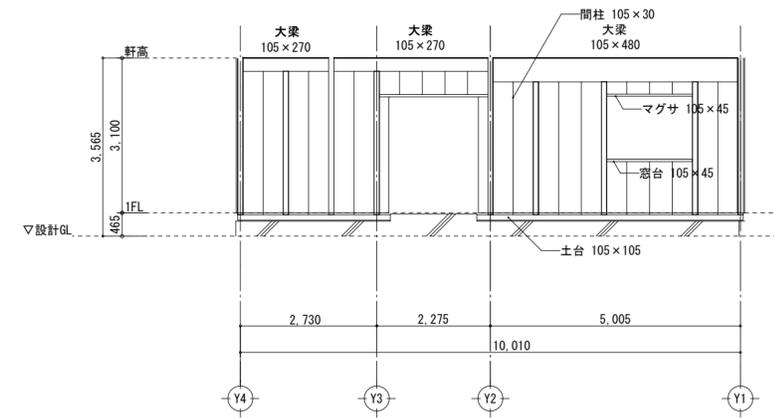
X2木造軸組図 1/100



X3木造軸組図 1/100



X4木造軸組図 1/100



X6木造軸組図 1/100

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1:100 SCALE SCALE SCALE

軸組図1

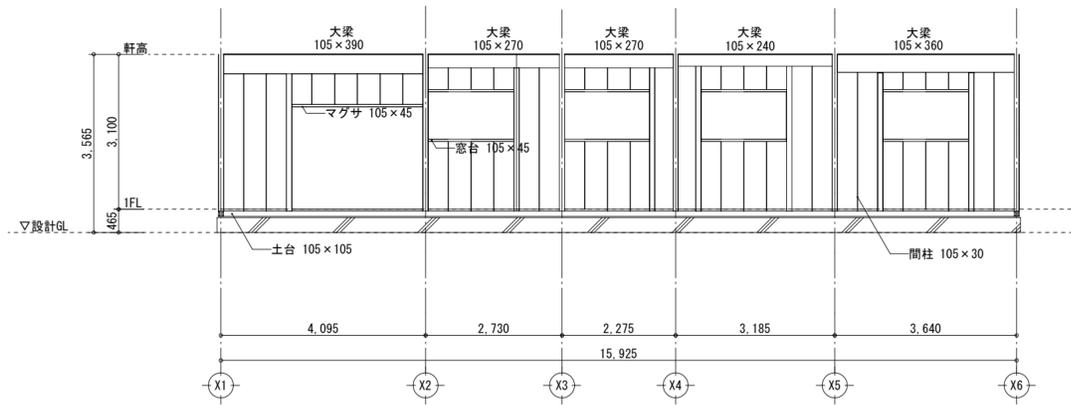
DW. CK. DATE 07-02 NO. S-09

設計・監理 一級建築士事務所

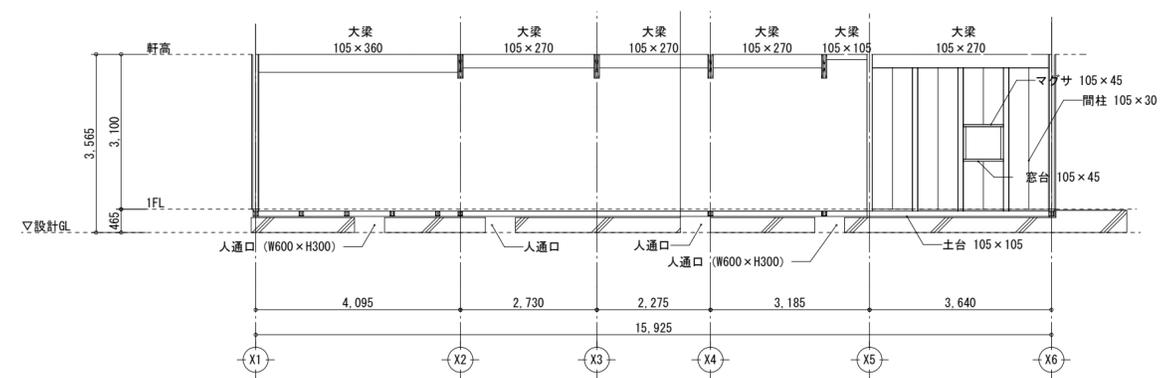
野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

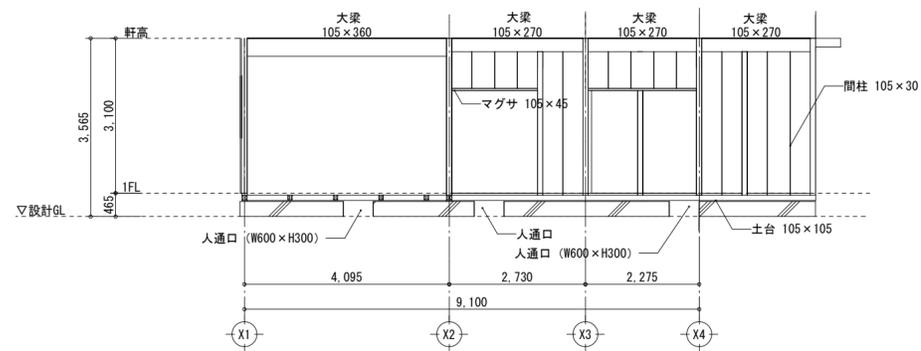
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



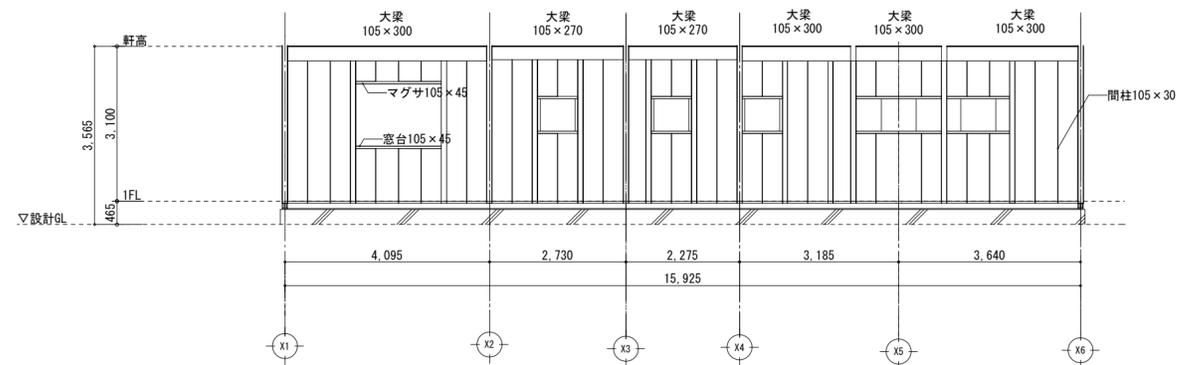
Y1木造軸組図 1/100



Y2木造軸組図 1/100



Y3木造軸組図 1/100



Y4木造軸組図 1/100

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

設計・監理 一級建築士事務所

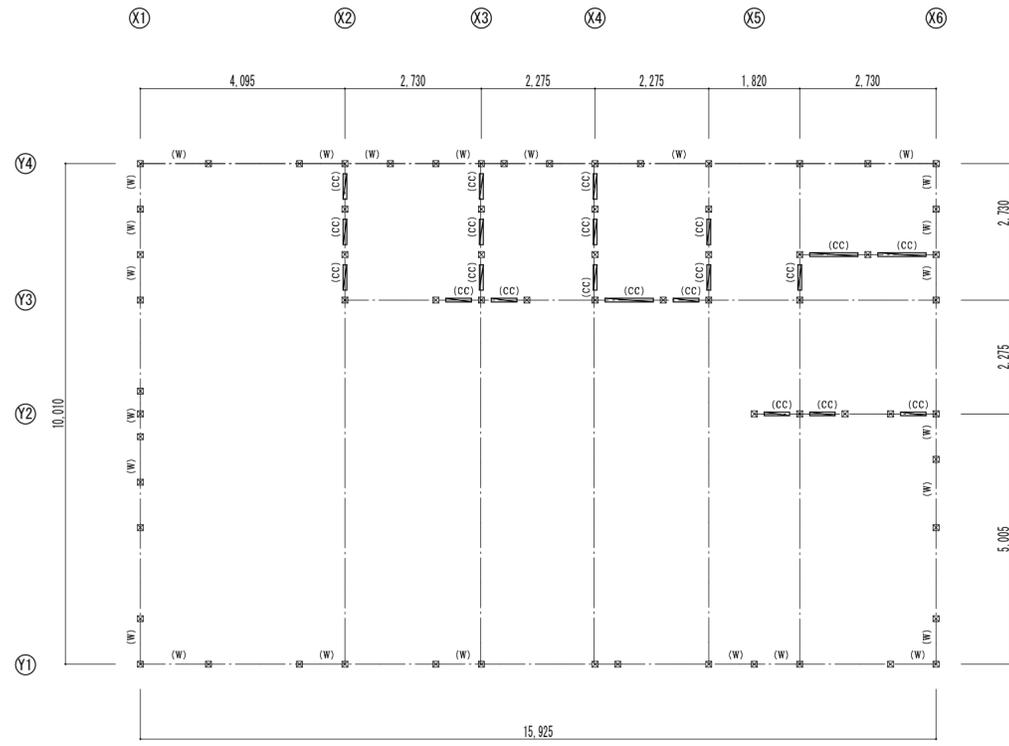
1:100 SCALE SCALE SCALE  
軸組図2

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

DW. CK. DATE 07-02 NO. S-10

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



耐力壁・金物伏図 1/100

Zマーク表示金物又は同等認定金物を使用	
柱頭、柱脚金物は同じとする	
特記無き場合は、すじかい付き管柱の柱頭、柱脚にCP-L (ろ) 以上を取り付ける	
柱脚方向を示す	柱頭方向を示す
1階より2階柱脚金物が大きい場合は、1階柱頭金物として取り付ける	
	通し柱 105×105
	管柱 105×105
アンカーボルトは筋違いつけ柱には200mm以内に設置すること(隅柱には120mm内外)	
ホールダウン金物取り付け部のアンカーボルトはA-60、70 (M16) 設置	
筋違いつけ部、その他 @1,800内外 (M12) 設置	
*ホールダウン金物は直接基礎に埋め込む。但し、10kN用は土台アンカーとしても良い(土台105角)	
基本的に筋違端部には筋違プレートを取り付ける	

耐力壁の仕様

略称	壁倍率	筋かい区分	仕様
K	0.50		木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面に打ち付けた壁を設けた軸組
KK	1.00		木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の両面に打ち付けた壁を設けた軸組
A	1.00		厚さ1.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かい又は径9mm以上の鉄筋の筋かいを入れた軸組
B	1.50		厚さ3cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
KA	1.50		木ずり+厚さ1.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
KB	2.00		木ずり+厚さ3.0cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
AA	2.00		厚さ1.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けした軸組又は径9mm以上の鉄筋の筋かいをたすき掛けに入れた軸組
C	2.00		厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
W	2.50		構造用合板等を昭和56年国土交通省告示第1100号別表第1(一)項又は(二)項に定める方法で打ち付けた壁を設けた軸組
KC	2.50		木ずり+厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
KA A	2.50		木ずり+厚さ1.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組
BB	3.00		厚さ3.0cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組
D	3.00		厚さ9cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
KBB	3.50		木ずり+厚さ3cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組
KD	3.50		木ずり+厚さ9cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
CC	4.00		厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組
WB	4.00		構造用合板+厚さ3cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
KCC	4.50		木ずり+厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組
WC	4.50		構造用合板+厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
DD	5.00		厚さ9cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組
WCC	5.00		構造用合板+厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組
KDD	5.00		木ずり+厚さ9cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組

接合部の仕様 (告示表三に対応)

略称	Nの値	告示表三	必要耐力 kN	金物等 (これらと同等以上の接合方法を含む)
S-HOZO	0.0 以下	(い)	0.0	短ぼぞ差し、かすがい打又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
CP-L	0.65 以下	(ろ)	3.4	長ぼぞ差し込み栓打若しくは、L字形かど金物くぎCN65×5本
CP-T	1.0 以下	(は)	5.1	T字形かど金物くぎCN65×5本、山形プレート金物くぎCN90×8本
HAGOITA	1.4 以下	(に)	7.5	羽子板ボルトφ12mm、短冊金物
HAGOITA-S	1.6 以下	(ほ)	8.5	羽子板ボルトφ12mmに長さ50mm径4.5mmのスクリー釘
SHD-10	1.8 以下	(へ)	10.0	10kN用引き寄せ金物
SHD-15	2.8 以下	(と)	15.0	15kN用引き寄せ金物
SHD-20	3.7 以下	(ち)	20.0	20kN用引き寄せ金物
SHD-25	4.7 以下	(り)	25.0	25kN用引き寄せ金物
SHD-30	5.6 以下	(ぬ)	30.0	30kN用引き寄せ金物
	5.6 超	-	N×5.3	N×5.3以上となる金物を使用する
2-(SHD-15)	5.6 以下	(ぬ)	30.0	15kN用引き寄せ金物を2組用いたもの

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1:100 SCALE	SCALE	SCALE	SCALE
耐力壁・金物伏図			
DW.	CK.	DATE	NO.
		07-02	S-11

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

電気設備工事特記仕様書 No.1

【工事概要】

- 1 工事場所 京都府船井郡京丹波町大朴口塩谷54番地19
2 建物概要 放課後児童クラブ

Table with 7 columns: 建物名, 構造, 階数, 延床面積, 消防法令別表第一耐震安全性の分類, 備考. Row 1: のびのび2組, 木造, 平家, 159.40m2, O甲 O乙, 工事区分を記載例:新窓

3 工事科目 ●印をついたものを適用し、各一式とする。

Table with 5 columns: 工事科目, 建物名称, のびのび2組, 〇, 〇. Lists various electrical and mechanical items like lighting, power, and communication equipment.

【特記事項】

- 1 一般事項
1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）最新版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版」による。
2) 工事項目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
2 特記事項
項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

Main specification table with columns: 章, 項目, 特記事項. Contains detailed technical requirements for equipment, materials, and construction methods.

Main specification table with columns: 章, 項目, 特記事項. Contains detailed technical requirements for equipment, materials, and construction methods.

Main specification table with columns: 章, 項目, 特記事項. Contains detailed technical requirements for equipment, materials, and construction methods.

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20

TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

電気設備特記仕様書(NO-1)

DW. CK. DATE 07-02 NO. E-01

電気設備工事特記仕様書 No.2

章	項目	特記事項
電力行蔵設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○直流電源装置	用途 ○建築基準法用 ○消防法用 ○受変電設備専用 その他 ○過放電防止保護装置(直流不足電圧継電器)の設定電圧は、90Vとする。
発電設備	○交流無停電電源装置(UPS)	用途 ( ) 方式 ○一般形 ○簡易形
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○形式	○オープン形 ○簡易形 ○キュービクル
	○連続運転可能時間	○10時間(乙) ○72時間(甲) ○
	○発電機	電気方式 三相3線式 電圧 ○210V ○6.6kV ○415V 定格出力 kVA以上 力率 0.8
	○原動機	種別 ○ガスタービン ○ディーゼル機関 ○ガスエンジン ○マイクロガスタービン ○燃料電池 ○コージェネレーション 定格出力 kW(PS)以上 始動方式 ○電気式 ○空気式 冷却方式 ○ラジエーター式 ○水循環式 現地負荷試験 ○行う ○行わない
	○燃料	種類 ○重油 ○軽油 ○灯油 ○ガス( ) ○燃料小出槽 汚 ○主燃料槽 汚
	○監視方式	○警報盤による代表監視 ○中央監視盤による監視
	○太陽光発電装置	太陽電池 アレイ 公称最大出力 kW以上 設置可能建築面積 m <sup>2</sup> 以下(長辺 m x 短辺 m) 系統連系 ○受動 ○能動 パワーコンディショナ出力 相 線式 V kW以上 逆潮流 ○有 ※無 交流出力電圧 ○100V ○200V 出力電気方式 ○三相3線式 ○単相3線式 ○単相2線式
	○外部移相	○有 ○無
通信設備	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付(モジュラージャックのみ)
	●施工方法	○金属管配線 ●ケーブル配線 ●合成樹脂管配線
構内交換設備	●工事範囲	●配管 ○配線 ○機器取付
	○保安器用接地	○本工事 ○別途工事
情報表示設備	○形式	○電子交換機 ○ボタン電話装置
	○工事種類	○マルチサイン装置 ○出退表示設備 ○時刻表示設備
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
設備若器	○親時計及び付属装置	○CR -P M ○CW -P M ○プログラムタイマ(○カード式 ○キー式 ○ )
	○子時計	特記なきものは ○SWA <sub>33</sub> -G <sub>2</sub> ○
拡声設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○施工方法	○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線
誘導支援設備	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付 ●既設設備に接続
	○増幅器	用途 ●全館放送用(○一般放送 ●非常放送) ○ローカル放送用 ●自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。
	○スピーカ	特記なきものは ○SC <sub>2</sub> Hi-1V <sub>3</sub> -M ●要図参照
テレビ共同受信設備	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	●工事内容	○音声誘導装置 検出方式 (○磁気式 ○無線式 ○画像認識) ○インターホン ○電話式 ○相互式 ●テレビインターホン ●親機に子機カメラ角度調整機能(上下)を設ける。 ●同時通話 ●トイレ等呼出し装置 ●1窓 ○3窓 ○5窓 ○ ●要図参照 呼出しボタン ○壁付ボタン(フリスウィッチの長さは0.2m程度とする) ○壁付撥りボタン(撥りボタンの長さは1.2m程度とする) ○通話機能 ○受付呼出し装置 ○誘導音
	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	●アンテナ	○UHF用 ○BS用 ○CS用 ○AM用 ○FM用 ●既設設備に接続
	○アンテナマスト	○壁面取付形 ○自立形 ○配管用ステンレス鋼管 ○一般構造用炭素鋼管(溶融亜鉛メッキ仕上げ) ○圧力配管用炭素鋼管(溶融亜鉛メッキ仕上げ)
○電界強度測定	電界強度及び面質は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。	

章	項目	特記事項
監視カメラ	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	●画像	●カラー ○白黒 ●要図参照
監視カメラ	○伝送方式	○ネットワーク伝送方式 ○デジタル同軸伝送方式 ○
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
管理・入退室	○車両検出方式	○ループコイル方式 ○光線方式
	○工事種類	○機械警備用配管 ○防犯装置 ○入退室管理制御装置
火災	○自動火災報知装置	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付
	○受信機	○形 級 回線 ○壁掛形 ○自立形 ○単独形 ○複合形 ○副受信機 窓 ○盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。
	○光警報装置	○
	○消火ポンプ始動	○消火栓箱内押ボタン ○発信機と連動(総合盤に始動表示灯を設ける。)
	○機器収容箱	○消火栓一体形 ○単独形
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○運動制御器	回線 【予備電源(蓄電池)内蔵】 ○単独 ○自火報受信機と一体
	○自動閉鎖装置	○防火戸用【DC24V 0.6A以下電磁式またはラッチ式】 ○防煙ダンパ用 【別途工事 縦時通電式又は電動式 DC24V 0.6A以下 遠方復帰機構(電動式) DC24V 0.7A以下】 ○防火シャッター用 【別途工事 DC24V 0.6A以下】
	●非常警報装置	●工事範囲 ●配管 ●配線 ●機器取付 ○電気方式 DC24V ●電源装置 ●非常電源(蓄電池) ○自動火災報知設備と兼用
	○ガス漏れ火災警報装置	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○受信機 ○単独形 ○自火報受信機と一体 ○ガスの種類 ○都市ガス(13A) ○液化石油ガス
○諸警報表示	受信機に諸警報表示窓(窓)を設ける。	
中央監視	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○監視方式	○警報盤 ○監視制御装置
医療関係設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○非接地電源用分電盤	キャビネット ○鋼製 ○ステンレス製
構内	○ナースコール装置	トイレ及び浴室等の呼出押ボタン ○有線式 ○無線式 ○防滴 ○防湿
	○その他	○オプション等の試験は、監督職員の指示による。
配線	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	●電気方式	高圧 ○三相3線式 6kV 低圧 ●三相3線式 200V ○ ●単相3線式 100/200V ○単2線式 (○100V ○200V)
	●ふ設方式	●地中線 ●管路式 ●波付硬質合成樹脂管(FEP) ○ポリエチレン被覆管(PLP) ○埋設深さ 特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装下面)から300mm以上とする。 ○架空線 電柱 ○通心カプレストレストコンクリートポール
	○区分開閉器	○高圧負荷開閉器 7.2kV 300A 用途 ○架空引込用 ○地中引込用 構 ○耐中塩じん用 ○耐重塩じん用 形式 ○引外し装置付き(SOG形) ○引外し装置なし ○避雷器内蔵 ○制御電源用変圧器内蔵
	●マンホール及びハンドホール	構造・寸法 ○標準図による ●図示による。 蓋の文字 ●蓋の用途表示は電力とする。○ ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。
	○高圧ケーブル	屋外に使用する高圧ケーブルはEM-高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル(3層押出型)」に(※よる ○よらない)
	○余長	高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。
	○端子、高圧ケーブル端未処理	○一般用 ○耐塩用 ○重耐塩用
	○避雷器	○屋外形 ○耐塩形
	○装柱材	○一般用 ○耐塩形
○外灯	基礎 ○本工事 ○別途工事 ○外灯ボールの材質が鋼製(SPC)の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。	
構内通信線路	●工事範囲	●配管 ●配線 ○機器取付
	●ふ設方式	●地中線 ●管路式 ●波付硬質合成樹脂管(FEP) ○ポリエチレン被覆管(PLP) ○埋設深さ 特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装(表層)下面)から300mm以上とする。 ○架空線 電柱 ○通心カプレストレストコンクリートポール
●マンホール及びハンドホール	構造・寸法 ○標準図による ●図示による。 蓋の文字 ●蓋の用途表示は通信とする。○ ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。	

章	項目	特記事項
調査	○調査範囲	○測定のみの ○対策工事実施設計書作成まで
	○測定時期	○工事前 ○工中 ○完成後
	○測定箇所	箇所
	○測定内容	受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。

別表 1 付属品・予備品

○イージーキャビネット	箱	○キーボックス	○テスター	○マンホールフック
○工具箱(ドライバー、モンキーレンチ、組スバナー、ハンマー)				
受変電設備・盤	ランプ及びヒューズの予備品は、20%とする。			

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

NON SCALE

SCALE

SCALE

DW.

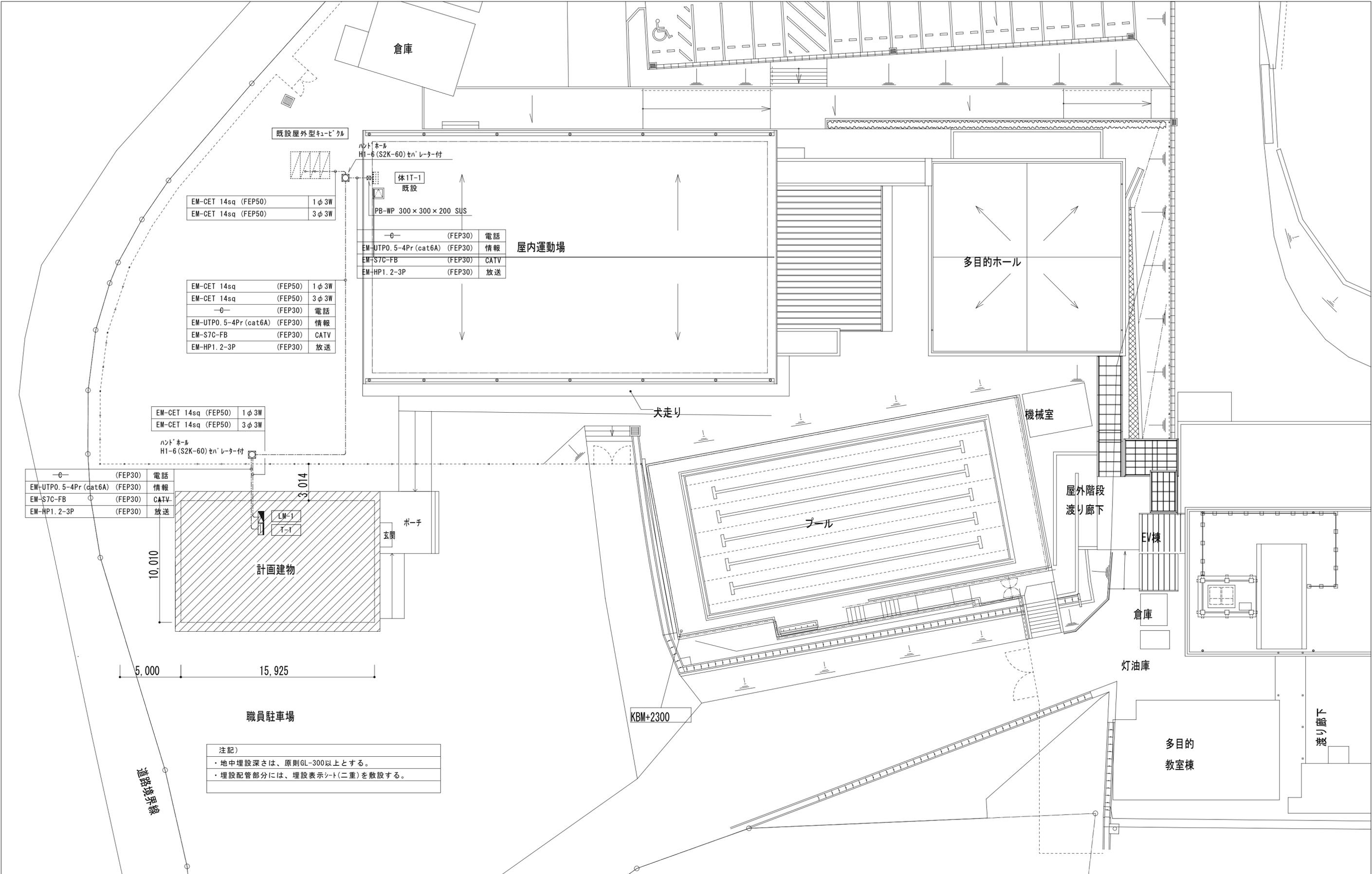
CK.

DATE

07-02

NO.

E-02



EM-CET 14sq (FEP50)	1φ3W
EM-CET 14sq (FEP50)	3φ3W

EM-CET 14sq (FEP50)	1φ3W
EM-CET 14sq (FEP50)	3φ3W
—G— (FEP30)	電話
EM-UTP0. 5-4Pr (cat6A) (FEP30)	情報
EM-S7C-FB (FEP30)	CATV
EM-HP1. 2-3P (FEP30)	放送

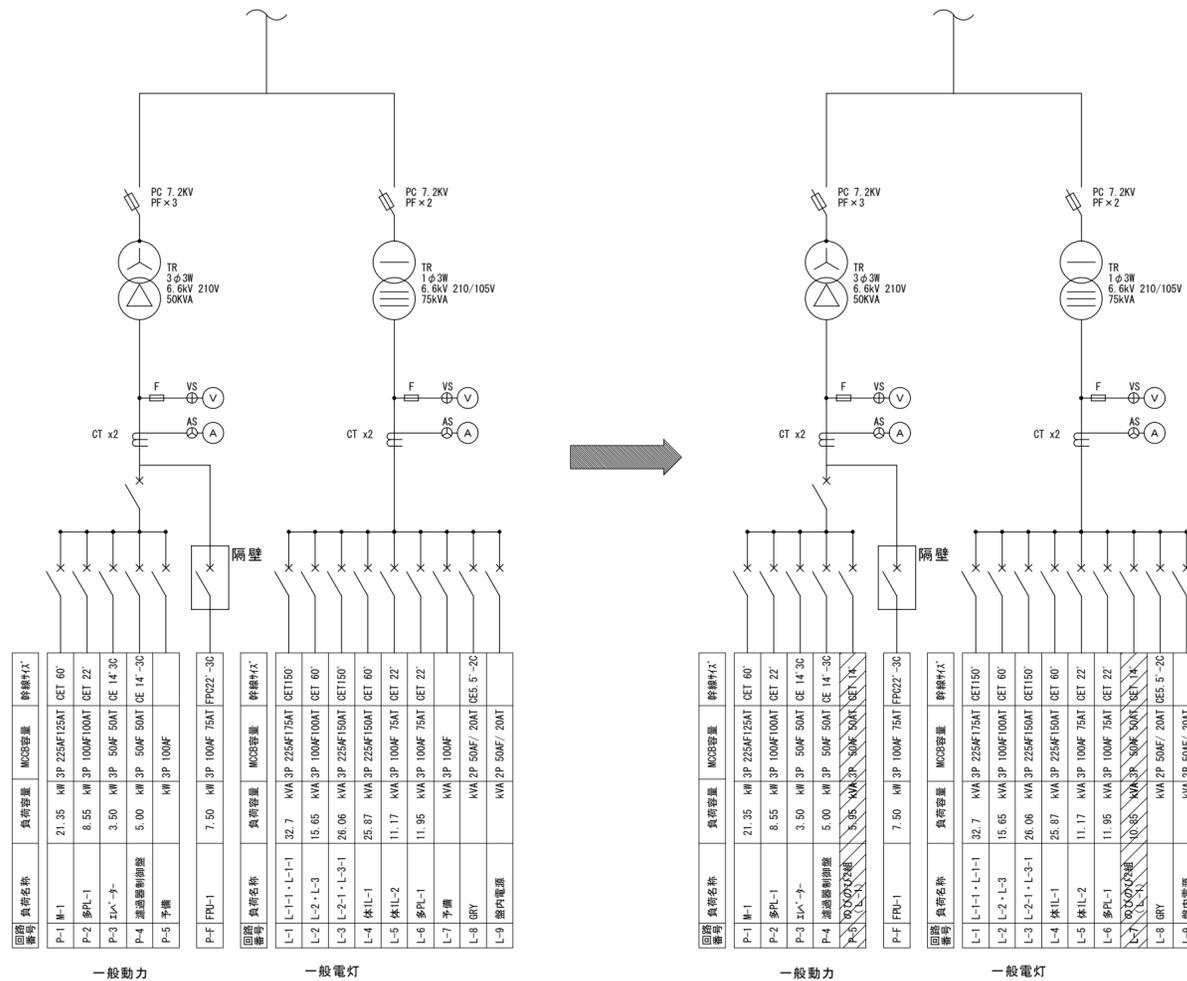
EM-CET 14sq (FEP50)	1φ3W
EM-CET 14sq (FEP50)	3φ3W

—G— (FEP30)	電話
EM-UTP0. 5-4Pr (cat6A) (FEP30)	情報
EM-S7C-FB (FEP30)	CATV
EM-HP1. 2-3P (FEP30)	放送

注記)
・地中埋設深さは、原則GL-300以上とする。
・埋設配管部分には、埋設表示シート(二重)を敷設する。

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事 1/200 SCALE SCALE SCALE SCALE				設計・監理 一級建築士事務所 <b>野中建築設計事務所</b> 1級建築士第147931号 野中健一 〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408
DW.	CK.	DATE 07-02	NO. E-03	

既設屋外型キュービク改修図



既設受変電設備低圧盤

改修受変電設備低圧盤

改修内容

- 既設キュービク内電灯低圧盤の(L-7)の既設開閉器MCCB3P100AFをMCCB3P50AF50ATに取替え放課後児童クラブ用電源とする。
- 既設キュービク内動力低圧盤の(P-5)の既設開閉器MCCB3P100AFをMCCB3P50AF50ATに取替え放課後児童クラブ用電源とする。

盤名称	幹線記号 回路種別	回路構成及び 主開閉器容量	回路	開閉器容量	電圧	負荷名称	負荷容量 (VA)				リモコン リレー	備考	
							電灯	差込	空調換気	専用負荷			合計
LM-1 屋内 壁掛型	3φ3W 210V 60Hz (P-5)	X	○	ELCB3P50/40A	200	学習室17コン				5950			
				非	MCCB2P1E30/20A	100	非常警報				100		
	1φ3W 210/105V 60Hz (L-7)	○	X	○	MCCB3P 50AF 50AT	100	101 ELCB2P2E30/20A	100	学習室	630		400	
					102 ELCB2P2E30/20A		100	倉庫・便所・玄関・外部	120		400		
					301 ELCB2P2E30/20A		100	事務室		500			
					302 MCCB2P1E30/20A		100	事務室		400			
					303 MCCB2P1E30/20A		100	学習室		300			
					304 MCCB2P1E30/20A		100	学習室・倉庫		400			
					305 MCCB2P1E30/20A		100	学習室・玄関		300			
					306 ELCB2P2E30/20A		100	多目的便所			1200		
					307 ELCB2P2E30/20A		100	男子便所			600		
					308 ELCB2P2E30/20A		100	女子便所			600		
					309 ELCB2P2E30/20A		100	17コン			1000		
					310 MCCB2P1E30/20A		100	17コン			1000		
					311 ELCB2P1E30/20A		100	排水ポンプ制御盤			800		
					312 MCCB2P1E30/20A		100	端子盤			200		
	313 MCCB2P1E30/20A	100	予備										
	314 MCCB2P1E30/20A	100	予備										
	401 ELCB2P2E30/20A	200	電気温水器				2000						
	402 MCCB2P2E30/20A	200	予備										
	AC回路計							750	1,900	800	7,400		合計 10,850 VA

A	B	C
<p>iDシリーズ埋込型40形 下面開放型 W150</p> <p>公共施設型番 LRS6-4-65</p> <p>一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力4.3、1W、定格出力型、電圧100~242V 本体：亜鉛鍍金 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命4000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>パナソニック 埋込XLX460PENTLE9</p>	<p>iDシリーズ埋込型40形 下面開放型 W150</p> <p>公共施設型番 LRS6CGA-4-25</p> <p>一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力2.0、6W、定格出力型、電圧100~242V 本体：亜鉛鍍金 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命4000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>パナソニック 埋込XLX430PENTLE9</p>	<p>LEDスクエアベースライト 埋込型</p> <p>公共施設型番 LRS9-4-45</p> <p>□450、乳白パネル、調光可能タイプ（約10~100%） 定格出力型、消費電力3.4W、電圧100~242V 光束維持率4000時間（光束維持率85%） 本体・反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） パネル：ポリカーボネート（乳白） 昼白色、5000K、Ra83</p> <p>パナソニック 埋込XL573PFVKLA9</p>
<p>D ダウンライト 60形</p> <p>公共施設型番 LRS1-05</p> <p>LED内蔵&lt;ワンコア（ひと粒）タイプ&gt;、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra83、拡散タイプ 光源光束15度、光束維持率4000時間（光束維持率85%） 器具光束610lm、消費電力4.2W、電圧：100~242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ホワイトつや消し仕上げ） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上げ）、埋込径φ100</p> <p>パナソニック ダウンライトXND0639WNLE9</p>	<p>E LEDキッチンライト20形直管蛍光灯1灯器具相当</p> <p>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束980lm、消費電力12W、電圧100V 拡散タイプ、コンセント付 カバー：プラスチック（乳白） 防雨型、ツマミネジ方式、壁直付型、拡散タイプ アルミダイカスト（オフブラック）、カバー：アクリル（乳白） W=225 H=225 出ししろ115</p> <p>パナソニック LGB52096LE1</p>	<p>F プラケット 60形電球1灯相当</p> <p>LEDフラットランプφ70 クラス700 1灯（口金GX53-1） 昼白色（5000K）、Ra83、光源寿命4000時間（光束維持率70%） 器具光束420lm、消費電力7.7W、電圧100V 防雨型、ツマミネジ方式、壁直付型、拡散タイプ アルミダイカスト（オフブラック）、カバー：アクリル（乳白） W=225 H=225 出ししろ115</p> <p>パナソニック プラケットXLGE8031CE1</p>

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

NON SCALE SCALE SCALE  
盤単線結線図・照明器具姿図

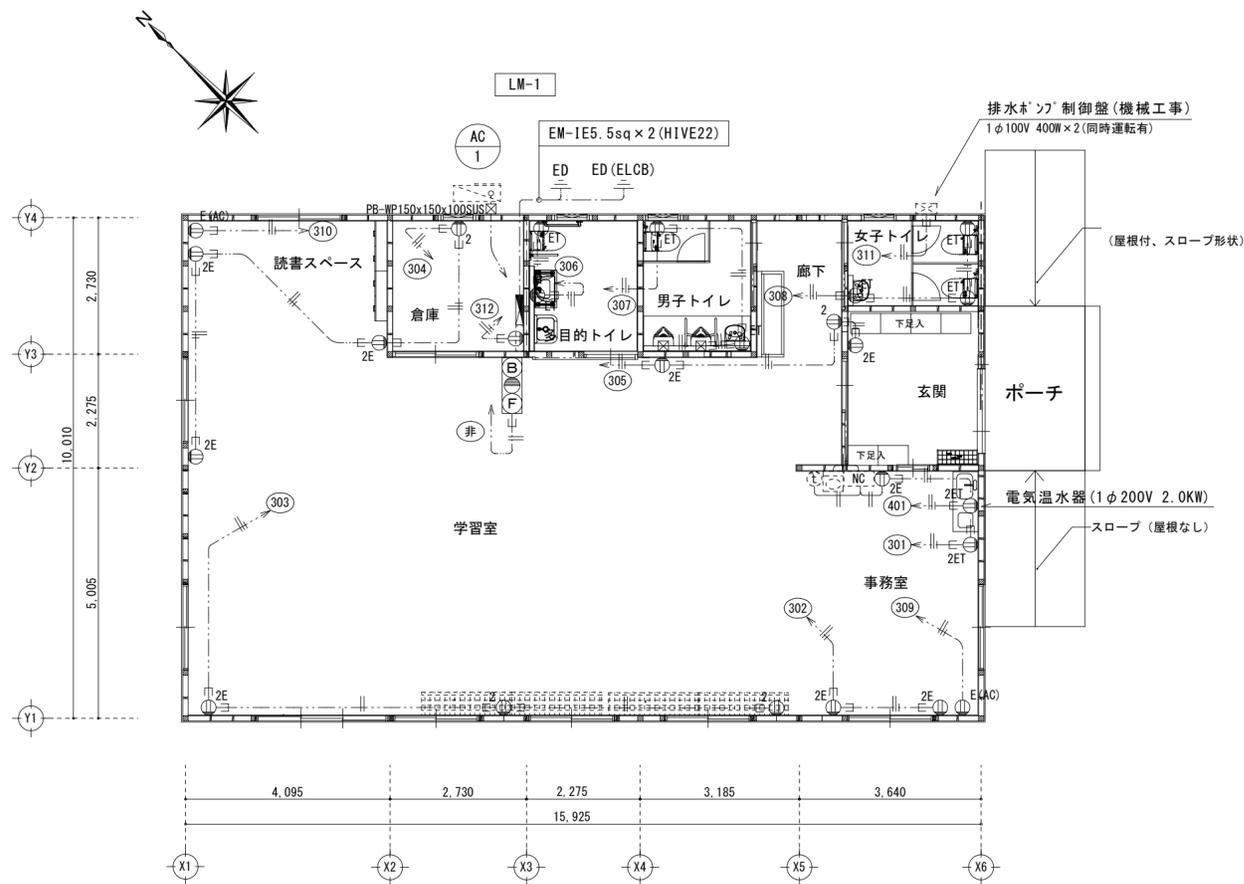
DW. CK. DATE 07-02 NO. E-04

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-2-0  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



延べ床面積 159.40㎡

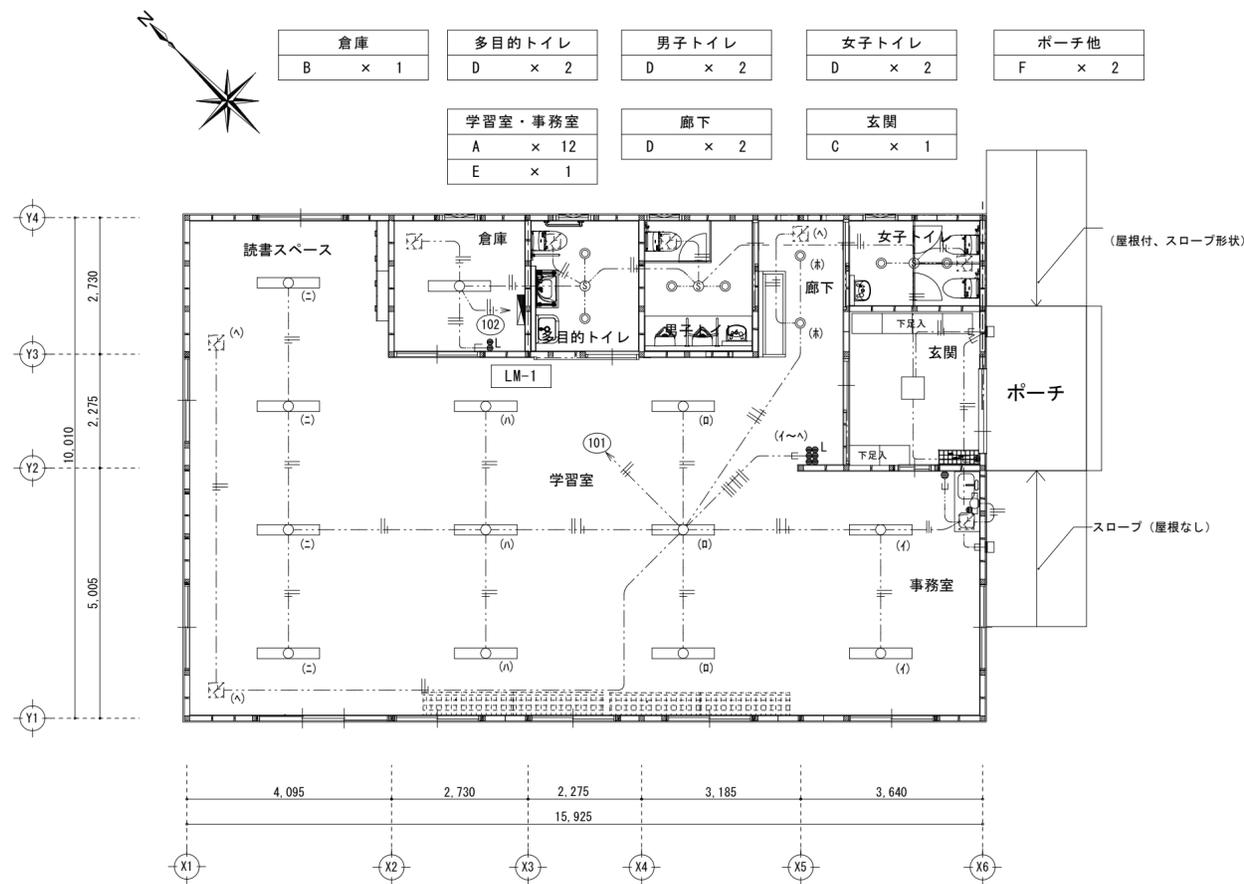
平面図 1/100

注記) 明記なき配管配線は、下記に準ずる。

コンセント設備		
---	EM-EEF 2.0-2C	(天井内コカシ)
---	EM-EEF 2.0-3C(1E)	(天井内コカシ)
---	EM-EEF 2.0-2C	(PF22) 隠蔽

・二重天井内はケーブルコカシ工事とし、壁面立下がり、立ち上がり部分は適合PF管にて保護する事。

機器名称	電源種別・容量及び配管配線
AC 1	空冷ヒートポンプパッケージエアコン 3φ200V 5.95KW 18.2A(MAX33.7A) EM-CE 5.5sq-4C(1E) (G22)(F <sub>2</sub> 24WP)(天井コカシ)



延べ床面積 159.40㎡

平面図 1/100

注記) 明記なき配管配線は、下記に準ずる。

電灯設備		
---	EM-EEF 1.6-2C	(天井内コカシ)
---	EM-EEF 1.6-3C	(天井内コカシ)
---	EM-EEF 1.6-2C×2+3C	(天井内コカシ)
---	EM-EEF 1.6-3C(1E)	(天井内コカシ)
---	EM-EEF 1.6-2C×2(1E)	(天井内コカシ)

・分電盤より第1ボックスまでは2.0mmとする。  
・二重天井内はケーブルコカシ工事とし、壁面立下がり、立ち上がり部分は適合PF管にて保護する事。

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1/100 SCALE

幹線動力・コンセント・非常警報・電灯設備図

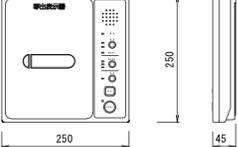
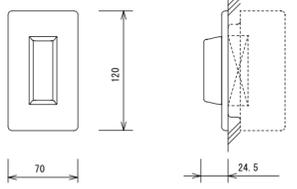
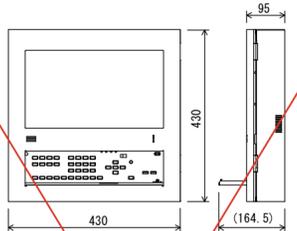
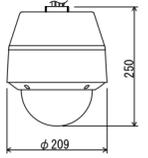
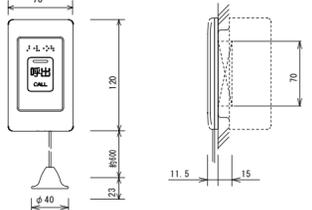
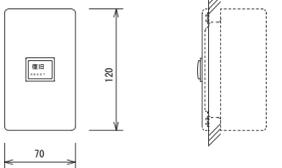
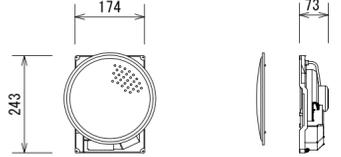
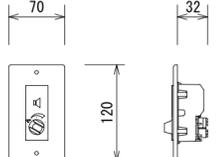
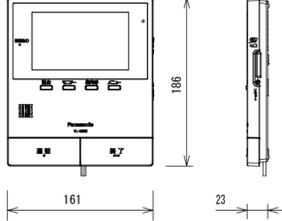
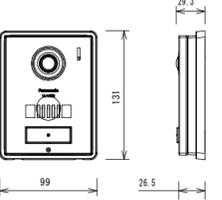
DW. CK. DATE 07-02 NO. E-05

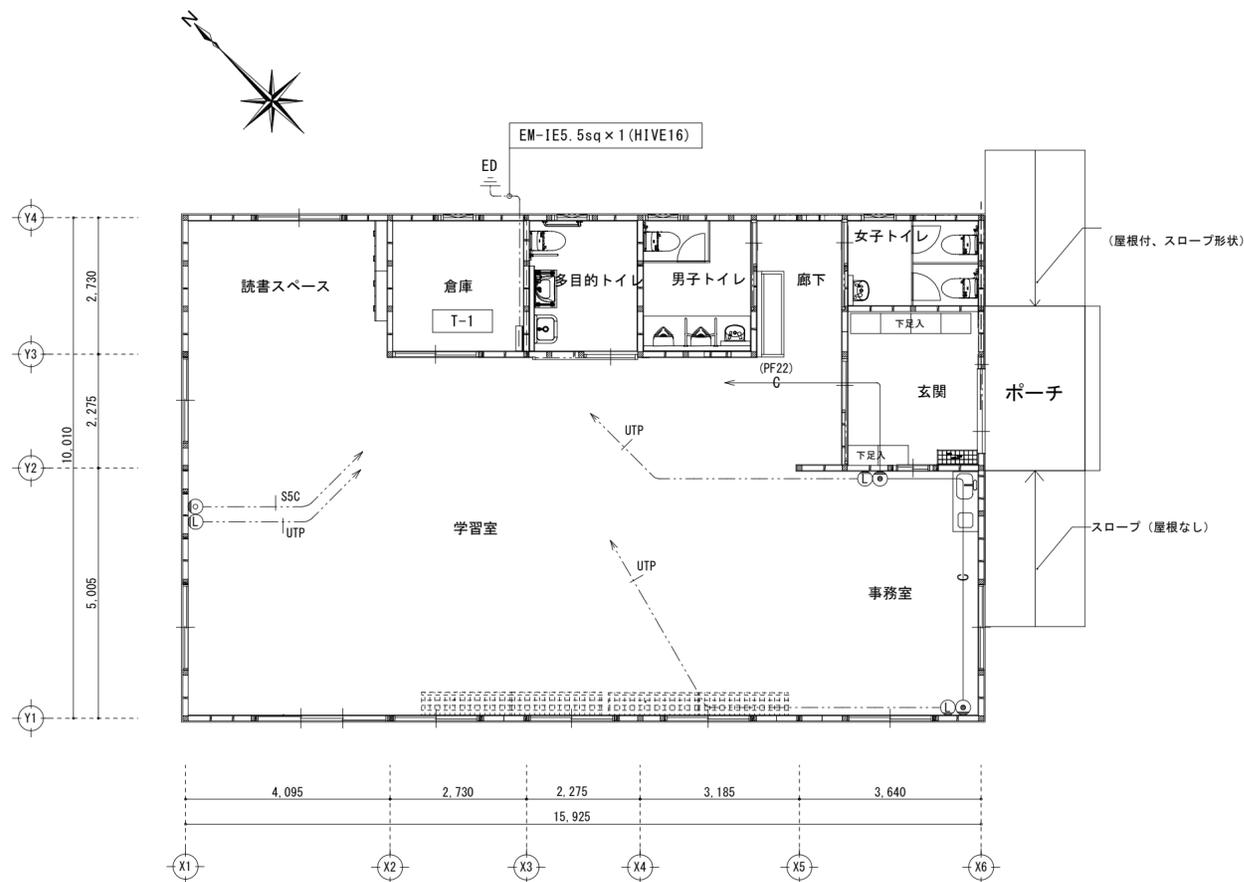
設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

<p>呼出表示器・壁掛形 (1窓) 1RP-1B</p>  <table border="1"> <tr><td>形状</td><td>壁掛形</td></tr> <tr><td>材質</td><td>カバー、ケース: AES樹脂, シャーシ: 鋼板製</td></tr> <tr><td>呼出表示灯</td><td>LED (赤)</td></tr> <tr><td>呼出音</td><td>電子メロディー (8種) / トレモロ音 / チャイム音</td></tr> <tr><td>呼出種別</td><td>一般呼出、緊急呼出</td></tr> <tr><td>操作スイッチ</td><td>復旧、呼出音停止、呼出音量、転送、設定</td></tr> <tr><td>電源</td><td>AC-GC100V 50/60Hz, 最大7W (待機時2W)</td></tr> <tr><td>備考</td><td>バラ表示 / 転送受入機能</td></tr> </table>	形状	壁掛形	材質	カバー、ケース: AES樹脂, シャーシ: 鋼板製	呼出表示灯	LED (赤)	呼出音	電子メロディー (8種) / トレモロ音 / チャイム音	呼出種別	一般呼出、緊急呼出	操作スイッチ	復旧、呼出音停止、呼出音量、転送、設定	電源	AC-GC100V 50/60Hz, 最大7W (待機時2W)	備考	バラ表示 / 転送受入機能	<p>代表廊下灯 BL-673U/8</p>  <table border="1"> <tr><td>形状</td><td>壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)</td></tr> <tr><td>プレート</td><td>ABS</td></tr> <tr><td>表示灯</td><td>表示灯カバー: ポリカーボネート LED, DC8V</td></tr> </table>	形状	壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)	プレート	ABS	表示灯	表示灯カバー: ポリカーボネート LED, DC8V	<p>壁掛型AHDレコーダー AH-R108PW2</p>  <table border="1"> <tr><td>電源</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>カメラ電源供給</td><td>定電圧直送方式 (NTSCカメラ/AHDカメラ)</td></tr> <tr><td>映像モニター</td><td>15.6型カラー液晶モニター</td></tr> <tr><td>画像圧縮方式</td><td>H.264 (MPEG-4 AVC)</td></tr> <tr><td>画像サイズ (解像度)</td><td>AHD方式: 1920x1080, 1280x720 NTSC方式: 944x480</td></tr> <tr><td>入力</td><td>カメラx8, 音声x8, センサーx8, 制御x3</td></tr> <tr><td>出力</td><td>HDMI (映像・音声出力), コントロールx8, 制御x3</td></tr> <tr><td>スポット出力</td><td>NTSCのライブ映像またはHDMI出力と同じ映像選択可</td></tr> <tr><td>RS-485端子</td><td>1系統</td></tr> <tr><td>記録メディア</td><td>ハードディスク 2TB (2TBx1)</td></tr> <tr><td>画面表示</td><td>1画面、4/6/9分割、シーケンス、他</td></tr> <tr><td>総線画レート</td><td>240 ips</td></tr> <tr><td>セキュリティ機能</td><td>ユーザーID (最大18名) とパスワード認証</td></tr> <tr><td>ネットワークソフト</td><td>最大64台のデジタルレコーダー遠隔監視可</td></tr> <tr><td>その他</td><td>プリ・ポスト・緊急録画、モーション検知、 メール送信、遠隔通知、即時、イベントポップアップ Webサーバー、マウス可、UPS連動</td></tr> </table>	電源	AC100V 50/60Hz	カメラ電源供給	定電圧直送方式 (NTSCカメラ/AHDカメラ)	映像モニター	15.6型カラー液晶モニター	画像圧縮方式	H.264 (MPEG-4 AVC)	画像サイズ (解像度)	AHD方式: 1920x1080, 1280x720 NTSC方式: 944x480	入力	カメラx8, 音声x8, センサーx8, 制御x3	出力	HDMI (映像・音声出力), コントロールx8, 制御x3	スポット出力	NTSCのライブ映像またはHDMI出力と同じ映像選択可	RS-485端子	1系統	記録メディア	ハードディスク 2TB (2TBx1)	画面表示	1画面、4/6/9分割、シーケンス、他	総線画レート	240 ips	セキュリティ機能	ユーザーID (最大18名) とパスワード認証	ネットワークソフト	最大64台のデジタルレコーダー遠隔監視可	その他	プリ・ポスト・緊急録画、モーション検知、 メール送信、遠隔通知、即時、イベントポップアップ Webサーバー、マウス可、UPS連動	<p>屋外AHDコンビネーションカメラ AH-C1701</p>  <table border="1"> <tr><td>電源</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>撮像素子</td><td>1/2.8型CMOS 213万画素</td></tr> <tr><td>カメラ出力</td><td>1系統 / AHD BNC</td></tr> <tr><td>AHD信号フォーマット</td><td>1920x1080 30p</td></tr> <tr><td>最低被写体照度</td><td>0.0001lx (50%, 白黒、他、換算値)</td></tr> <tr><td>カメラ制御</td><td>RS-485 / 同軸多重</td></tr> <tr><td>防塵・防水性能</td><td>IP66</td></tr> <tr><td>その他</td><td>プリセット数: 255 プライバシーマスク、 デナイト、電子ズーム1.2倍、 光学ズーム30倍</td></tr> </table>	電源	AC100V 50/60Hz	撮像素子	1/2.8型CMOS 213万画素	カメラ出力	1系統 / AHD BNC	AHD信号フォーマット	1920x1080 30p	最低被写体照度	0.0001lx (50%, 白黒、他、換算値)	カメラ制御	RS-485 / 同軸多重	防塵・防水性能	IP66	その他	プリセット数: 255 プライバシーマスク、 デナイト、電子ズーム1.2倍、 光学ズーム30倍
形状	壁掛形																																																																						
材質	カバー、ケース: AES樹脂, シャーシ: 鋼板製																																																																						
呼出表示灯	LED (赤)																																																																						
呼出音	電子メロディー (8種) / トレモロ音 / チャイム音																																																																						
呼出種別	一般呼出、緊急呼出																																																																						
操作スイッチ	復旧、呼出音停止、呼出音量、転送、設定																																																																						
電源	AC-GC100V 50/60Hz, 最大7W (待機時2W)																																																																						
備考	バラ表示 / 転送受入機能																																																																						
形状	壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)																																																																						
プレート	ABS																																																																						
表示灯	表示灯カバー: ポリカーボネート LED, DC8V																																																																						
電源	AC100V 50/60Hz																																																																						
カメラ電源供給	定電圧直送方式 (NTSCカメラ/AHDカメラ)																																																																						
映像モニター	15.6型カラー液晶モニター																																																																						
画像圧縮方式	H.264 (MPEG-4 AVC)																																																																						
画像サイズ (解像度)	AHD方式: 1920x1080, 1280x720 NTSC方式: 944x480																																																																						
入力	カメラx8, 音声x8, センサーx8, 制御x3																																																																						
出力	HDMI (映像・音声出力), コントロールx8, 制御x3																																																																						
スポット出力	NTSCのライブ映像またはHDMI出力と同じ映像選択可																																																																						
RS-485端子	1系統																																																																						
記録メディア	ハードディスク 2TB (2TBx1)																																																																						
画面表示	1画面、4/6/9分割、シーケンス、他																																																																						
総線画レート	240 ips																																																																						
セキュリティ機能	ユーザーID (最大18名) とパスワード認証																																																																						
ネットワークソフト	最大64台のデジタルレコーダー遠隔監視可																																																																						
その他	プリ・ポスト・緊急録画、モーション検知、 メール送信、遠隔通知、即時、イベントポップアップ Webサーバー、マウス可、UPS連動																																																																						
電源	AC100V 50/60Hz																																																																						
撮像素子	1/2.8型CMOS 213万画素																																																																						
カメラ出力	1系統 / AHD BNC																																																																						
AHD信号フォーマット	1920x1080 30p																																																																						
最低被写体照度	0.0001lx (50%, 白黒、他、換算値)																																																																						
カメラ制御	RS-485 / 同軸多重																																																																						
防塵・防水性能	IP66																																																																						
その他	プリセット数: 255 プライバシーマスク、 デナイト、電子ズーム1.2倍、 光学ズーム30倍																																																																						
<p>呼出押ボタン (引きひも付) BT-312ZR</p>  <table border="1"> <tr><td>形状</td><td>壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)</td></tr> <tr><td>プレート/握り</td><td>抗菌樹脂</td></tr> <tr><td>確認灯</td><td>LED (赤)</td></tr> <tr><td>呼出ボタン</td><td>ノンロック式</td></tr> <tr><td>点字</td><td>よびだし</td></tr> <tr><td>備考</td><td>JIS C-0920 1Px5 (防噴流形) 適合</td></tr> </table>	形状	壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)	プレート/握り	抗菌樹脂	確認灯	LED (赤)	呼出ボタン	ノンロック式	点字	よびだし	備考	JIS C-0920 1Px5 (防噴流形) 適合	<p>復旧ボタン BR-302RAU</p>  <table border="1"> <tr><td>形状</td><td>壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)</td></tr> <tr><td>プレート</td><td>ABS</td></tr> <tr><td>復旧ボタン</td><td>ノンロック式</td></tr> </table>	形状	壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)	プレート	ABS	復旧ボタン	ノンロック式	<p>天井埋込スピーカー 公共施設型番 SC4HI-1V0-M</p> 	<p>音量調整器 公共施設型番 V-1S</p> 																																																		
形状	壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)																																																																						
プレート/握り	抗菌樹脂																																																																						
確認灯	LED (赤)																																																																						
呼出ボタン	ノンロック式																																																																						
点字	よびだし																																																																						
備考	JIS C-0920 1Px5 (防噴流形) 適合																																																																						
形状	壁埋込形 (JIS1個用スイッチボックスカバー付)																																																																						
プレート	ABS																																																																						
復旧ボタン	ノンロック式																																																																						
<p>カラーモニター親機 VL-ME50K</p>  <table border="1"> <tr><td>定格</td><td>AC・GC100V (50/60Hz)</td></tr> <tr><td>消費電力</td><td>待機時: 約1.4W、動作時: 約8.5W (約0.18A)</td></tr> <tr><td>質量</td><td>約540g</td></tr> <tr><td>画面表示</td><td>約5型ワイドカラー液晶ディスプレイ</td></tr> </table>	定格	AC・GC100V (50/60Hz)	消費電力	待機時: 約1.4W、動作時: 約8.5W (約0.18A)	質量	約540g	画面表示	約5型ワイドカラー液晶ディスプレイ	<p>カラーカメラ付玄関子機 VL-V530L-S</p>  <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>待機時: DC 約5V 動作時: DC 約20V (ドアホン親機より供給)</td></tr> <tr><td>消費電流</td><td>待機時: DC 約2mA、動作時: DC 約130mA</td></tr> <tr><td>質量</td><td>約220g</td></tr> <tr><td>外観色調</td><td>シルバー</td></tr> <tr><td>取付方法</td><td>露出型: JIS1 個用スイッチボックス適合</td></tr> </table>	電源電圧	待機時: DC 約5V 動作時: DC 約20V (ドアホン親機より供給)	消費電流	待機時: DC 約2mA、動作時: DC 約130mA	質量	約220g	外観色調	シルバー	取付方法	露出型: JIS1 個用スイッチボックス適合	<p>令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事</p> <p>NON SCALE SCALE SCALE</p> <p>弱電設備姿図・端子盤表</p> <p>DW. CK. DATE 07-02 NO. E-06</p>	<p>設計・監理 一級建築士事務所</p> <p><b>野中建築設計事務所</b></p> <p>1級建築士第147931号 野中健一</p> <p>〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-2-0 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408</p>																																																		
定格	AC・GC100V (50/60Hz)																																																																						
消費電力	待機時: 約1.4W、動作時: 約8.5W (約0.18A)																																																																						
質量	約540g																																																																						
画面表示	約5型ワイドカラー液晶ディスプレイ																																																																						
電源電圧	待機時: DC 約5V 動作時: DC 約20V (ドアホン親機より供給)																																																																						
消費電流	待機時: DC 約2mA、動作時: DC 約130mA																																																																						
質量	約220g																																																																						
外観色調	シルバー																																																																						
取付方法	露出型: JIS1 個用スイッチボックス適合																																																																						



延べ床面積 159.40㎡

平面図 1/100

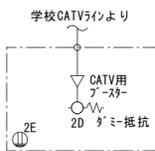
端子盤表 屋内壁掛型

端子盤名称	電話	情報	テレビ 共聴	放送	備考
T-1	端子 10Pr	12ホトHUB×1 スヘ-ス	フ'ロック回	端子 10Pr	露出コンセント(2P15AE×1) セハ'レーター付

注記) 明記なき配管配線は、下記に準ずる。

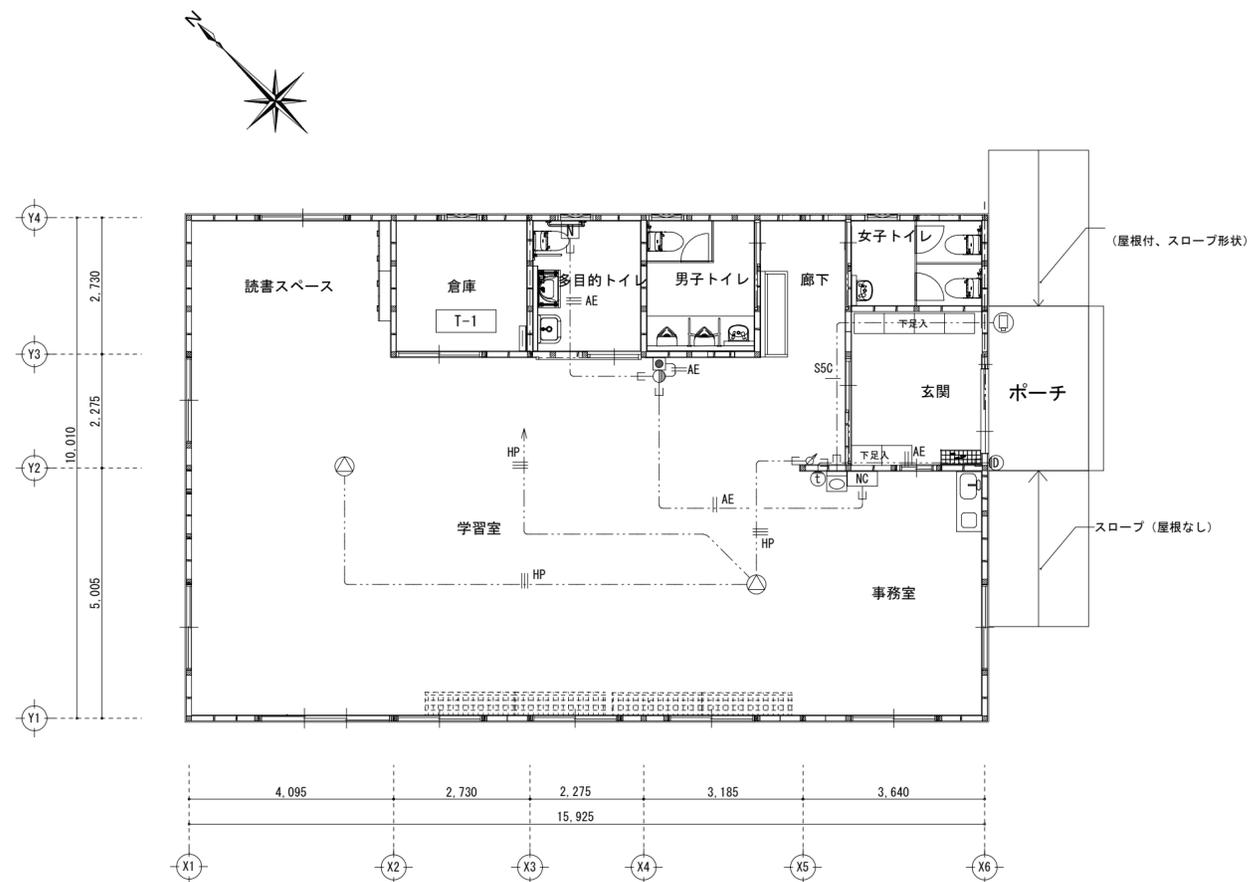
電話設備	—○— (PF16) (隠蔽)
	—○— (PF22) (隠蔽)
情報設備	—UTP— EM-UTP0.5-4Pr (cat6A) × 1 (天井内コカ'シ)
テレビ 共聴設備	—SSC— EM-S-5C-FB × 1 (天井内コカ'シ)

・二重天井内はケーブルコカ'シ工事とし、壁面立上がり、立上がり部分は適合PF管にて保護する事。



凡例

□	端子盤(弱電兼用)
○	情報受口(モジュラ'ジャック8極8芯)
⊙	電話受口(7'ラング'レート)
⊕	テレビ 用整合器



延べ床面積 159.40㎡

平面図 1/100

注記) 明記なき配管配線は、下記に準ずる。

インターネット設備	—AE— EM-AE 1.2-2C × 1 (天井内コカ'シ)
トイレ呼出設備	—AE— EM-AE 1.2-2C × 1 (天井内コカ'シ)
	—AE— EM-AE 1.2-3C × 1 (天井内コカ'シ)
防犯カメラ設備	—SSC— S-5C-FB × 1 (天井内コカ'シ)
放送設備	—HP— EM-HP 1.2-3C × 1 (天井内コカ'シ)

・二重天井内はケーブルコカ'シ工事とし、壁面立上がり、立上がり部分は適合PF管にて保護する事。

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1/100 SCALE SCALE SCALE

DW. CK. DATE 07-02 NO. E-07

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

機械設備工事特記仕様書 No. 1

【工事概要】

1 工事場所 京都府船井郡京丹波町大朴口塩谷54番地19

2 建物概要

建物名	構造	階数	延床面積 (m <sup>2</sup> )	消防法令別表第一耐震安全性の分類	備考
放課後児童クラブ	木造	平家	159.40	○甲 ○乙	

3 工事科目 ●印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目	建物名称				
空気調和設備		●	○		○
換気設備		●	○		○
排煙設備		○	○		○
自動制御設備		○	○		○
衛生器具設備		●	○		○
給水設備		●	○		○
排水設備		●	○		○
給湯設備		●	○		○
消火設備		○	○		○
ガス設備		○	○		○
さく井設備		○	○		○
厨廃機器設備		○	○		○
浄化槽設備		○	○		○
医療ガス設備		○	○		○
撤去工事		○	○		○

【特記事項】

1 一般事項

1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年版（以下「標準図」という。）」及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。

2) 工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び各工事の標準仕様書による。

2 特記事項

項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

章	項目	特記事項
一般	※設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 また、(グ)印は「京都府庁グリーン調達方針*」(以下、「グリーン調達」という。)の特定調達品目を示す。 ◆京都府ホームページ参照 <http://www.pref.kyoto.jp/zaisan/kankyo.html>
	※機材の承諾	機材の承諾に際しては、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課管轄技術管理室監修の機械設備工事機材承諾図様式集(最新版)によるものとする。
	※機材の品質・性能証明	使用する機材が、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(最新版)」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(3)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。 ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	※現場代理人	本工事の施工に当たっては、工事請負契約書第10条に基づき現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	※電気保安技術者 ○技能士(一般)	※適用する ○適用しない ※配管(配管工事) ○建築板金(ダクト製作及び取付け) ○冷凍空調調和機器施工
	※工事に必要な水その他 ※官公署への手続き ※工事用仮設物 ※足場・作業構台 ※監督職員事務所 ※監督職員事務所 ※監督職員事務所	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。 官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。 構内につくることが ※できる ○できない 別契約の関係者・受注者が定置したものは、無償で使用できる。 ※設置しない ○設置する (○本工事 ○別途)
	※建設副産物の処理及び建設発生土の処理	○建設副産物の処理 右記のほか、 現場説明書による。 ○引き渡しを要するもの【 ○再生資源利用を図るもの【 ○特別管理産業廃棄物 ○PCB使用機器 ○臭化リチウム ○ ○建設発生土の処理 ※発生(一財)城陽山砂利採取地整備公社 ○ 現場説明書による ○構内指定場所に敷き均し
	再生資源利用(促進)計画・実施書の提出 詳細は現場説明書による。	
	1)「建設発生土処理計画書」及び「建設副産物等処理計画書」を監督職員に提出する。 2)関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理報告書」及び「建設副産物処理報告書」により監督職員に報告する。 3)冷媒については関係法令に従い適切に破壊処分を行う(家電リサイクル法対象機器を除く)。(構成:※本工事 ○別途、処分費:※本工事 ○別途、運搬費:※本工事 ○別途)	
	○アスベストの処理等(以下のほか、現場説明書による。) 1)次の資機材のアスベスト含有の有無は以下による。 ○ダクトパッキン ○含有 ○不含有 ○要調査(分析資料数: ) ○配管エルボ部保温材 ○含有 ○不含有 ○要調査(分析資料数: ) ○煙道の断熱材 ○含有 ○不含有 ○要調査(分析資料数: ) ○アスベスト成形板 ○含有 ○不含有 ○要調査(分析資料数: ) アスベスト成形板の処理等 施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認 ・アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認 ・施工範囲等の確認 確認範囲 ※成形板の製造年等の確認 ○X線解析法	
	2)アスベスト含有調査は以下のとおりとする。 (ただし、調査費用は ※本工事 ○別途 とする。) ※JIS A 1481-2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」又はJIS A 1481-3「建材製品中のアスベスト含有率-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法」による。 3)アスベスト含有資機材は関係法令に従い適切に処理する。 調査の結果アスベスト含有が確認された場合の処理方法は監督職員との協議による。	

章	項目	特記事項
一般	※工事関係書類	営繕工事契約関係書類提出書類書式集*一覧表により提出。 ◆京都府ホームページ参照 <http://www.pref.kyoto.jp/eizen/index.html> ※履行報告 月報 ※2部 ○3部 毎月末にびめ、翌月の5日までに提出する。
	※工事写真	1)国土交通省大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領(最新版)」による。 2)工事完成時、整理の上、1部提出する。 3)小黒板電子化については、現場説明書による。
	※完成図書	名 称 内 容 大きさ 部 数 ○完成図 金文字製本 A4版 1部 ○背貼り製本(版) ○A4ファイル止め 2部 ○施工図 ○背貼り製本(版) ○A4ファイル止め 2部 ○機器完成図等 機器製作図 ファイル止め A4版 2部 保守指導案内書(機器取説書を含む) 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書
	○緒言行提出書類 副 本 1式 ○原図 完 成 図 1部 ○完成写真 アルバム綴り 2部	
	※著作権等	電子納品については、現場説明書による。 当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に譲渡するものとする。
	※付属品及び予備品	標準仕様書によるほか、別表1による。
	※総合試験調整(測定結果は報告書にて提出)	○音量調整(測定共) ○水量調整(測定共) ○室内外空気の温湿度測定 ○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定 ○飲料水の品質の測定(項目) ○雑用水の品質の測定(項目)
	○耐震施工	1)設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により、計算を行い、監督職員に報告し承諾を得る。 2)下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。
		設置場所 ○特定の施設 ○一般の施設 上階階、屋上及び塔屋 2.0(2.0) 1.5(2.0) 1.5(2.0) 1.0(1.5) 中 間 階 1.5(1.5) 1.0(1.5) 1.0(1.5) 0.6(1.0) 1階及び地下階 1.0(1.0) 0.6(1.0) 0.6(1.0) 0.4(0.6)
		設置場所 ○特定の施設 ○一般の施設 上階階、屋上及び塔屋 2.0 1.5 中 間 階 1.5 1.0 1階及び地下階 1.5 1.0
		注1 耐震安全性の分類が甲類の建物は特定の施設を、乙類の建物は一般の施設を適用する。 屋外に設置する機器は建物の耐震安全性の分類に準じる。ただし、敷地内に甲類の建物と乙類の建物が混在する場合は、特定の施設を適用する。 注2 ( )内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。 注3 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。 注4 上階階の定義は、6階建以下の場合は最上階、7~9階建の場合は上階2階。 注5 重要機器(水槽類)は、下記に示すものとする。(水槽類にはオイルタンク等を含む。) 注6 「建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)」による形鋼振れ止め支持を行う場合は、S種とする。ただし、取付け金物については標準図に準ずる。
通	●一般用弁	標準仕様書第2編2.2.1(A)~(シ)によるほか、下記による。 1)水道直結部及び図面特記部の耐圧は10K以上、その他は5K以上とする。 2)給水・給湯用の青銅製弁は、給水用青銅弁を使用する。
	○フレキシブルジョイント	機器廻りに取付けるフレキシブルジョイントは、鋼板に対してはペローズ形、FRPに対しては合成ゴム製とする。
	○鋼管用伸縮継手 ○溶接接合	○ペローズ形 ○スリプ形 溶接部の非破壊検査は、 ○適用しない ○適用する(○放射線透過検査 ○浸透深層検査又は磁粉深層検査)
	●地中埋設線及び埋設表示用テープ	1)給水管 地中埋設線(●要 ○不要) 埋設表示用テープ(●要 ○不要) 2)給水管 地中埋設線(○要 ○不要) 埋設表示用テープ(○要 ○不要) 3)ガス管 地中埋設線(○要 ○不要) 埋設表示用テープ(○要 ○不要) 4)油 管 地中埋設線(○要 ○不要) 埋設表示用テープ(○要 ○不要) 5)ブライン管 地中埋設線(○要 ○不要) 埋設表示用テープ(○要 ○不要) 用途表示のあるテープ(幅は150mm以上で、2倍長以上重ね合わせて使用する。 地中埋設の排水用塩ビライニング管は、防食処置を行う。
	○防食処理	1)保温材の仕様は、下記による。 給水管・排水管 ●ポリスチレンフォーム保温材 ○ 排煙ダクト・煙道、排気筒 ○ロックウール保温材 ○ その他 ○グラスウール保温材 ○
	●保温	2)鋼板製タンクの保温 ○必要 ○不要 3)保温を施す膨張タンク等の蓋の保温 ○必要 ○不要 4)エア抜管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。また、保温を行う範囲はエア抜弁までとする。 5)露出配管の保温外装種別は、下記による。 ・屋内 ○合成樹脂カバー1 ○合成樹脂製カバー2 ○ ・屋外 ○ステンレス鋼板 6)弁、ストレーナ等の金属製カバー外装種別は、下記による。 ・屋内 ○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○ ・屋外 ○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○ 7)車庫内のダクト及び配管の保温は、機械室による。 8)合成樹脂製支持受 ○硬質ウレタンフォームに準ずるもの ○ビーズ法ポリスチレンフォームに準ずるもの
	○塗装(露出施工部)	標準仕様書によるほか、下記により塗装(指定色)を行う。ただし、保温を行うものは除く。 ○屋外(○ダクト ○配管) ○屋内居室(○ダクト ○配管) ○廊下(○ダクト ○配管) ○屋内P.S・E.P.S(○ダクト ○配管) ○屋内機械室・電気室(○ダクト ○配管)
	○吹出口及び吸込口ボックス	ボックスの材質については、特記がない場合は亜鉛鉄板製とする。ただし、グラスウール製とする場合はJIS A 4009(空気調和及び換気設備用ダクトの構成部材)によるものとし、厚さ0.6mm以上の亜鉛鉄板で補強を施したものとす。 ボックスの吊り又は3点支持を標準とし、これにない場合は監督職員との協議による。
	○防炎/耐火/防振の板厚	ステンレス製ダクトの板厚は JIS A 4009 2017による
	○ボックス ○容量等の表示	PF管で配管する場合は、樹脂製ボックスを使用する。 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。ただし、電動機の出カ、燃料消費量及び圧力損失は、表示された数値以下とする。
	○誘導電動機	電動機出力が0.75kW以上の低圧三相かご形誘導電動機の規格は、JIS C 4213(低圧三相かご形誘導電動機-低圧トランジスタモーター)による。
○開放形膨張タンク等	開放形膨張タンク、補給水タンク及び消火用充水タンクの材質は次による ○鋼板製 ○ステンレス鋼板製	
○電線及び電線管	電線及び電線管については標準仕様書第4編第1章第5節による	

章	項目	特記事項
共	○はつり及び穴開け	1)既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2)復旧はモルタル補修までとする。
	○インサート及びアンカー	あと施工アンカー等を行う場合は、改修標準仕様書第2編第5章による。 施工後確認試験 ○行う(国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)8章12節8.12.7による。) ○行わない
	○防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー	復帰方式は ※適方復帰式(電気式(定格入力 DC24V O.6A以下)) ○手動復帰式
	○消音内貼	ダクト及びチャンパー、消音エルボの内貼り(箇所図示)は下記による。 ・消音内貼り部分の外部保温は ※不要 ○必要 ・チャンパーの寸法は、外形寸法を示す。 (ただし、ダクト及び消音エルボは、内形寸法を示す。) ・点検口は内貼り仕様又は断熱戸とする。
	○ドレン抜き	外壁に面するガラリに直接取付けるチャンパー類に必要に応じ設ける。
	○取付枠	防火区画部に取付ける吹出口、吸込口等で取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。
	○機器の基礎	アンカーボルト及びナットは、下記による。 ・屋外、多湿室等(○溶融亜鉛めっき2種35 ○ステンレス鋼製(SUS304)) ・その他 ○(○一般品 ○) ○機器側の材質がSUS製の場合は、SUS製とする。
	○防火区画	○平面階 ○図示 ○
	○掲示板	機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを画いた掲示板を設ける。
	○天井上下区分	( )書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	通	○給油設備
○建物導入部配管		○標準図施工4(a)(フレキシブルジョイント ○埋設用フレキシブルジョイント) ○標準図施工5(b)(ホールジョイント) ○標準図施工5(c)(スリークッション)
○鋼材		屋外露出部分 ○溶融亜鉛めっき2種35 ○ステンレス鋼製(SUS304)
○制御及び操作盤		構成 ○連相コンデンサー ○運転時間計 表示等 ○運転(赤色)及び停止(緑色)表示 ○保護継電器の動作表示
接点及び端子		○過負荷用端子 ○湿度調節用端子 ○運転時間表示用端子 ○温水出入口温度用端子 ○冷水出入口温度用端子 ○消費電力表示用端子(ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) ○給水量表示用端子(ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) ○燃料消費量表示用端子(ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) ○各階ユニット
●主方式		○全空気方式(○中央 ○ファンコイル・ダクト併用方式) ●個別方式 ○ ○吸収冷凍水機 ○チリングユニット ○空気熱源ヒートポンプユニット ●空冷ヒートポンプパッケージ空気空調機(●EHP ○GHP ○)
●主要熱源機器		
●設計時の温湿度条件		場 所 屋 外 一般居室 屋内(調整目標値) 時 期 温度(DB)湿度(RH) 温度(DB)湿度(RH) 温度(DB)湿度(RH) 冬 期 0.4℃ 65.9% 22℃ 40% ℃ % 夏 期 36.9℃ 63.1% 26℃ 50% ℃ %
○長方形ダクトの工法		○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法(○共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法)
○ダクトの分岐方法		○割込み工法 ○直付け工法
○配管材料(図面特記部分は除く)		冷温水管 ○配管用炭素鋼管(白) ○一般配管用ステンレス鋼管(SUS304) 給水管 ○配管用炭素鋼管(白) ○硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VA,SGP-FVA) ドレン管 ○配管用炭素鋼管(白)(○ねじ接合 OMDジョイント) ○水配管用亜鉛めっき鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VIP)
蒸気配管	給気管 ○配管用炭素鋼管(黒) ○ 運 管 ○圧力配管用炭素鋼管(黒) ○	
補給水管	○配管用炭素鋼管(白) ○	
膨張管	○配管用炭素鋼管(白) ○	
エア抜管	○配管用炭素鋼管(白) ○	
加温給水管	○硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VA,SGP-FVA) ○一般配管用ステンレス鋼管(SUS304)	
冷媒管	○銅管 ○断熱材被覆鋼管(ガス管:ハイグレード仕様)	
○温度計	○パッケージ空気調和機の2次側電気配管配線の仕様は製造者の標準仕様とする。 ○工業用ハイメタル式温度計 ○ガラス製棒状温度計 ○ガラス製二重管温度計	
○定風量ユニット	○メカニカル形 風速センサー形(○プロペラ形センサー ○熱線センサー)	
○カセット形ファンコイルユニット	風量分配ダクト ○結露防止措置を施した亜鉛鉄板製 ○自己消火性のポリスチレンフォーム	
○ボイラー燃焼制御方式	○オン・オフ制御式(○直接始動式 ○低燃費始動式) ○ハイ・ロー・オフ制御式 ○比例制御式	
○遠心・スクリュウ冷凍機	電動機 進相コンデンサー(○要 ○不要)	
○吸収式冷凍水機	排熱投入型再生器 ○有り ○無し	
○高温再生器の構造	※図面による。	
○コーゼンレーション装置	発電方式 ○原動機、発電機 ○燃料電池 熱回収装置 ○温水熱交換機 ○排ガスボイラー ○排ガス熱交換機 ○熱回収用ポンプ ○その他	
○その他装置等	○補機付腐食制御装置 ○冷却塔(放熱用) ○	
○表示機能	○屋外機吸込温度 ○空調エネルギー使用量按分 ○運転時間積算 ○室内温度	
○集中管理リモコン	データー管理機能 ○屋外機吸込温度 ○空調エネルギー使用量按分 ○運転時間積算 ○室内温度	
	○外部記憶媒体への出力	

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20

TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

- SCALE SCALE SCALE

機械設備工事 特記仕様書No. 1

DW. CK. DATE 07-02 NO. M-01

機械設備工事特記仕様書 No.2

章	項目	特記事項	
空気調和設備	○鋼板製煙道 (ボイラー)	厚さ ○3.2mm ○4.5mm ○ばい煙濃度計の取付座 ○ばいじん量測定口 ○伸縮機手 ○掃除口	
	○ばい煙濃度計 (ボイラー) ○瞬間流量計	※送風機付き ○送風機なし (電源は熱源機器付属制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む) ○固定形 個 ○巻脱可能形 (測定用タッピング 個 本体 個)	
換気設備	●保温 (図面特記部分は除く)	1) 冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内 隠れ部 ○不要 ○必要 露出部 ○保温化粧ケース (塩化ビニル樹脂製) ○ ・屋外 ○ステンレス鋼板 ○アルミ合金製 ●保温化粧ケース (●樹脂製 ○溶融亜鉛めっき鋼板製) ○ステンレス鋼板製 ○必要 ○不要 ・保温化粧ケースの下部カバー ○必要 ○不要 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3) 加温用給水水槽の保温は膨張タンクに準ずる。 4) トラフ内の油管はプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。	
	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法 (○共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法) ●スパイラルダクト	
換気設備	○ダクトの分岐方法	給気ダクト ○割込み方式 ○直付け方式 排気ダクト ○割込み方式 ○直付け方式	
	○厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。	
換気設備		ダクトの長辺	板厚
		450mm以下	0.6mm
	450mmを超え1200mm以下	0.8mm	
	1200mmを超え1800mm以下	1.0mm	
	1800mmを超えるもの	1.2mm	
換気設備	○排気フード	1) 排気フードの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ※ステンレス鋼板 (補強共) 2) 排気フード廻りに取付ける幕板は、上記フードと同材質とする。 ○本工事 ○別途工事 3) グリスフィルターの予備 ○不要 ○必要	
	○保温	浴室・厨房 (多湿箇所) の外気取入ダクトの保温 ○不要 ○必要 外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 全熱交換器までの外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 全熱交換器以降の外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 保温を行う場合の仕様は標準仕様書第2編第3章第1節による。	
排煙設備	○排煙対象部分	○廊下 ○事務室 ○図示 ○最大面積 m <sup>2</sup>	
	○ダクトの種類	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト	
排煙設備	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法	
	○ダクトの材料	※亜鉛鉄板製 ○鋼板製 (1.5mm以上)	
排煙設備	○排煙口	1) 形状 ○スリットフェーズ形 ○パネル形 ○ダンパー形 2) 排煙口の開放 ○手動 (○機械式 ○電気式) ○煙感知器連動 3) 復帰装置 ○手元復帰式 (○手動式 ○電気式) ○遠方復帰式 4) ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途工事とする。	
	○保温	床下及び暗渠内の保温 ※不要 ○必要 (図示) ※図面による。	
自動制御設備			
衛生器具設備	●小便器用節水装置	電気供給方式 ●AC電源 ○乾電池 ○自己発電	
	○自動水栓	電気供給方式 ○AC電源 ○乾電池 ○自己発電 手動スイッチ ○無し ○有り	
衛生器具設備	○大便器用洗浄弁	操作方式 ○手動式 ○電気開閉式 (○センサー式 ○タッチスイッチ式)	
	○水石けん入れ	○手洗器一体型 ○手洗器分離型 ○	
衛生器具設備	○車椅子使用者用器具	1) 大便器洗浄弁 ○センサー式 ○タッチスイッチ式 ○レバー式 2) 洗面器の水栓は自動水栓とする。	
	●給水方式	○水道直結方式 ●高層タンク方式 ○水道直結増圧方式 (水道用直結加圧形ポンプユニット) ○ポンプ直送方式 (小型給水ポンプユニット)	
給水設備	●配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 ○一般配管用ステンレス鋼管 (SUS304) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ○水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HVP) ○ポリエチレン粉末ライニング鋼管 (SGP-PA、SGP-FPA) ●硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA) ○	
	地中配管 [屋内]	○一般配管用ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (50A以下) (※1種 ○2種) (接合方法 ※メカニカル ○電気融着) ○水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HVP) ○ポリエチレン粉末ライニング鋼管 (SGP-PD、SGP-FPD) ●硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VD、SGP-FVD) ○	
給水設備	地中配管 [屋外]	○一般配管用ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (50A以下) (※1種 ○2種) (接合方法 ※メカニカル ○電気融着) ○水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HVP) ○ポリエチレン粉末ライニング鋼管 (SGP-PD、SGP-FPD) ●硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VD、SGP-FVD) ○	
	○緊急遮断弁装置	○必要 ○不要 駆動方式 ○電気式 ○機械式	
給水設備	○量水器	○現地表示式 (直読式) ○遠隔表示式 (パルス式)	

章	項目	特記事項
給水設備	●水栓柱	●合成樹脂製 (70×70×1300H) ○ステンレス製 ( ) ○アルミニウム合金製 ( ) ○不凍水栓柱 ( ) 特記なき場合、水栓取付け高さは約600とする。
	●管の埋設深さ	1) 一般敷地 ●300mm ○ 2) 構内車両通路 ○600mm ○ 3) 寒冷地では凍結深度以上とする。
給水設備	●埋戻し及び盛土	●良質土 ○再生コンクリート砂 ○山砂
	○加入金・負担金	○不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
給水設備	○本管引込工事	○本工事 (○舗装本復旧まで ○舗装板復旧まで) ○別途工事
	●排水方式	汚水と雑排水 [屋内] ●分流式 ○合流式 汚水・雑排水と雨水 [屋外] ○分流式 ●合流式 ポンプアップ排水 ●有り (○雑排水 ●汚水 ○雨水 ○湧水 ○浄化槽2次側) ○無し
排水設備	●放流式	汚水 ●直放流下水管 ○浄化槽 ○ 雑排水 ●直放流下水管 ○浄化槽 ○別途削・側溝 雨水ポンプアップ排水 ○直放流下水管 ○雨水側溝 ○雨水樹 湧水ポンプアップ排水 ○直放流下水管 ○雨水側溝 ○雨水樹
	●配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内雑排水管 ○水道用亜鉛めっき鋼管 ○配管用炭素鋼鋼管 (白) (○ねじ接合 OMDジョイント) ○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ●硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) ○排水・通気用耐火二層管 (VP)
排水設備	屋内汚水管	○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ●硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) ○排水・通気用耐火二層管 (VP)
	通気管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) (○ねじ接合 OMDジョイント) ○硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) ○排水・通気用耐火二層管 (VP)
排水設備	地中配管 [屋内]	●硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU)
	地中配管 [屋外]	●硬質ポリ塩化ビニル管 (●VP ○VU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU)
排水設備	鋼管類のポンプアップ排水用の配管は、硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA) (地中配管はSGP-VD、SGP-FVD) とし、継手はフランジ接合とする。	
	○負担金	○不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
給湯設備	○本管接続工事	○本工事 (○舗装本復旧まで ○舗装板復旧まで) ○別途工事
	●給湯方式	○中央式 ●局部式
給湯設備	○配管材料	○水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-HVA) ○一般配管用ステンレス鋼管 ○鋼管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) ○被覆鋼管
	○保温	ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇所の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2.3.5による。
消火設備	○消火設備の種類	○屋内消火栓 ○スプリンクラー ○泡消火 ○不活性ガス消火 ( ) ○連結送水管 ○
	○配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○圧力配管用炭素鋼鋼管 (白 Sch 40) ○一般配管用ステンレス鋼管
消火設備	地中配管 [屋内] [屋外]	○消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS)
	○保温	消火用弁水タンクの保温を ○施工する (膨張タンクによる) ○施工しない 消火用呼水タンクの保温を ※施工しない ○施工する (膨張タンクによる) 屋外露出管の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様準ずる) 屋内露出管の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様準ずる) トレンチ内の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様準ずる)
ガス設備	○ガスの種類	○都市ガス (発熱量 ○45.000kJ/Nm <sup>3</sup> ○ kJ/Nm <sup>3</sup> ) ○液化石油ガス (○50kg 本立 ○20kg 本立)
	○ガスメーター	親メーター ○貸与品 ○購入 子メーター ○購入 ○貸与品
ガス設備	○配管材料 (図面特記部分は除く)	計量方式 (○美測式 ○パルス式) 屋内配管 ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ 地中配管 [屋内] [屋外] ○ポリエチレン被覆鋼管 ○ガス用ポリエチレン管 ○
	○地中配管の接合方法	○SGM工法 ○ネジ工法 ○PE管工法
ガス設備	○ビット内施工法	○溶接工法
	○負担金	○不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
ガス設備	○本管接続工事	○本工事 (○舗装本復旧まで ○舗装板復旧まで) ○別途工事
	●排水井設備	○排水井設備
設置井	○掘削工法	○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマ式 ○回転振動式
	○孔口保護管	深度 ( ) m ○ケーシング材質 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ○配管用ステンレス鋼鋼管
設置井	○地中熱交換井設備	
	○掘削工法	○回転振動式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマ式 ○ロータリーパーカッション式 ※図面による。
設置井	○緊急遮断弁装置	○必要 ○不要 駆動方式 ○電気式 ○機械式
設置井	○量水器	○現地表示式 (直読式) ○遠隔表示式 (パルス式)

章	項目	特記事項
浄化槽設備	○形式	○ユニット形 ○現場施工形
	○処理方法	○小規模合併処理 (図面による) ○合併処理 (図面による)
医療ガス		※図面による。

別表 1 付属品・予備品  
 ○工具箱 (ドライバー、モンキーレンチ、組スパンナー、ハンマー)  
 ○マンホールフック ○パイプレンチ ○ポンププライヤー ○ラバーカップ (大、小)  
 ○イージーキャビネット 箱 ○キーボックス  
 ○盤類予備品 (ランプ及びヒューズの100%)

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

SCALE		SCALE		SCALE	
機械設備工事 特記仕様書No.2					
DW.	CK.	DATE	07-02	NO.	M-02

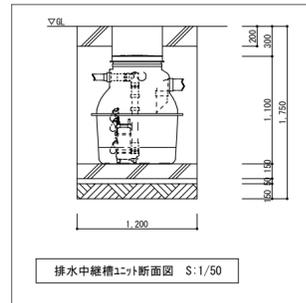
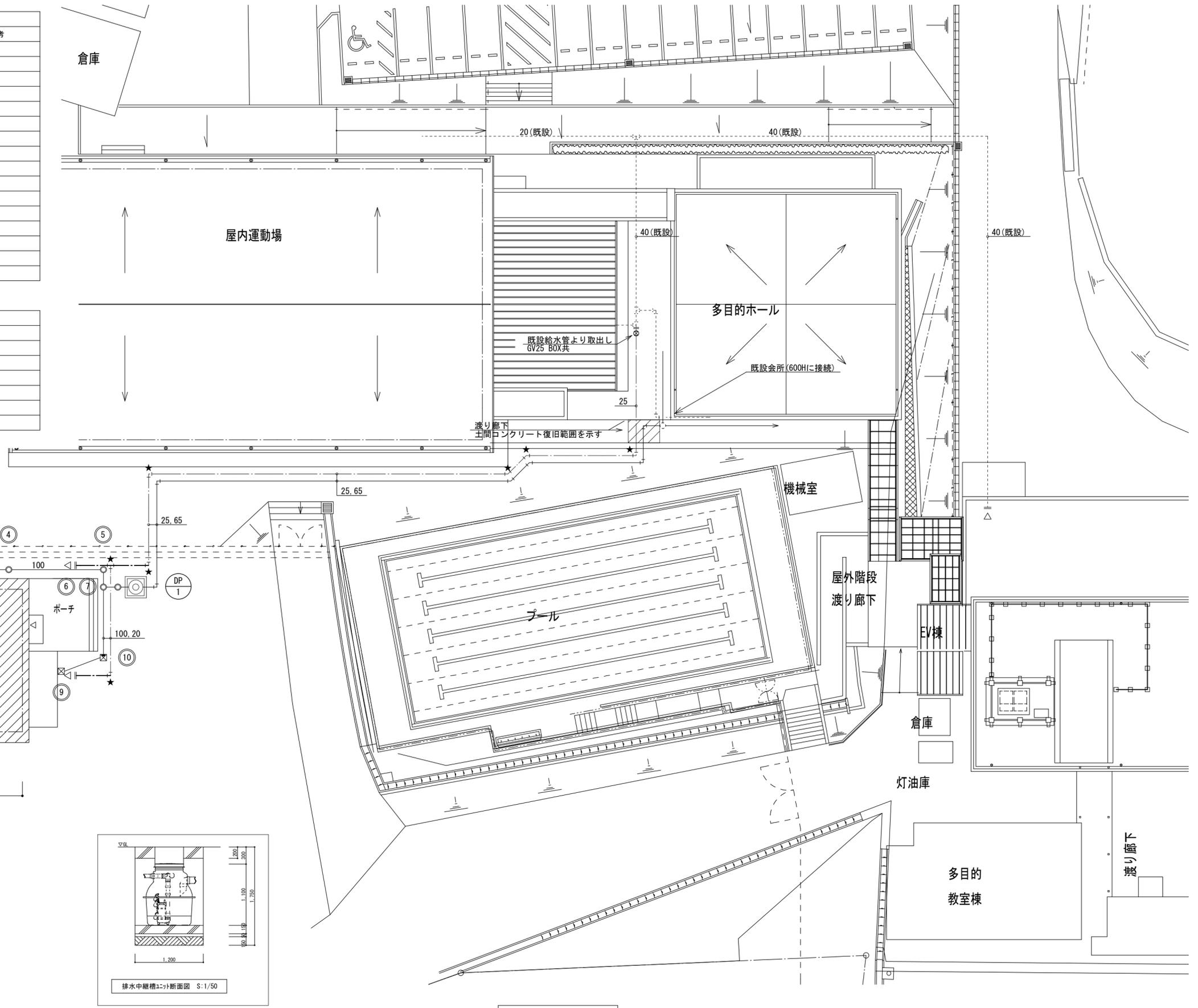
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

器具リスト													
器具名	品番	附属品	備考	1階								TOTAL	
				管理室	廊下	男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	廊外				
腰掛便器	CS597BCS	SH596BAYR, TCF4724	他附属品一式共			1	2						3
腰掛便器	CS232B	SH232BA, TCF4724	他附属品一式共					1					1
小便器	UFH500	自動洗浄, 超節水タイプ, 低リップ	他附属品一式共			2							2
マープライトカウンター	MVSB075JA	洗面器, 自動水栓 (単水栓)	他附属品一式共					1					1
壁掛洗面器	L210C	TLS04303JA, TLDP2105JA	他附属品一式共			1	1						2
掃除用流し	SK22A	T23AEQ20C, TN114, T37SGEP	他附属品一式共					1					1
紙巻器	YH51R	一連				1	1	1					3
化粧鏡	YM3560A					1	1	1					3
混合水栓	TKS05310J			1									1
横水栓	T200SNR13C				3				1				4
水栓柱	13A×1200H								1				1
流し台		排水トラップ共: 建築工事 (配管接続・止水栓×2は本工事)		1									1

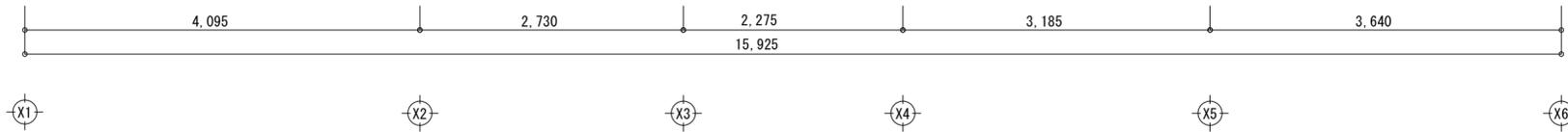
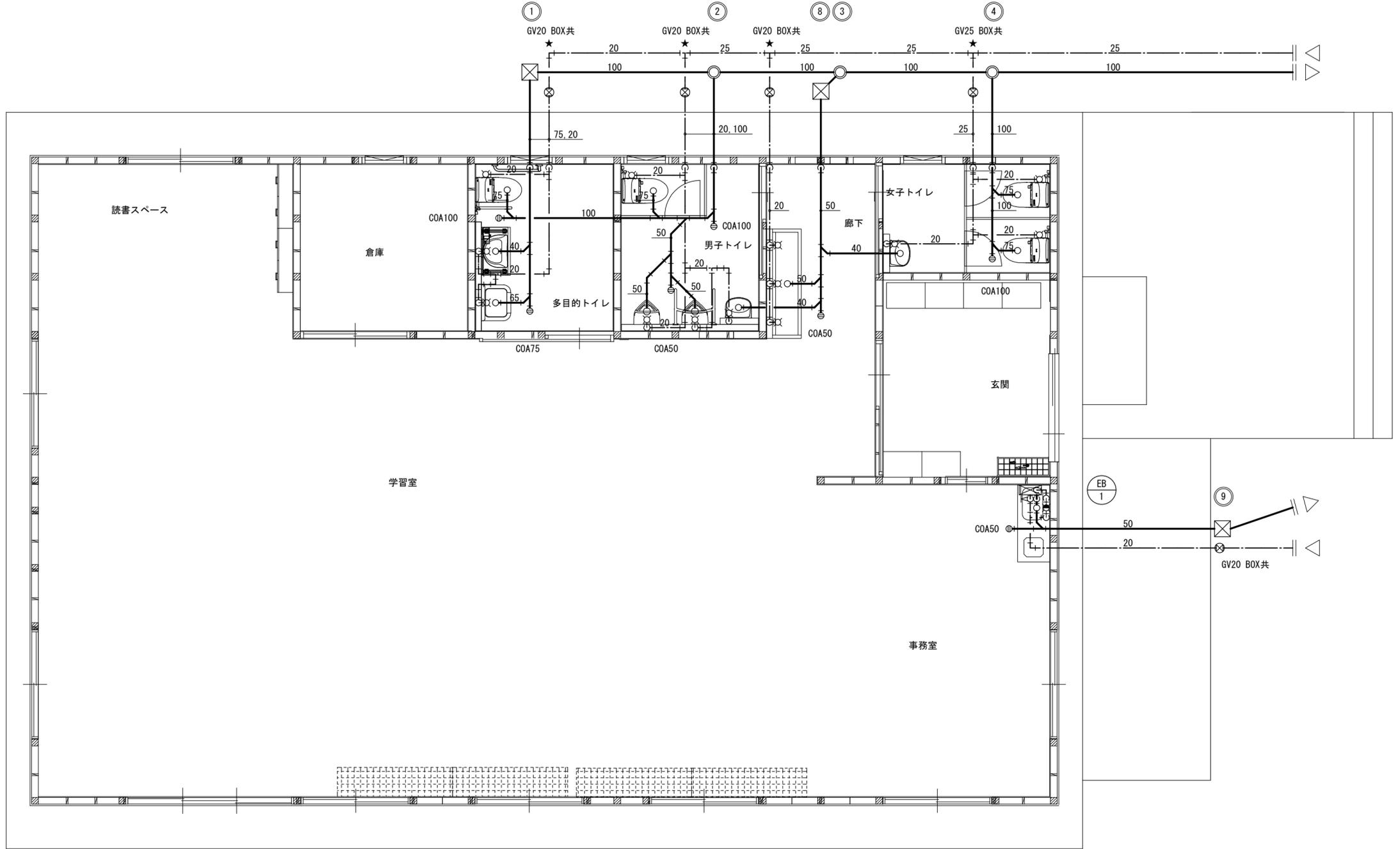
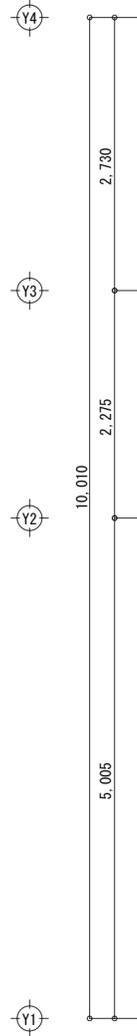
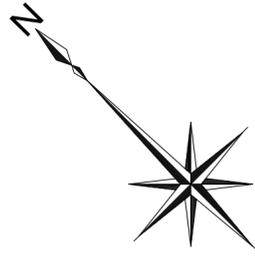
機器リスト: 衛生					
記号	機器名称	機器仕様	電源	台数	備考
DP-1	排水中継槽ユニット	運転方式: 自動交互並列運転 着脱型 水槽容量: 300lit 50φ×100(200)lit/min×8mAq×0.4kW×2台 制御盤(警報ブザー付), 汚物用チェック弁, 樹脂製槽内配管, マンホール蓋 マンホール枠, マンホールかさ上げ用スペーサ 他附属品一式共	1φ100V	1set	TAZE2-30D50G (川本製作所 同等品)
EB-1	電気温水器	据え置きタイプ貯湯式(洗面・手洗い用) 貯湯量: 25lit 消費電力: 2.0kW 耐震用脚, 密閉式排水ホッパー, アンクル形止水栓 他附属品一式共	1φ200V	1	REW25C2BKSCM (TOTO 同等品)

樹リスト				
記号	寸法	管底深さ	蓋仕様	備考
1	350□	400	鑄鉄製防臭蓋	防臭弁取付
2	200φ	430	密閉式閉閉蓋	
3	200φ	450	密閉式閉閉蓋	
4	200φ	480	密閉式閉閉蓋	
5	200φ	550	密閉式閉閉蓋	
6	200φ	560	密閉式閉閉蓋	
7	200φ	570	密閉式閉閉蓋	
8	350□	400	鑄鉄製防臭蓋	防臭弁取付
9	350□	400	鑄鉄製防臭蓋	
10	350□	430	鑄鉄製防臭蓋	防臭弁取付
A	350□	200	格子蓋	
B	350□	300	格子蓋	

注記事項	
1.	樹の管底深さは参考値とし、詳細は現場実測の上最終決定とする。
2.	会所は全て塩ビ製とする。
3.	駐車場・車路部分等、車輛の載荷の可能性のある会所蓋は全て重耐圧仕様とする。
4.	樹の管底深さは、樹設置位置からの深さを示す。
5.	雨水工事は全て建築工事とする。 ただし、取り合い等十分に調整を行う事。
6.	樹は防水・防臭型とする。



令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所
1:200 SCALE				野中建築設計事務所
機械設備工事 配置図(衛生設備)				1級建築士第147931号 野中健一
DW.	CK.	DATE 07-02	NO. M-04	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



平面図 S:1/50

注記事項:1. ★は埋設表示ピンを示す。

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1:50 SCALE SCALE SCALE

機械設備工事 平面図 (衛生設備)

DW. CK. DATE 07-02 NO. M-05

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

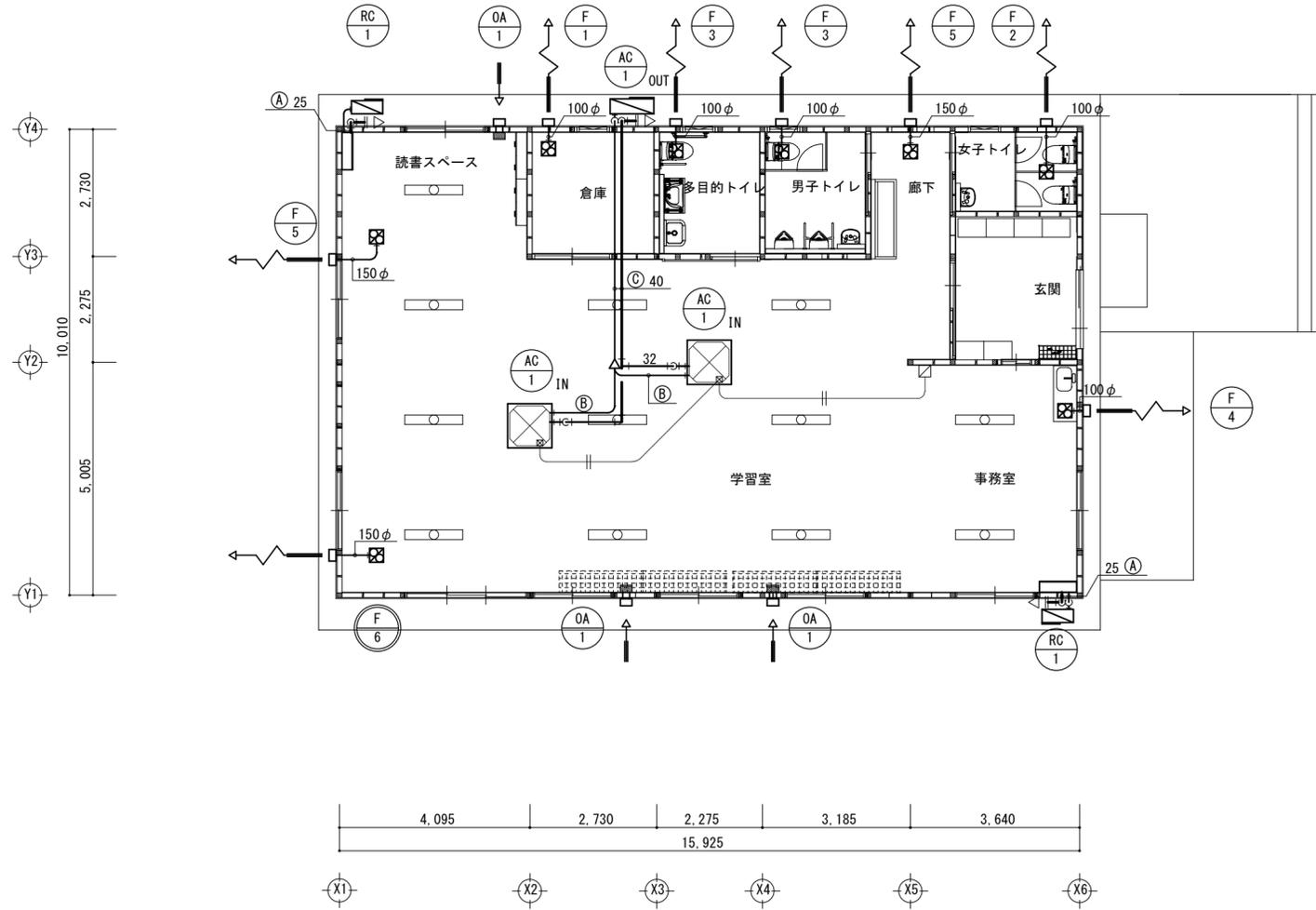
1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

機器リスト：空調・換気						
記号	機器名称	機器仕様		電源	台数	備考
RC-1	空冷ヒートポンプ ルームエアコン	壁掛形	冷房能力：3.6kW 暖房能力：4.2kW 圧縮機：0.95kW 送風機：室内機 27W, 室外機：25W ワイヤレスリモコン, 風向調整板, 防振パット	1φ100V	2	S365ATES (ダイキン 同等品)
AC-1	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ツイン同時)	天井カセット形 (ラウンドフロー)	冷房能力：22.4kW 暖房能力：28.0kW 圧縮機：4.61kW 送風機：室内機 106W×2, 室外機：454W ワイヤードリモコン, 化粧パネル, 風向調整板, 防振パット	3φ200V	1set	SZRC224BAD (ダイキン 同等品)
F-1	換気扇	天井埋込形ダクト用 低騒音形 インテリア格子タイプ 60CMH × 40Pa × 9.3W × 22dB SUS製丸形防風板付ベントキャップ100φ	他附属品一式共	1φ100V	1	VD-10ZC14-C (三菱電機 同等品)
F-2	換気扇	天井埋込形ダクト用 低騒音形 140CMH × 40Pa × 15.5W × 28.5dB SUS製丸形防風板付ベントキャップ100φ	他附属品一式共	1φ100V	1	VD-15ZC14 (三菱電機 同等品)
F-3	換気扇	天井埋込形ダクト用 低騒音形 180CMH × 40Pa × 23W × 34dB SUS製丸形防風板付ベントキャップ100φ	他附属品一式共	1φ100V	2	VD-15ZPC14 (三菱電機 同等品)
F-4	換気扇	天井埋込形ダクト用 低騒音形 金属タイプ 180CMH × 40Pa × 24W × 37.5dB SUS製丸形防風板付ベントキャップ100φ	他附属品一式共	1φ100V	1	VD-15ZY14 (三菱電機 同等品)
F-5	換気扇	天井埋込形ダクト用 低騒音形 インテリア格子タイプ 300CMH × 40Pa × 40W × 33dB SUS製丸形防風板付ベントキャップ150φ	他附属品一式共	1φ100V	2	VD-18ZXP14-C (三菱電機 同等品)
F-6	換気扇	天井埋込形ダクト用 低騒音形 インテリア格子タイプ 24時間換気機能付 300(150)CMH × 40(20)Pa × 40W × 33dB SUS製丸形防風板付ベントキャップ150φ, 強弱スイッチ (電気工事へ支給)	他附属品一式共	1φ100V	1	VD-18ZLXP14-CS (三菱電機 同等品)
OA-1	給気口	自然給気ユニット (角形・壁取付タイプ) 150φ 不織布フィルター付 SUS製丸形防風板付ベントキャップ150φ	他附属品一式共	—	3	AT-150QRKF4 (メルコエアテック 同等品)

注記事項
1. エアコンの室内外渡り配線 (電源配線共) 及びリモコンスイッチ取付 (配線共) は全て本工事とする。
2. エアコンの能力表示は日本産業規格 JIS B 8616 及び JIS C 9612 に準じて計測した値を示す。
3. 機器用室外機架台は本工事とする。
4. 屋外露出部分のベントキャップ・ガラリ等は指定色焼付仕上げ (防虫網・水切付) とする。
5. 換気扇の能力特性は JIS B 8330 及び JIS C 9603 による。
6. ベントキャップ100φは防火覆いとす。

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事			設計・監理 一級建築士事務所	
- SCALE			SCALE	
機械設備工事 機器リスト (空調・換気設備)			野中建築設計事務所	
1級建築士第147931号 野中健一				
DW.	CK.	DATE	NO.	
		07-02	M-06	
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408				



冷媒管口径	
(A)	CUP 6.4φ × 9.5φ
(B)	CUP 9.5φ × 15.9φ
(C)	CUP 9.5φ × 25.4φ

- ※室内外渡り配線共本工事
- ※冷媒管サイズについては、メーカー基準により施工する事
- ※ドレン管は最寄り雨水樹又は側溝へ放流
- ※ — — — は個別リモコン用配線【EM-CEE1.25-2C】を示す
- ※エアコンの室内外渡り配線は空調配管と共巻きとする
- ※ □ はエアコンリモコン位置を示す。(取付・配線共本工事)

注記事項:1.  は24時間換気用を示す。

平面図 S:1/100

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

SCALE		SCALE		SCALE	
DW.	CK.	DATE	NO.		
		07-02	M-07		

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20  
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408